

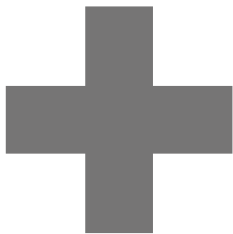
病 院 年 報

平成 27 年度

ANNUAL
REPORT 2015

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

 日本赤十字社 福島赤十字病院



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

病院年報

平成27年度

福島赤十字病院

福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital

理念 Philosophy

みなさまに信頼され親しまれる福島赤十字病院

Japanese Red Cross Fukushima Hospital entrusted and loved by the community

基本方針 Policy

- 1. 患者さま中心の医療** Patient-centered medical care
患者さまの人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた患者さま中心の医療に努めます
- 2. 良質な医療の提供** Providing quality medical care
医療技術の向上および施設の充実を図り、良質な医療の提供に努めます
- 3. 地域医療機関との連携** Cooperation with the medical institution of the area
よりよい医療を提供するために、地域医療機関との連携に努めます
- 4. 救急医療の充実** Enhancement emergency medical care
救急患者さまには常時対応し、救急医療の充実に努めます
- 5. 災害時の救護活動** Relies activities at the time of disaster
国の内外を問わず、災害時の救護活動に努めます
- 6. 経営の健全化** Soundness of management
良質な医療活動遂行のため、経営の健全化に努めます

患者さまの権利

福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します

1. 最善にして公平な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が守られる権利
3. 個人のプライバシーが守られる権利
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利

発刊にあたり



福島赤十字病院
院長
渡部
洋一

平成27年度病院年報発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

1年間の各診療科、看護部、薬剤部、事務部、各委員会の活動実績が掲載されておりますが、慢性的な医師・看護師不足の中、一所懸命仕事をした職員一人一人の努力の結晶であると思います。

病院長就任1年目、そして新病院建設を控えた平成27年度における最大の目標は、経営改善・収支の黒字化でした。地域の医療機関からの紹介患者を円滑に受け入れ、救急車を断らない方針を徹底し、新入院患者の獲得に努めました。また各種加算、管理料、指導料を獲得して収益増加を図るとともに材料費、医薬品費の削減に努めました。そのような努力の結果、平成27年度の医業収支は黒字決算を達成することができました。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後の懸案であった病院移転新築事業は、平成26年度の経営悪化により資金面での不安を日本赤十字社本社から指摘されましたが、経営改善がなされたこと、福島県、福島市、そして日本および海外の赤十字社からのご支援と新病院建設準備室をはじめとする事務部のたゆまぬ努力によって何とか俎上に載り、平成28年6月に社長承認が得られ、10月1日に着工いたしました。今、平成31年1月の新病院開院に向かって、建設プロジェクトを進めているところです。

DPC病院において安定した収益増加を図るための基本事項のひとつは、機能評価係数Ⅱのアップです。特に効率性係数を上げるためには、入院期間Ⅱ以内の退院率を増やすことが基本です。平均在院日数が短縮すれば病床稼働率は減少する傾向になりますので、新入院患者を獲得し病床回転率を上げることが重要となります。当院が位置する2次医療圏においては競合病院が多く、地域医療構想が定まりつつある中、入院患者確保のためには、地域住民や地域の医療機関から信頼されるように質の高い医療を提供し続ける努力を継続することが重要と考えます。

職員一丸となって「ふくしまの未来に安心と希望を」というキャッチフレーズのもと地域医療に貢献し、人間のいのちと健康、尊厳を守ってまいりますので、皆様のご支援、ご指導をよろしく願いいたします。

平成29年2月

目次

福島赤十字病院 平成27年度 病院年報

I 一年の動き

1. 平成27年度の動き	1
--------------	---

II 病院の概況

1. 病院の沿革	7
2. 病院概要	9
3. 組織図	14
4. 職員数	15
5. 会議及び委員会	16
6. 救護班名簿	17

III 統計

1. 平成27年度実績表	19
2. 月別入院実績表[入院患者数、入院稼働額、入院単価]	20
3. 月別外来実績表[外来患者数、外来稼働額、外来単価]	23
4. 行為別稼働額	26
5. 入院患者数	28
6. 新入院患者数	29
7. 外来患者数	30
8. 新外来患者数	31
9. 診療科別稼働額	32
10. 入院単価(自費収益を含む)	34
11. 外来単価(自費収益を含む)	35
12. 手術件数(手術室)	36
13. 平均在院日数	37
14. 病床稼働率(退院を含む)	38
15. 紹介率・逆紹介率	39
16. 分娩件数	40
17. 救急患者数	41
18. 損益推移	42
19. 比較損益計算書	43
20. 比較貸借対照表	44

IV 活動実績

1. 内科・消化器内科	45
2. 糖尿病・代謝内科	46
3. 循環器内科	47
4. 神経内科	47
5. 精神科	48
6. 小児科	49
7. 外科	49
8. 血管外科・心臓外科	51
9. 呼吸器外科	51
10. 整形外科	52
11. 脳神経外科	53
12. 皮膚科	55
13. 形成外科	55
14. 泌尿器科	56
15. 産婦人科	56
16. 眼科	57
17. 耳鼻咽喉科	58
18. 放射線科	58
19. 麻酔科	59
20. リハビリテーション科	60
21. 薬剤部	61
22. 医療技術部[栄養課、臨床工学技術課]	62
23. 看護部	65
24. 検査部	77
25. 医療社会事業部[医療社会事業課、社会課]	79
26. 事務部[総務課、企画課、会計課、医事課、用度施設課]	85
27. 医療安全推進室	90
28. 付帯施設[訪問看護ステーション、指定居宅介護支援事業所]	93

V 会議・委員会活動

1. 会議	97
2. 病院運営に関する委員会	101
3. 医療安全管理に関する委員会	114
4. 診療に関する委員会	121
5. 教育・研究に関する委員会	128
6. 労務及び安全管理に関する委員会	129

VI 研究発表

1. 学会・研究会等発表	131
2. 論文発表・著書	140

VII 院友会	143
---------	-----

I

一年の動き

1. 平成27年度の動き

平成27年 4月

- 辞令交付式〔1日〕
医師7名、臨床研修医7名をはじめ、総勢38名の新規採用職員を迎えた。



- 新規採用職員オリエンテーション〔1～6日〕
- 病院幹部就任挨拶〔2日〕
渡部洋一院長、今野 修副院長、緑川茂樹事務部長が新たに就任した。



〈左から：緑川茂樹事務部長、今野 修副院長、渡部洋一院長、宮田昌之副院長、會澤英子看護部長〉

- (株)セクテス様より傘袋装着機「傘ぼん」と傘袋1万枚の寄贈〔23日〕
- 院友会総会・新入職員歓迎会〔24日〕→143p

平成27年 5月

- 赤十字月間・看護の日イベント〔12日〕
正面玄関付近をメイン会場とし、ハンドトリートメントや健康チェック、各種健康相談を開催。



〈主要ニュース〉

- 新規登録の軽乗用車の自動車税が年10,800円に増税〔1日〕
- アメリカのオバマ大統領とキューバのカストロ議長が対談〔11日〕
キューバ革命以来国交断絶状態だった両国首脳が59年ぶりに直接対談。
- 首相官邸屋上に墜落したドローンが発見される〔13日〕
この事件を契機に航空法改正によるドローンの飛行ルールが定められた。
- ネパール地震〔25日〕
ネパールの首都カトマンズの北西約80kmを震源とするマグニチュード7.8の地震があり、エベレストでは大規模な雪崩が発生した。ネパールを中心に隣国のインドや中国でも大きな被害となり、死者8,000人、負傷者14,000人を超えた。
- イギリス王室のキャサリン妃が第2子のシャーロット王女を出産〔2日〕
- 箱根山の噴火警戒レベルを2に引き上げ〔6日〕
ロープウェイ全線運休。6月30日にはレベル3に引き上げられ観光に大きな打撃を受けた。
- マリンピア松島水族館が閉館〔10日〕

1. 平成27年度の動き

- 福島赤十字病院ボランティア会総会〔15日〕
- 永年勤続功労表彰〔22日〕



- 新病院建設・経営改善職員説明会〔28日〕

平成27年6月

- ANA(全日空)様より「しあわせの花・すずらん」の贈呈〔3日〕
- (株)ヤナセ様より同社100周年記念事業として車椅子5台の贈呈〔3日〕
- 新病院建設・経営改善職員説明会〔10日〕
- 常備救護班救護員・新登録救護員任命式〔19日〕
- 中学生ドリームアップ事業受入〔22日～〕



- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.38』発行〔29日〕

平成27年7月

- 新病院建設住民説明会〔4日〕
- 日本赤十字社福島県支部・病院・血液センター合同災害救護訓練〔11日〕



- 福島県看護協会主催「高校生1日看護体験」受入〔28日・8月5日〕
- 日本病院会様より甲状腺超音波測定器の贈呈〔31日〕
- 「福島わらじまつり・ダンシングソーダナイト」参加〔31日〕→143p

- 大阪都構想の住民投票、反対多数で否決〔17日〕
反対が賛成を僅差で上回り、橋下徹市長は政治家を引退。

- 鹿児島県口永良部島の新岳で爆発的噴火が発生〔29日〕
噴火警戒レベルが最大の5を初めて発令。

- 東日本大震災で被災した仙石線が全線運転再開〔30日〕
同時に仙石東北ライン(仙台-女川間)が開業。

- 日本年金機構、個人情報最大125万件流出〔1日〕

- 選挙権の年齢を18歳以上へと引き下げた公職選挙法改正案が可決成立〔17日〕

- ソフトバンクが「pepper」を発売〔17日〕
感情認識ヒューマノイドロボット「pepper(ペッパー)」を発売。価格は198,000円。

- 「仙台うみの杜水族館」が開業〔1日〕
仙台市内に東北最大級の水族館がオープン。

- 「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録〔5日〕
軍艦島や八幡製鉄所など8県23施設が対象。

- 新国立競技場計画見直し、五輪エンブレムも盗作疑惑で白紙撤回〔17日〕



1. 平成27年度の動き

平成27年 8月

- 東稜高校1年生病院ボランティア受入〔12日〕
- 経営改善職員説明会〔13日〕

平成27年 9月

- 福島県総合防災訓練(福島空港)〔1日〕
- 第18回東北ブロック赤十字病院球技大会(岩手県八幡平市)〔12~13日〕
- 日本赤十字社第1ブロック合同災害救護訓練(ビッグパレット福島)〔29日〕



平成27年10月

- 院友会旅行「山形うまいものツアー」〔3日・7日〕→144p
- 第51回日本赤十字医学会総会(北海道北見市)〔14日〕
- 福島県石油コンビナート総合防災訓練(広野町)〔21日〕
- 福島市総合防災訓練(福島市)〔24日〕



- 全国赤十字病(産)院スポーツ大会(岐阜県)〔31日~11月1日〕



〈フットサル部/全国大会第3位〉
(大塚副社長 矢野技監と)



〈卓球部/全国大会出場〉

- 川内原発再稼働〔11日〕
この再稼働により日本の原発ゼロ期間は1年11カ月で終了した。

- 終戦から70年〔15日〕

- 平成27年9月関東・東北豪雨〔10日〕
台風18号により栃木・茨城で大雨特別警報発令、鬼怒川の堤防が決壊し大規模水害。東北地方でも豪雨となり死者8名、負傷者46名。

- チリ沖地震〔17日〕
チリ中部沖でM8.3の地震、高さ約4mの津波が到達した。その余波で翌18日に日本列島の太平洋側で最大80cmの津波が観測された。

- マイナンバー制度開始〔1日〕
日本に住民票を持つ全ての人に12桁の番号を割当て、社会保障と税を一元管理する。

- 日米など12カ国、環太平洋経済連携協定(TPP)大筋合意〔5日〕

- ノーベル生理学・医学賞に大村智、物理学賞に梶田隆章が受賞〔5日〕

- 横浜市でマンションが傾く〔14日〕
旭化成建材がマンションの基礎工事データを改ざん、杭打ちが地盤まで到達していないことが判明。

- ピース・又吉直樹の『火花』が芥川賞受賞〔16日〕

- 中国の一人っ子政策が廃止〔29日〕

1. 平成27年度の動き

平成27年11月

- 新病院建設職員説明会〔5日〕
- 第3回福島赤十字病院ふれあいまつり開催〔14日〕



- 第13回福島赤十字病院地域連携懇話会開催(ホテル辰巳屋)〔18日〕
福島県立医科大学疫学講座主任教授 大平哲也先生による講演「笑いと生活習慣病」



- 院友会旅行「東京ディズニーリゾート」〔25日・28日〕→144 p
- 福島県原子力防災訓練〔28日〕

平成27年12月

- 福島おおなみ学園・FCBハンドベルクワイアクリスマスコンサート〔10日〕
- 院友会クリスマスパーティー〔16日〕→144 p
- musicanti音蔵詩コンサート・キャンドルサービス・クリスマスプレゼント〔24日〕



- 中国人民元、国際通貨入り〔1日〕
国際通貨基金(IMF)がドル、ユーロ、日本円、英ポンドと並ぶ5番目の基準通貨として採用。
- 日本郵政グループ3社が東証1部に上場〔4日〕
- ミャンマー総選挙でアウンサンスーチー率いる野党が圧勝し政権交代〔8日〕
- パリ同時多発テロ〔14日〕
フランス・パリ中心部の競技場や劇場で相次いで発砲や爆発が発生。少なくとも130人が死亡、350人以上が負傷。過激派組織「イスラム国」の犯行とみられる。

- 流行語大賞に「爆買い」「トリプルスリー」〔1日〕
- 仙台市地下鉄東西線が開業〔6日〕
既存の地下鉄南北線と十字で交差し仙台市内を横断する。全長13.9キロ、13駅を26分で結ぶ。
- 今年の漢字に「安」〔15日〕



1. 平成27年度の動き

平成28年 1月

- 仕事初め・病院長年頭挨拶〔4日〕



- 新病院建設造成工事・道路拡幅工事着工〔12日〕
- QCサークル発表〔20日・21日〕
 - 最優秀賞
医局・看護部・医事課・医療社会事業部「総合評価加算への道」
 - 優秀賞
用度施設課・WOC「みんながわかる倉庫内」
手術室「黒字にコミット」
栄養課「厨房内で使用する洗剤等の管理」
- 院友会旅行「蔵王スキー・スノーボードツアー〔23～24日〕→144p
- 福島キワニスクラブ様より絵本とキワニスドールの贈呈〔25日〕
- 病院機関誌『日赤通り広報版vol.39』発行〔30日〕

平成28年 2月

- 院内消防訓練〔19日〕

平成28年 3月

- 第6回院内災害訓練〔5日〕
大地震を想定した災害訓練を実施し、災害拠点病院としての行動を確認した。



- 芳賀甚市名誉院長厚生労働大臣
感謝状表彰〔7日〕
日本赤十字社金色有功章も受章
され、日本赤十字社福島県支部
野崎洋一事務局長より伝達され
た。



- 軽井沢スキーバス転落事故〔7日〕
スキーツアーに向かっていた夜行バスが崖下に転落、15名が死亡し26名が負傷した。
- 台湾初の女性総統が誕生〔7日〕
台湾総統選挙で民進党の蔡英文が当選。
- 沖縄本島で観測史上初の雪〔24日〕
鹿児島県奄美大島でも115年ぶりの降雪、沖縄県久米島でも39年ぶりの観測。
- 日本史上初のマイナス金利導入決定〔29日〕
金融機関が日銀に預けるお金の一部に年0.1%の手数料を課す。

- 中南米でのジカ熱の感染流行を受けWHOが緊急事態を宣言〔1日〕
- 東日本大震災から5年〔11日〕
- 民主党と維新の党が合併し「民進党」が誕生〔14日〕
- 北海道新幹線開業〔26日〕
北海道から九州まで新幹線がつながる。東京から新函館北斗間を最速4時間2分で結ぶ。
- 集団的自衛権を可能にした安全保障関連法が施行〔26日〕

II

病院の概況

1. 病院の沿革

< 年月 >	< 沿革 >
昭和18年 8月	日本赤十字社福島支部福島療院として福島市舟場町に発足(病床数32床) 飯坂海軍病院の分院として診療が行われる <診療科目：内科、小児科、耳鼻咽喉科、理学診療科>
昭和19年 1月	20床増床(病床数52床)
4月	福島赤十字病院と改称
昭和25年10月	入院患者に対する完全給食を開始
昭和28年 2月	30床増床(病床数82床)
昭和30年 7月	20床増床(病床数102床)
昭和33年 6月	産婦人科部設置
10月	18床増床(病床数120床)
昭和34年 5月	整形外科部設置
12月	30床増床(病床数150床)
昭和37年 1月	皮膚科部、眼科部設置
2月	現在地(福島市入江町)へ新築移転 <鉄筋コンクリート造4階建、延床面積4,740㎡> (病床数200床／一般170床・結核30床)
6月	入院患者に対する基準寝具開始
昭和38年 6月	秩父宮妃殿下御慰問
9月	総合病院の承認を受ける
昭和39年 9月	救急病院の指定を受ける
昭和40年 7月	福島市外3町村委託による伝染病棟50床併設(病床数250床)
昭和42年12月	精神科・神経科部設置
昭和43年 4月	東病棟増築、100床(精神)を増床(病床数350床)
昭和44年 9月	循環器科部、呼吸器科部設置
昭和52年 8月	精神病床100床のうち40床を一般病棟に変更
昭和54年 5月	エネルギーセンター棟を新設
9月	放射線科部設置
12月	胃腸科部、泌尿器科部設置
昭和56年11月	新館棟を増築、50床増床(病床数400床)
昭和57年 4月	脳神経外科部設置
昭和59年 3月	病院駐車場として国有地(福島大学跡地)を取得
昭和60年 5月	脳血管系疾患の収容病床として20床増床(病床数420床)
昭和61年 1月	麻酔科部設置
昭和63年 7月	外来診療会計コンピュータ稼働
平成元年 9月	三笠宮寛仁親王妃殿下御慰問
平成5年12月	病床23床増床(救急特例病床17床、ICU・CCU 6床) (病床数443床) 心臓血管外科部設置
平成6年 2月	本館棟等増改築工事完了
6月	医事／会計システム更新 富士通(株) HOPE/X
平成8年 4月	胃腸科部を消化器科部と名称変更
8月	結核病床30床を廃止(病床数413床)
11月	災害拠点病院の指定を受ける
平成10年10月	皇太子殿下並びに皇太子妃殿下御視察
12月	訪問看護ステーション設置
平成11年 3月	伝染病床50床を廃止(病床数363床)



昭和18年8月 舟場町に開院



昭和37年2月 入江町に新築移転



平成6年2月 本館棟増改築

< 年月 >	< 沿革 >
4月	第二種感染症医療機関の指定を受ける(6床)
平成12年4月	(病床数369床 / 一般303床・精神60床・感染6床)
平成12年4月	福島県精神科救急医療施設の指定を受ける
平成13年4月	居宅介護支援事業所設置
平成13年4月	デイサービスセンター、在宅介護支援センター設置
9月	医事/会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V1
平成14年7月	地域医療連携室開設
平成15年4月	呼吸器外科部設置
平成16年3月	臨床研修病院(協力型)の指定を受ける
6月	1号館、2号館3病棟改修工事完了
10月	臨床研修病院(管理型)の指定を受ける
平成18年3月	病理検査室設置
6月	精神病床10床を減床(病床数359床/一般303床・精神50床・感染6床)
平成19年3月	医療安全推進室設置
9月	病院機能評価Ver.4.0の認定を受ける
9月	医事/会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V4
平成20年1月	オーダーリングシステム導入 富士通(株) EGMAIN-FX V2
4月	導入オーダー:患者基本、処方、検体検査、入退院、病棟移動、給食、病名、診療予約、 検歴参照
12月	教育研修推進室設置
平成21年3月	医療技術部設置
4月	血管造影撮影室増築
平成22年3月	DPC(診断群分類別包括制度)対象病院の指定を受ける
平成22年4月	糖尿病・代謝科部設置
平成23年3月	東日本大震災発生 救護班延べ77個班を派遣
7月	平成23年7月新潟・福島豪雨発生 救護班1個班を派遣
9月	地域医療支援病院の認定を受ける
平成24年3月	ホールボディカウンター及びホールボディカウンター室を設置
4月	病院機能評価Ver.6.0一般にて更新
平成25年4月	新病院建設準備室設置
5月	ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を開始
平成25年4月	神経内科部設置
5月	医療用画像管理システム(PACS)導入
平成26年7月	追加オーダー:放射線
9月	HCUを設置
10月	自動精算機/POSレジシステム導入
平成26年7月	医事/会計システム更新 富士通(株) HOPE/X-W V6
9月	オーダーリングシステム更新 富士通(株) EGMAIN-GX V4
10月	追加オーダー:細菌検査、生理検査、病理検査、内視鏡検査、注射(外来)、リハビリ
平成27年3月	診療科名称を変更(24科)
5月	福島県認知症疾患医療センターの指定を受ける
平成27年3月	現病院土地との交換により新病院予定地(福島市八島町87番1・88番)取得
5月	名称から「総合病院」を削除

2. 病院概要

(平成28年3月31日現在)

(1) 施設の概要

名 称	福島赤十字病院 Japanese Red Cross Fukushima Hospital	※平成27年5月に『総合病院』を名称から削除
所在地	〒960-8530 福島市入江町11番31号 11-31 Irie-cho, Fukushima-city, Fukushima 960-8530 JAPAN TEL(024)534-6101(代表) FAX(024)531-1721 http://www.fukushima-med-jrc.jp/	
敷地面積	10,247.17㎡	
延床面積	22,138.537㎡	
開設年月日	昭和18年8月1日	
開設者	日本赤十字社福島県支部 支部長 内堀 雅雄	
管理者	院長 渡部 洋一	
付帯設備	訪問看護ステーション Visiting-nurse station 指定居宅介護支援事業所 Designated home-care assist operation	

(2) 診療科目 Medical Departments

内 科	糖尿病・代謝内科 Diabetes and Metabolism	呼吸器内科 Respiratory	循環器内科 Cardiology
消化器内科	精神科 Psychiatry	心療内科 Psychosomatic Medicine	小児科 Pediatrics
外科	心臓外科 Cardiac Surgery	血管外科 Vascular Surgery	呼吸器外科 Thoracic Surgery
整形外科	脳神経外科 Neurosurgery	皮膚科 Dermatology	形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery
泌尿器科	産婦人科 Obstetrics and Gynecology	眼 科 Ophthalmology	耳鼻咽喉科 Otolaryngology
放射線科	麻酔科 Anesthesiology	神経内科 Neurology	リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine

(全24科)

(3) 病床数

	許可病床数	実働病床数
一般病床	303床	303床
精神病床	50床	40床
感染症病床	6床	6床
計	359床	349床

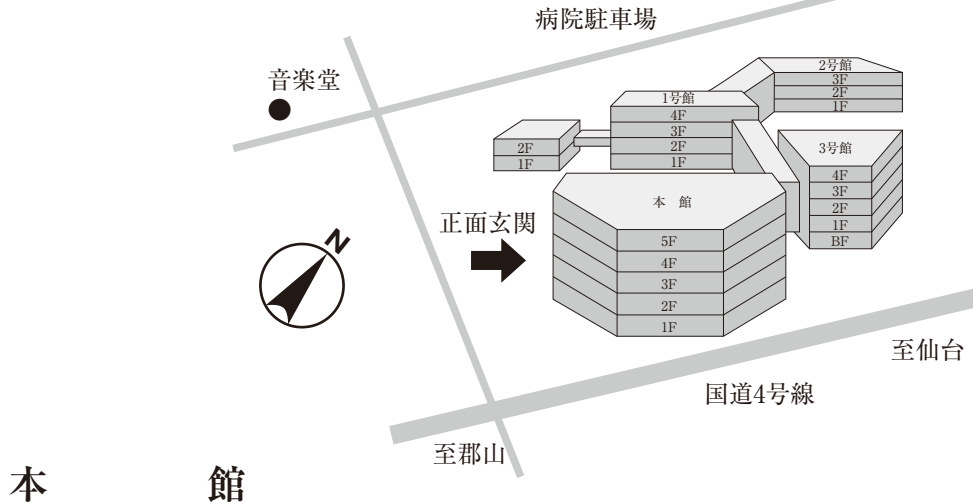
(内訳：実働病床数)

1号館2病棟 45床	2号館2病棟 40床	本館3病棟 31床
1号館3病棟 49床	2号館3病棟 28床	本館4病棟 51床
1号館4病棟 50床	3号館4病棟 49床	感染症病床 6床

(内訳：部屋別)

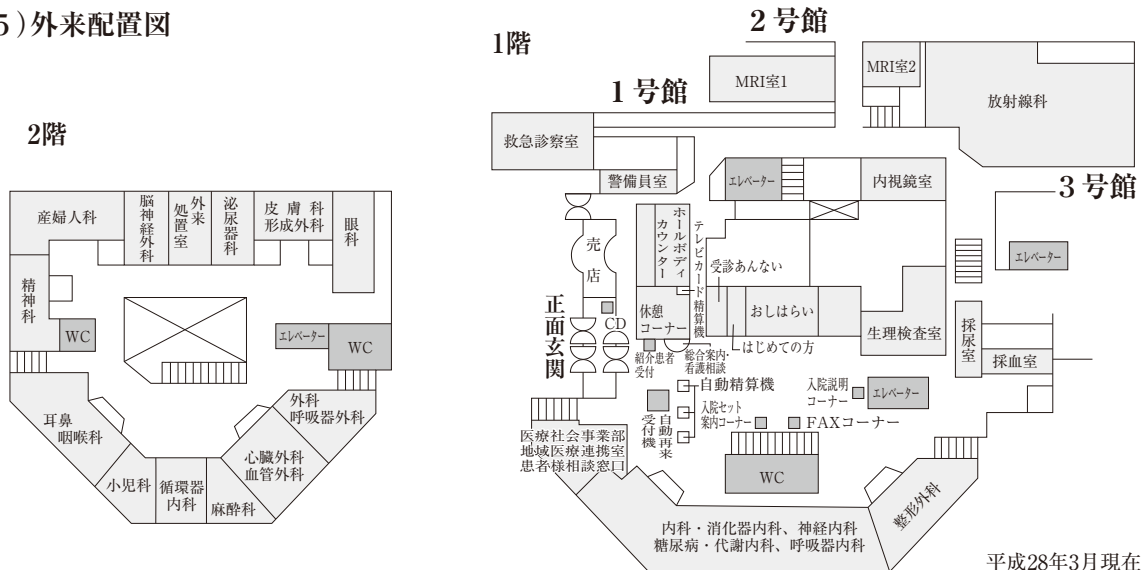
1人部屋	2人部屋	3人部屋	4人部屋	5人部屋以上	計
68	16	3	13	37	137

(4) 病院全体配置図

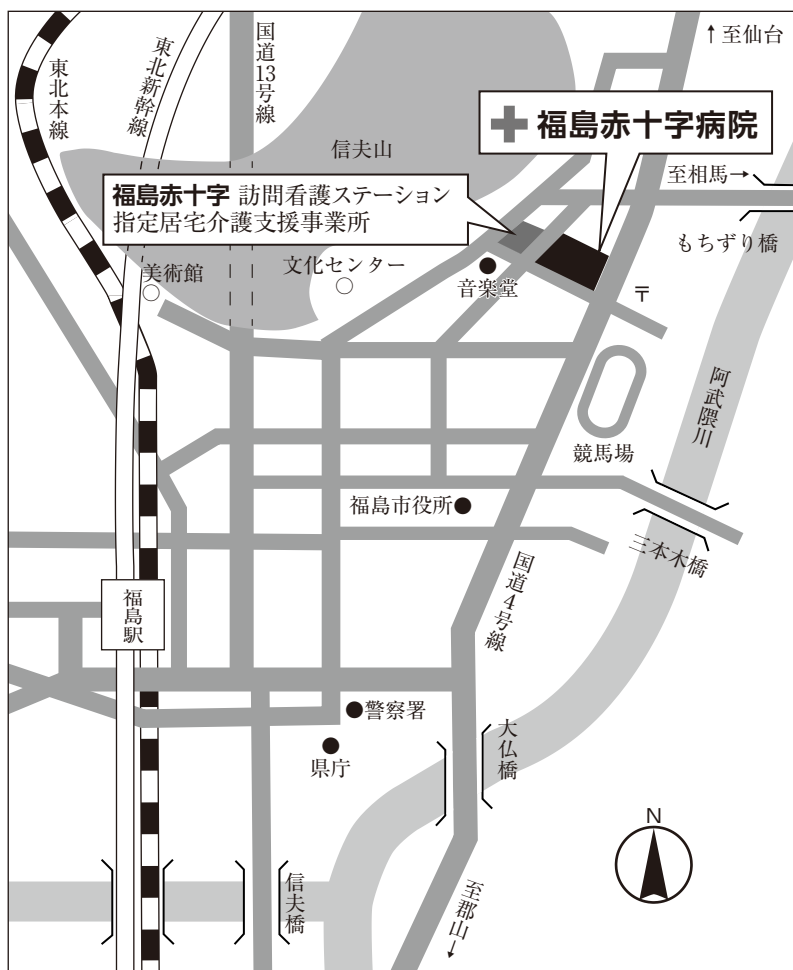


本館	5階	講堂(緊急救護所)、外来化学療法室 管理部門			
	4階	4病棟(4001~4032号室)	1号館 4病棟 (501~518号室)	2号館	3号館 4病棟 (1001~1018号室)
	3階	3病棟(3001~3030号室)・HCU リハビリテーション室	3病棟 (301~318号室)	3病棟(801~812号室) 新生児室、周産部	医局 管理部門
	2階	(外来診療)小児科、外科、呼吸器外科 脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科 耳鼻咽喉科、麻酔科、産婦人科、血管外科 心臓外科、循環器内科、精神科、眼科	2病棟 (201~222号室)	2病棟 (701~713号室)	手術室 家族控室
	1階	(外来診療)内科・消化器内科、神経内科 糖尿病・代謝内科、整形外科、医療社会事業部 地域医療連携室、患者様相談窓口、生理検査室 医事課、薬剤部、ホールボディカウンター室 おしほらい、休憩コーナー、売店、CD FAXコーナー、入院説明コーナー	救急診察室 内視鏡室 警備員室	MRI室 シネアンギオ室	検査部、放射線科 採血室、採尿室 CT室
	地下 1階				レストラン 売店(衛生材料) 栄養相談室

(5) 外来配置図



(6) 位置及び案内



■交通機関(福島駅東口から約3.5km)

●タクシー 7分

●バス 10分 伊達・藤田方面行き
梁川・掛田・保原方面行き
(日赤病院前下車)

(7) 機関指定

機関指定	
健康保険法指定医療機関	国民健康保険法指定医療機関
臨床研修指定医療機関	結核予防法指定医療機関
生活保護法指定医療機関	身体障害者福祉法指定医療機関
更生医療指定医療機関 (整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科)	戦傷病者特別援護法指定医療機関
原子爆弾被害者に対する指定医療機関	養育医療(母子保健法)指定医療機関
育成医療(児童福祉法)指定医療機関	労働者災害補償保険法指定医療機関
地方公務員災害補償法指定医療機関	国家公務員災害補償法指定医療機関
救急告示病院	第二次救急指定病院
災害拠点病院(地域災害医療センター)	福島県特定不妊治療費助成事業指定医療機関
開放型病院	第二種感染症指定医療機関
地域医療支援病院	

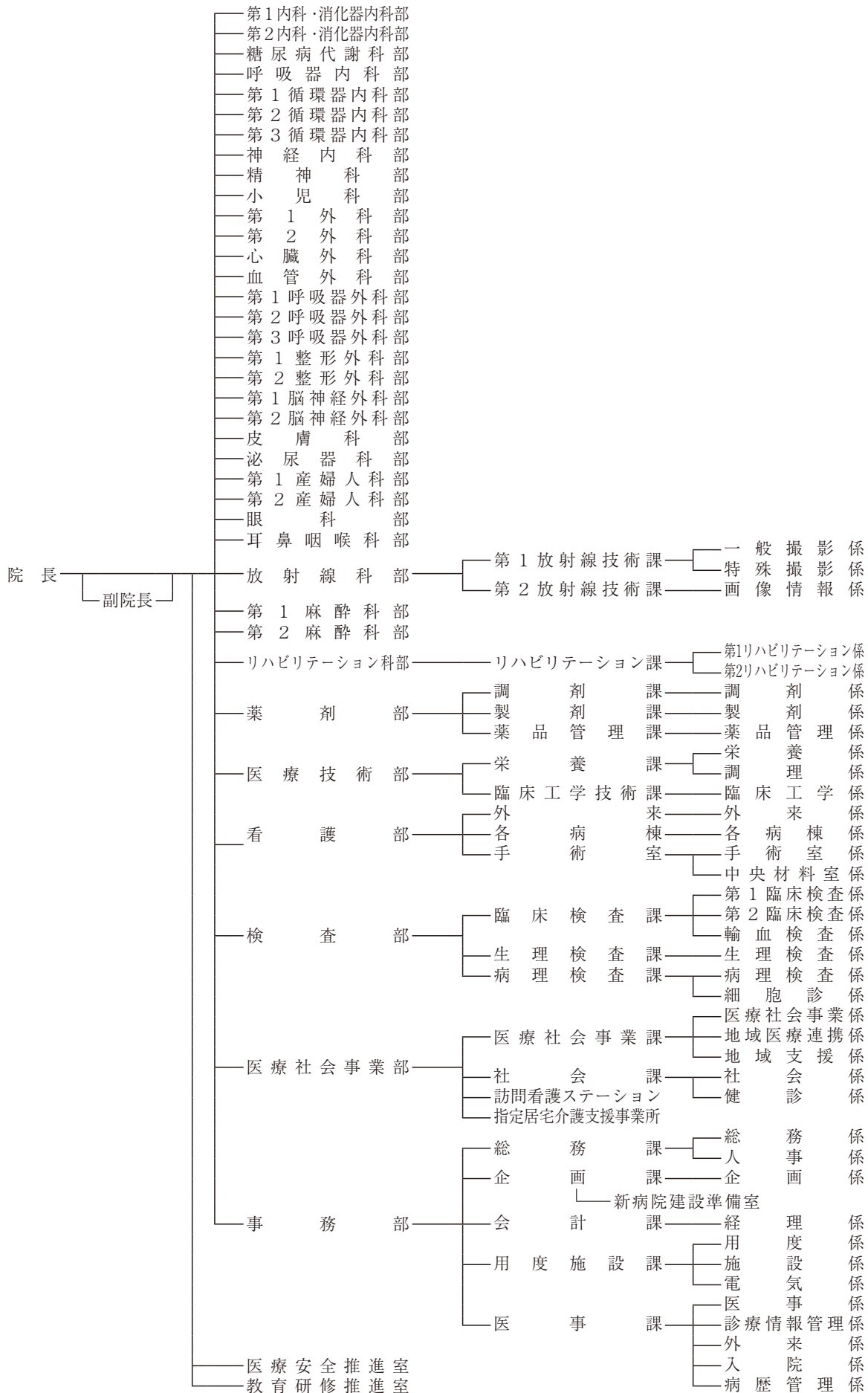
(8)施設基準の届出状況

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日	
基本診療料	一般病棟入院基本料 7対1	(一般入院)第1840号	平成26年10月1日	
	精神病棟入院基本料 13対1	(精神入院)第1045号	平成25年4月1日	
	診療録管理体制加算2	(診療録2)第23号	平成16年6月1日	
	医師事務作業補助体制加算 40対1	(事補)第119号	平成27年4月1日	
	急性期看護補助体制加算 50対1	(急性看補)第147号	平成26年10月1日	
	療養環境加算	(療)第113号	平成23年3月1日	
	重症者等徴用環境特別加算	(重)第172号	平成19年5月1日	
	精神病棟入院時医学管理加算	(精入学)第19号	平成22年9月1日	
	精神科身体合併症管理加算	(精合併加算)第7号	平成20年4月1日	
	医療安全対策加算1	(医療安全1)第39号	平成20年4月1日	
	感染防止対策加算1	(感染防止1)第23号	平成27年3月1日	
	患者サポート体制加算	(患サポ)第25号	平成24年4月1日	
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア)第8号	平成23年5月1日	
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠)第37号	平成21年4月1日	
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩)第26号	平成21年4月1日	
	精神科救急搬送地域連携受入加算	(精救急受入)第3号	平成24年4月1日	
	総合評価加算	(総合評価)第33号	平成26年4月1日	
	病棟薬剤業務実施加算	(病棟薬)第6号	平成26年8月1日	
	データ提出加算2	(データ提)第33号	平成24年10月1日	
	退院調整加算	(退院)第2号	平成24年4月1日	
	ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1)第3号	平成26年7月1日	
	臨床研修病院入院診療加算	(臨床研修)第12号	平成17年4月1日	
	救急医療管理加算	(救急加算)第49号	平成22年4月1日	
	妊産婦緊急搬送入院加算	(妊産婦)第8号	平成20年4月1日	
	救急搬送患者地域医療連携紹介加算	(救急紹介)第26号	平成24年4月1日	
	救急搬送患者地域医療連携受入加算	(救急受入)第14号	平成23年4月1日	
	特掲診療料	糖尿病合併症管理料	(糖管)第51号	平成27年10月1日
		がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼)第44号	平成22年9月1日
がん患者指導管理料1		(がん指1)第20号	平成26年8月1日	
がん患者指導管理料2		(がん指2)第10号	平成26年4月1日	
がん患者指導管理料3		(がん指3)第7号	平成26年4月1日	
小児科外来診療料		(小外)第4号	平成8年4月1日	
糖尿病透析予防指導管理料		(糖防管)第21号	平成27年10月1日	
院内トリアージ実施料		(トリ)第8号	平成24年7月1日	
夜間休日救急搬送医学管理料		(夜救管)第31号	平成24年4月1日	
ニコチン依存症管理料		(ニコ)第249号	平成23年4月1日	
開放型病院共同指導料		(開)第24号	平成15年8月1日	
地域連携診療計画管理料		(地連携)第1号	平成18年8月1日	
ハイリスク妊産婦共同管理料1		(ハイI)第22号	平成19年4月1日	
がん治療連携指導料		(がん指)第94号	平成23年7月1日	
認知症専門診断管理料		(認知診)第4号	平成26年12月1日	
肝炎インターフェロン治療計画料		(肝炎)第16号	平成22年4月1日	
薬剤管理指導料		(薬)第167号	平成22年6月1日	
医療機器安全対策管理料		(機安1)第7号	平成20年4月1日	

基本診療料 特掲診療料 別	施設基準名	受理番号	算定開始 年月日
特掲診療料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易 ジェノタイプ判定)	(HPV)第123号	平成26年4月1日
	検体検査管理加算Ⅱ	(検Ⅱ)第3号	平成20年4月1日
	埋込型心電図検査	(植心電)第5号	平成22年4月1日
	時間内歩行試験	(歩行)第21号	平成27年2月1日
	ヘッドアップティルト試験	(ヘッド)第9号	平成24年4月1日
	神経学的検査	(神経)第16号	平成20年4月1日
	コンタクトレンズ検査料1	(コン1)第247号	平成22年7月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検)第16号	平成24年4月1日
	画像診断管理加算1	(画1)第27号	平成21年5月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M)第219号	平成24年4月1日
	冠動脈CT撮影加算	(冠動C)第8号	平成21年6月1日
	大腸CT撮影加算	(大腸C)第8号	平成24年4月1日
	心臓MRI撮影加算	(心臓M)第7号	平成21年6月1日
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方)第17号	平成22年4月1日
	外来化学療法加算1	(外化1)第63号	平成21年6月1日
	無菌製剤処理料	(菌)第23号	平成20年4月1日
	脳血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ)第154号	平成28年3月1日
	運動器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ)第104号	平成25年9月1日
	呼吸器疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ)	平成25年9月1日
	がん患者リハビリテーション料	(がんリハ)第22号	平成27年3月1日
	経皮的冠動脈形成術	(経冠形)第12号	平成26年4月1日
	経皮的冠動脈ステント留置術	(経冠ス)第12号	平成26年4月1日
	経皮的中隔心筋焼灼術	(経中)第7号	平成20年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメー カー交換術	(ペ)第105号	平成18年4月1日
	大動脈瘤バルンパンピング法	(大)第53号	平成18年4月1日
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸)第18号	平成28年2月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則5 及び6(歯科点数表第2章第9部の通則 4を含む。)に掲げる手術	(通手)第146号	平成20年4月1日
	胃瘻造設術	(胃瘻造)第29号	平成26年4月1日
	輸血管管理料Ⅱ	(輸血Ⅱ)第14号	平成18年6月1日
	輸血適正使用加算	(輸適)第15号	平成24年4月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前)第24号	平成25年4月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)第14号	平成26年4月1日
	麻酔管理加算Ⅰ	(麻管Ⅰ)第41号	平成15年4月1日
	入院時食事療養費	(食)第752号	平成18年4月1日
	酸素の購入単価		平成27年4月1日 (毎年届出)

3. 組織図

平成27年4月1日現在



4. 職員数

(平成28年3月31日現在)

(1) 病院

(単位：人)

区 分	実 人 員			換算人員計
	常勤職員	非常勤職員	実人員計	
医 師	41	64	105	46.4
研 修 医	15		15	15.0
薬 剤 師	13		13	13.0
診 療 放 射 線 技 師	14		14	14.0
臨 床 検 査 技 師	20	2	22	20.9
臨 床 工 学 技 士	4		4	4.0
管 理 栄 養 士	5		5	5.0
栄 養 士	3		3	3.0
理 学 療 法 士	9		9	9.0
作 業 療 法 士	3		3	3.0
視 能 訓 練 士	3		3	3.0
言 語 聴 覚 士	2		2	2.0
臨 床 心 理 士	1		1	1.0
柔 道 整 復 師	1		1	1.0
社 会 福 祉 士	2		2	2.0
精 神 保 健 福 祉 士	1		1	1.0
保 健 師	4		4	4.0
助 産 師	15	1	16	16.6
看 護 師	251	5	256	258.5
准 看 護 師	7	1	8	7.5
事 務 職 員	55		55	55.0
技 術 員	2		2	2.0
調 理 師	4		4	4.0
ボ イ ラ ー 技 士 等	1		1	1.0
看 護 助 手	27		27	27.0
放 射 線 助 手	0	1	1	0.6
業 務 員	10		10	10.0
小 計	513	74	587	529.5

(2) 付帯事業

(単位：人)

区 分	実 人 員			換算人員計
	常勤職員	非常勤職員	実人員計	
訪問看護ステーション職員	5		5	5.0
指定居宅介護支援事業所	3		3	3.0
小 計	8	0	8	8.0

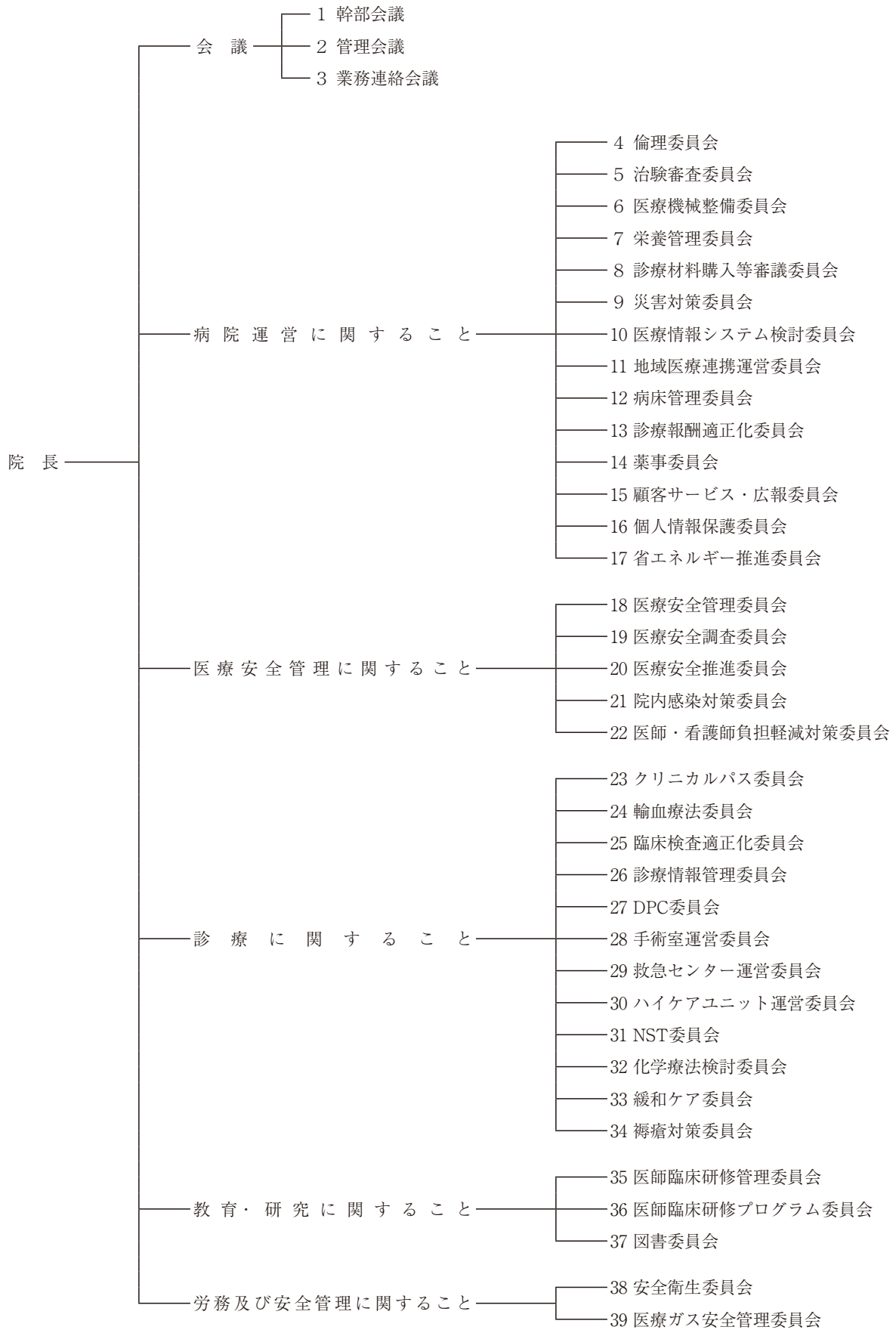
(3) 合計

(単位：人)

区 分	実 人 員			換算人員計
	常勤職員	非常勤職員	実人員計	
(1) 病院 + (2) 付帯事業	521	74	595	537.5

5. 会議及び委員会

平成27年4月1日現在



6. 救護班名簿

(平成28年3月31日現在)

(1) 常備救護班

	第1救護班		第2救護班		第3救護班		第4救護班	
医師	神経内科部長	中村耕一郎	第1内科・消化器内科部副部長	郡司 直彦	整形外科部副部長	佐藤 法義	第1産婦人科部副部長	伊藤 史浩
看護師長	手術室看護係長	國分 花子	3号館4病棟看護係長	成澤 裕美	1号館4病棟看護師長	菅野いづみ	2号館3病棟看護係長 助産師	石田 久江
看護師	2号館2病棟看護係長	柳田 美穂	本4病棟看護係長	鈴木 牧子	2号館2病棟看護師	黒澤真由美	1号館3病棟看護係長	武田 里美
	本3病棟看護師	田島 一樹	本3病棟看護師	松本 典子	3号館4病棟看護師	安在 沙織	外来看護師	木幡 紀子
主 事	企画課主事	野崎 謙司	医事課入院係長	金原 昭世	企画課企画係長	野地 幸次	医事課病歴管理係長	池田 久光
	医療社会事業課精神保健福祉士	菅野 直樹	福島県支部組織振興課参事	久保 芳宏	医事課主事	金子 瑛	福島県支部組織振興課青少年係長	小林 俊之

	第5救護班		第6救護班		第7救護班		第8救護班	
医師	心臓外科部副部長	五十嵐 崇	精神科部副部長	藤森 春生	第3循環器内科部長	阪本 貴之	第2麻酔科部長	出羽 明子
看護師長	1号館2病棟看護係長	小林 洋子	外来看護師長	菅野ひとみ	1号館3病棟看護師長	安達 明美	本4病棟看護師長	齋藤 明子
看護師	1号館3病棟看護師	田畑 栄子	3号館4病棟看護師	齋藤 貴子	外来看護師	森田 直子	外来看護師	野田 江美
	2号館2病棟看護師	菅野 忍	本3病棟看護師	佐藤 里奈	1号館4病棟看護師	齋藤 文子	1号館4病棟看護師	清和 彩子
主 事	用度施設課用度係長	菅野 正幸	総務課総務係長	國分 秀俊	企画課主事	二階堂雄平	医事課医事係長兼外來係長	池田 久光
	福島県支部総務課総務係長	深谷 秀樹	会計課兼企画課主事	山名慎一郎	福島県支部事業推進課主事	葛岡 大輔	医療社会事業部地域支援係長	富田 夕紀

こころのケア指導者	福島県支部事業推進課長	武田 玲子	看護副部長	渡邊 知子	医療社会事業部医療社会事業係長	高根 晴美	手術室看護師長	岩崎 睦子
	医療社会事業課精神保健福祉士	菅野 直樹						

薬剤師	薬剤部長	我妻 禎	薬品管理課長	緑上 淳一	調剤係長	川村 早苗	製剤係長	山脇 聡
	薬剤師	佐藤 南	薬剤師	齋藤可奈子	薬剤師	二瓶 瑤子	薬剤師	馬場 洵
	薬剤師	寶槻 友紀	薬剤師	酒井 亮	薬剤師	武藤 壮平		

(2) 日本DMAT

統括DMAT	院長	渡部 洋一						
医師	第2脳神経外科部長	市川 剛	第1外科部長	遠藤 豪一	第2循環器内科部長	渡部 研一	神経内科部長	中村耕一郎
看護師	本館3病棟看護師長	鈴木 佳子	本館3病棟看護係長	奈良輪弘美	本館3病棟看護師	泉 弘子	本館4病棟看護師	原田 瑞穂
	手術室看護係長	渡邊あゆみ	本館3病棟看護師	鈴木 安英	手術室看護師	梅宮 誠	外来看護師	萩原 暁美
調整員	製剤課長(薬剤師)	渡部 寿康	医事課長	齋藤 智浩	薬剤師	薄 大介	福島県支部組織振興課参事	久保 芳宏
	臨床工学技術課長(臨床工学技士)	橋本 健一	総務課長	野田 誠	企画課企画係長	野地 幸次	福島県支部事業推進課主事	葛岡 大輔

(3) 福島県DMAT

看護師	2号館3病棟看護係長(助産師)	石田 久江	3号館4病棟看護師	藤田 恵実
調整員	福島県赤十字血液センター献血2係長	松本 琢也		

III

統計

1. 平成27年度実績表

(単位：人(患者延数、1日平均)、日(在院日数)、円(稼働額、診療単価))

	入 院				外 来				合 計	
	患者延数	1日平均	在院日数	診療稼働額	診療単価	患者延数	1日平均	診療稼働額		診療単価
内 科	15,812	43.2	15.5	660,069,023	41,745	29,500	121.9	448,994,550	15,220	1,109,063,573
消化器内科	7,219	19.7	12.0	312,481,510	43,286	6,142	25.4	94,752,778	15,427	407,234,288
小 児 科	788	2.2	3.8	38,325,648	48,637	4,294	17.7	35,076,817	8,169	73,402,465
外科・呼吸器外科	12,545	34.3	13.8	779,586,096	62,143	13,212	54.6	277,511,770	21,005	1,057,097,866
整形外科	14,756	40.3	20.0	776,578,873	52,628	17,022	70.3	96,115,417	5,647	872,694,290
脳神経外科	10,610	29.0	14.8	693,967,866	65,407	9,434	39.0	103,134,703	10,932	797,102,569
皮膚科	384	1.0	12.2	12,842,849	33,445	6,463	26.7	19,299,581	2,986	32,142,430
泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0	706	2.9	5,186,905	7,347	5,186,905
産婦人科	7,996	21.8	7.8	476,396,255	59,579	11,677	48.3	115,294,222	9,874	591,690,477
眼科	7	0.0	6.0	308,970	44,139	5,768	23.8	33,311,543	5,775	33,620,513
耳鼻咽喉科	878	2.4	5.5	48,855,028	55,644	6,013	24.8	26,377,016	4,387	75,232,044
麻酔科	233	0.6	11.7	8,982,270	38,551	810	3.3	1,362,080	1,682	10,344,350
精神科	7,763	21.2	60.0	146,494,775	18,871	13,759	56.9	76,849,589	5,585	223,344,364
血管外科・心臓外科	2,901	7.9	19.7	205,583,394	70,866	4,630	19.1	27,523,806	5,945	233,107,200
循環器内科	12,728	34.8	15.3	822,250,079	64,602	15,431	63.8	132,314,213	8,575	954,564,292
形成外科	0	0.0	0.0	0	0	616	2.5	5,601,242	9,093	5,601,242
神経内科	5,101	13.9	15.3	197,884,913	38,793	5,044	20.8	42,377,641	8,402	240,262,554
放射線科	0	0.0	0.0	0	0	15	0.1	5,811,280	387,419	5,811,280
小 計	99,721	272.5	14.7	5,180,607,549	51,951	150,536	622.0	1,546,895,153	10,276	6,727,502,702
健 診	-	-	-	-	-	-	-	63,279,816	-	63,279,816
合 計	99,721	272.5	14.7	5,180,607,549	51,951	150,536	622.0	1,610,174,969	10,276	6,790,782,518
前 年 度	100,838	276.3	15.6	4,992,032,936	49,505	147,614	607.5	1,496,414,025	9,982	6,488,446,961
増 加 率	△1.1%	△1.4%	△5.8%	3.8%	4.9%	2.0%	2.0%	7.6%	2.9%	4.7%

2. 月別入院実績表

(1) 入院患者数

(単位：人)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	15,812	1,446	1,396	1,207	1,178	1,097	1,090	1,323	1,497	1,544	1,384	1,184	1,466
消化器内科	7,219	635	486	529	681	602	806	460	467	658	585	549	761
小児科	788	39	75	53	55	65	107	68	64	83	64	75	40
外科・呼吸器外科	12,545	1,033	953	1,167	1,065	1,221	1,100	1,213	1,061	1,036	936	832	928
整形外科	14,756	1,421	995	924	1,104	1,284	1,306	1,353	1,310	1,201	1,268	1,381	1,209
脳神経外科	10,610	820	868	768	834	909	727	874	951	951	1,003	965	940
皮膚科	384	15	24	45	100	64	23	35	17	34	18	0	9
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	7,996	664	619	603	674	767	673	707	621	589	746	662	671
眼科	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	878	64	53	91	101	108	65	67	92	43	39	99	56
麻酔科	233	2	2	39	54	38	32	16	19	19	11	0	1
精神科	7,763	451	495	490	662	655	594	615	684	725	832	750	810
血管外科・心臓外科	2,901	185	254	315	186	179	211	142	163	221	319	293	433
循環器内科	12,728	1,070	1,081	904	823	992	790	1,101	1,279	1,174	1,067	1,186	1,261
神経内科	5,101	391	341	386	299	400	478	486	510	506	404	463	437
合計	99,721	8,236	7,642	7,528	7,816	8,381	8,002	8,460	8,735	8,784	8,676	8,439	9,022
1日平均	272.5	22.5	20.9	20.6	21.4	22.9	21.9	23.1	23.9	24.0	23.7	23.1	24.7
前年度	100,838	8,245	7,787	8,042	8,353	8,789	8,553	8,375	8,597	8,423	8,882	8,031	8,761
1日平均	276.3	274.8	251.2	268.1	269.5	283.5	285.1	270.2	286.6	271.7	286.5	276.9	282.6
増加率	△1.1%	△0.1%	△1.9%	△6.4%	△6.4%	△4.6%	△6.4%	1.0%	1.6%	4.3%	△2.3%	5.1%	3.0%

(2) 入院稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	660,069,023	54,660,652	53,123,632	53,109,402	46,614,084	45,841,196	46,485,122	59,670,102	61,268,374	63,617,432	57,760,273	54,121,890	63,796,864
消化器内科	312,481,510	26,324,692	20,125,814	22,690,760	29,237,550	28,384,552	33,782,042	20,080,720	21,136,204	27,585,006	27,140,924	23,745,370	32,247,876
小児科	38,325,648	1,921,320	3,564,968	2,330,040	2,554,520	3,043,660	5,137,030	3,218,570	3,446,510	3,891,570	3,143,400	4,026,740	2,047,320
外科・呼吸器外科	779,586,096	65,830,406	52,838,373	71,959,555	59,604,025	71,891,623	68,362,028	82,064,154	70,074,452	63,305,264	55,375,898	55,873,722	62,406,596
整形外科	776,578,873	72,368,932	50,812,119	50,541,192	65,980,869	62,960,931	70,083,455	71,729,441	68,275,067	62,682,298	69,298,408	68,216,592	63,629,569
脳神経外科	693,967,866	60,112,916	51,210,820	55,134,693	61,472,425	54,677,950	55,220,034	58,469,452	58,364,678	52,649,196	68,450,052	56,833,764	61,371,886
皮膚科	12,842,849	453,420	867,438	1,447,486	3,175,020	2,243,556	703,776	1,270,787	593,106	1,142,220	620,230	0	325,810
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	476,396,255	37,254,862	37,126,436	34,490,253	45,491,854	43,659,382	35,109,296	42,840,818	35,249,434	36,339,920	47,269,442	39,211,230	42,353,328
眼科	308,970	0	0	308,970	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	48,855,028	2,748,750	2,714,990	5,468,864	4,997,100	6,098,398	2,947,610	3,592,390	5,050,066	2,925,670	2,671,722	5,886,278	3,753,190
麻酔科	8,982,270	182,790	136,710	1,490,000	1,918,320	1,266,170	1,286,320	638,360	742,870	633,430	577,760	0	109,540
精神科	146,494,775	8,566,538	9,372,116	10,547,342	13,456,056	12,202,552	11,051,960	11,002,604	12,211,892	13,768,695	14,880,722	13,885,532	15,548,766
血管外科・心臓外科	205,583,394	23,234,588	23,611,106	30,267,274	12,450,878	7,564,724	12,773,520	10,071,904	8,777,780	13,474,106	19,329,253	19,710,499	24,317,762
循環器内科	822,250,079	69,634,492	64,692,962	66,747,040	62,653,840	57,533,618	50,351,652	72,411,336	77,710,306	76,821,764	67,598,624	74,541,761	81,552,684
神経内科	197,884,913	15,034,508	12,748,586	15,927,342	11,889,678	16,702,034	18,462,124	18,664,998	19,688,992	19,052,910	15,147,812	17,200,344	17,365,585
合計	5,180,607,549	438,328,866	382,946,070	422,460,213	421,496,219	414,070,346	411,755,969	455,725,636	442,589,731	437,889,481	449,264,520	433,253,722	470,826,776
前年度	4,992,032,936	391,636,968	380,797,840	385,159,122	419,623,976	429,099,187	437,702,516	447,082,729	407,477,790	415,619,731	425,418,488	407,601,178	444,813,411
増加率	3.8%	11.9%	0.6%	9.7%	0.4%	△3.5%	△5.9%	1.9%	8.6%	5.4%	5.6%	6.3%	5.8%

(3) 入院単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	41,745	37,801	38,054	44,001	39,571	41,788	42,647	45,102	40,927	41,203	41,734	45,711	43,518
消化器内科	43,286	41,456	41,411	42,894	42,933	47,150	41,913	43,654	45,260	41,923	46,395	43,252	42,376
小児科	48,637	49,265	47,533	43,963	46,446	46,826	48,010	47,332	53,852	46,886	49,116	53,690	51,183
外科・呼吸器外科	62,143	63,727	55,444	61,662	55,966	58,879	62,147	67,654	66,046	61,105	59,162	67,156	67,248
整形外科	52,628	50,928	51,067	54,698	59,765	49,035	53,663	53,015	52,118	52,192	54,652	49,397	52,630
脳神経外科	65,407	73,308	58,999	71,790	73,708	60,152	75,956	66,899	61,372	55,362	68,245	58,895	65,289
皮膚科	33,445	30,228	36,143	0	31,750	35,056	30,599	36,308	34,889	33,595	34,457	0	36,201
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	59,579	56,107	59,978	57,198	67,495	56,922	52,168	60,595	56,762	61,698	63,364	59,231	63,120
眼科	44,139	0	0	44,139	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	55,644	42,949	51,226	60,097	49,476	56,467	45,348	53,618	54,892	68,039	68,506	59,457	67,021
麻酔科	38,551	91,395	68,355	38,205	35,524	33,320	40,198	39,898	39,098	33,338	52,524	0	109,540
精神科	18,871	18,995	18,934	21,525	20,326	18,630	18,606	17,890	17,854	18,991	17,885	18,514	19,196
血管外科・心臓外科	70,866	125,592	92,957	96,087	66,940	42,261	60,538	70,929	53,851	60,969	60,593	67,271	50,161
循環器内科	64,602	65,079	59,845	73,835	76,129	57,998	63,736	65,769	60,759	65,436	63,354	62,851	64,673
神経内科	38,793	38,451	37,386	41,263	39,765	41,755	38,624	38,405	38,606	37,654	37,495	37,150	39,738
合計	51,951	53,221	50,111	56,119	53,927	49,406	51,457	53,868	50,669	49,851	51,782	51,339	52,187
前年度	49,505	47,500	48,902	47,893	50,236	48,822	51,175	53,383	47,398	49,393	47,897	50,753	50,772
増加率	4.9%	12.0%	2.5%	17.2%	7.3%	1.2%	0.6%	0.9%	6.9%	0.9%	8.1%	1.2%	2.8%

3. 月別外来実績表

(1) 外来患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	2,480	2,233	2,424	2,605	2,268	2,407	2,581	2,453	2,483	2,406	2,420	2,740
内科	465	434	529	559	513	556	593	497	484	438	498	576
消化器内科	336	252	326	398	348	382	357	417	432	313	334	399
小児科	998	922	1,103	1,154	1,092	1,136	1,245	1,088	1,150	1,089	1,057	1,178
外科・呼吸器外科	1,417	1,301	1,421	1,578	1,423	1,412	1,461	1,369	1,392	1,364	1,318	1,566
整形外科	770	747	821	881	771	732	849	777	766	763	737	820
脳神経外科	597	520	546	647	568	542	544	443	500	480	475	601
皮膚科	65	49	55	62	56	62	54	77	42	59	58	67
泌尿器科	1,008	856	1,006	995	937	962	1,064	883	1,005	941	1,024	996
産婦人科	527	445	509	524	447	461	478	468	478	457	474	500
眼科	585	488	488	588	499	448	508	459	484	454	463	549
耳鼻咽喉科	79	57	65	86	63	74	113	58	51	49	51	64
麻酔科	1,272	1,145	1,171	1,247	1,127	1,139	1,180	1,079	1,106	1,046	1,098	1,149
精神科	409	376	401	389	398	373	370	358	391	355	364	446
血管外科・心臓外科	1,328	1,158	1,250	1,309	1,222	1,246	1,338	1,299	1,314	1,287	1,241	1,439
循環器内科	55	37	58	60	38	63	56	41	41	54	49	64
形成外科	428	349	393	422	417	415	450	433	404	406	433	494
神経内科	1	5	1	1	1	0	2	2	0	0	0	2
放射線科	12,820	11,374	12,567	13,505	12,188	12,410	13,243	12,201	12,523	11,961	12,094	13,650
合計	610.5	669.1	571.2	613.9	580.4	653.2	630.6	642.2	659.1	629.5	604.7	620.5
1日平均	12,038	11,761	12,085	13,139	12,020	12,441	13,381	11,626	12,529	12,288	11,065	13,241
前年度	573.2	619.0	575.5	597.2	572.4	622.1	608.2	645.9	659.4	646.7	582.4	601.9
1日平均	6.5%	△3.3%	4.0%	2.8%	1.4%	△0.2%	△1.0%	4.9%	0.0%	△2.7%	9.3%	3.1%
増加率												

(2) 外来稼働額

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	448,994,550	36,989,848	34,708,002	37,587,771	38,026,870	33,477,442	35,540,747	39,648,161	37,218,368	40,109,193	37,456,134	36,113,447	42,118,567
消化器内科	94,752,778	5,804,810	5,900,860	8,249,123	8,167,700	6,665,070	8,429,020	8,013,330	7,663,322	7,858,724	8,295,069	8,588,250	11,117,500
小児科	35,076,817	2,359,226	1,734,731	2,717,491	3,375,680	2,798,324	3,023,635	2,561,999	3,158,445	3,272,550	3,182,768	3,016,697	3,875,271
外科・呼吸器外科	277,511,770	23,433,650	21,696,526	28,991,551	25,490,838	23,309,349	21,781,674	22,893,905	20,852,210	19,918,791	22,879,605	20,992,272	25,271,399
整形外科	96,115,417	8,239,794	7,128,458	8,364,172	8,995,852	8,360,120	7,978,790	8,034,251	7,525,393	7,643,058	7,892,375	7,492,364	8,460,790
脳神経外科	103,134,703	8,075,900	8,127,677	9,728,962	9,415,348	9,051,831	7,980,980	8,931,835	7,930,160	8,324,782	7,757,336	8,209,093	9,600,799
皮膚科	19,299,581	2,057,086	1,530,138	1,885,580	1,974,210	1,750,915	1,648,430	1,708,241	1,311,132	1,292,909	1,347,680	1,213,780	1,579,480
泌尿器科	5,186,905	352,810	364,200	521,090	430,330	397,120	460,590	286,983	668,342	374,840	354,980	417,930	557,690
産婦人科	115,294,222	9,436,610	8,522,310	10,175,370	9,770,150	9,469,310	8,639,040	10,276,170	8,211,442	9,871,010	10,121,500	10,717,190	10,084,120
眼科	32,560,935	3,063,500	3,042,020	2,897,454	2,866,080	2,218,029	2,607,781	2,685,300	1,881,882	2,813,240	2,321,599	3,448,470	2,715,580
耳鼻咽喉科	27,127,624	2,530,510	2,101,413	2,047,945	2,790,964	2,117,885	1,851,987	2,415,324	2,632,490	2,272,586	2,003,160	2,154,800	2,208,560
麻酔科	1,362,080	121,710	109,680	124,540	129,880	119,720	121,820	135,990	117,120	100,240	77,690	100,440	103,250
精神科	76,849,589	6,753,447	6,209,507	6,202,989	6,829,414	6,390,371	6,362,496	6,561,590	6,281,752	6,301,098	6,006,796	6,430,679	6,519,450
血管外科・心臓外科	27,523,806	2,273,789	2,013,751	2,385,563	2,100,200	2,351,784	2,100,960	2,520,860	2,085,573	2,321,760	2,309,126	2,455,559	2,604,881
循環器内科	132,314,213	11,265,013	9,670,000	10,364,149	10,566,480	10,348,200	10,583,953	12,028,469	11,102,576	11,062,874	11,557,670	11,052,426	12,712,403
形成外科	5,601,242	368,294	416,628	602,145	495,049	392,620	449,764	601,100	297,711	405,810	548,450	463,351	560,320
神経内科	42,377,641	3,713,818	2,924,980	3,393,930	3,349,110	4,137,830	3,655,860	3,685,700	3,507,884	3,214,122	3,505,320	3,583,023	3,706,064
放射線科	5,811,280	475,710	641,210	349,130	448,390	414,690	278,150	730,450	538,070	741,060	562,780	212,580	419,060
小計	1,546,895,153	127,315,525	116,842,091	136,588,955	135,222,545	123,770,610	123,495,677	133,719,658	122,983,872	127,898,647	128,180,038	126,662,351	144,215,184
健診	63,279,816	2,055,490	1,521,535	2,496,657	1,927,985	4,111,861	6,227,121	8,214,590	6,284,549	5,688,829	8,767,137	8,439,531	7,544,531
合計	1,610,174,969	129,371,015	118,363,626	139,085,612	137,150,530	127,882,471	129,722,798	141,934,248	129,268,421	133,587,476	136,947,175	135,101,882	151,759,715
前年度	1,496,414,025	125,801,919	116,152,974	123,107,897	131,683,578	124,436,898	122,502,347	132,084,559	117,541,919	124,069,829	127,248,355	116,674,993	135,108,757
増加率	7.6%	2.8%	1.9%	13.0%	4.2%	2.8%	5.9%	7.5%	10.0%	7.7%	7.6%	15.8%	12.3%

(3) 外来単価

(単位：円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	15,220	14,915	15,543	15,507	14,598	14,761	14,766	15,362	15,173	16,154	15,568	14,923	15,372
消化器内科	15,427	12,483	13,596	15,594	14,611	12,992	15,160	13,513	15,419	16,237	18,939	17,245	19,301
小児科	8,169	7,022	6,884	8,336	8,482	8,041	7,915	7,176	7,574	7,575	10,169	9,032	9,712
外科・呼吸器外科	21,005	23,481	23,532	26,284	22,089	21,346	19,174	18,389	19,166	17,321	21,010	19,860	21,453
整形外科	5,647	5,815	5,479	5,886	5,701	5,875	5,651	5,499	5,497	5,491	5,786	5,685	5,403
脳神経外科	10,932	10,488	10,880	11,850	10,687	11,740	10,903	10,520	10,206	10,868	10,167	11,139	11,708
皮膚科	2,986	3,446	2,943	3,453	3,051	3,083	3,041	3,140	2,960	2,586	2,808	2,555	2,628
泌尿器科	7,347	5,428	7,433	9,474	6,941	7,091	7,429	5,315	8,680	8,925	6,017	7,206	8,324
産婦人科	9,874	9,362	9,956	10,115	9,819	10,106	8,980	9,658	9,299	9,822	10,756	10,466	10,125
眼科	5,645	5,813	6,836	5,692	5,470	4,962	5,657	5,618	4,021	5,885	5,080	7,275	5,431
耳鼻咽喉科	4,910	4,326	4,306	0	4,747	4,244	4,134	4,755	5,735	4,695	4,412	4,654	4,023
麻酔科	1,682	1,541	1,924	1,916	1,510	1,900	1,646	1,203	2,019	1,965	1,586	1,969	1,613
精神科	5,585	5,309	5,423	5,297	5,477	5,670	5,586	5,561	5,822	5,697	5,743	5,857	5,674
血管外科・心臓外科	5,945	5,559	5,356	5,949	5,399	5,909	5,633	6,813	5,826	5,938	6,505	6,746	5,841
循環器内科	8,575	8,483	8,351	8,291	8,072	8,468	8,494	8,990	8,547	8,419	8,980	8,906	8,834
形成外科	9,093	6,696	11,260	10,382	8,251	10,332	7,139	10,734	7,261	9,898	10,156	9,456	8,755
神経内科	8,402	8,677	8,381	8,636	7,936	9,923	8,809	8,190	8,101	7,956	8,634	8,275	7,502
放射線科	387,419	475,710	128,242	349,130	448,390	414,690	0	365,225	269,035	0	0	0	0
合計	10,276	9,931	10,273	10,869	10,013	10,155	9,951	10,097	10,080	10,213	10,716	10,473	10,565
前年度	9,982	10,450	9,876	10,187	10,022	10,352	9,847	9,871	10,110	9,519	10,010	9,877	9,717
増加率	2.9%	△5.0%	4.0%	6.7%	△0.1%	△1.9%	1.1%	2.3%	△0.3%	7.3%	7.1%	6.0%	8.7%

4. 行為別稼働額

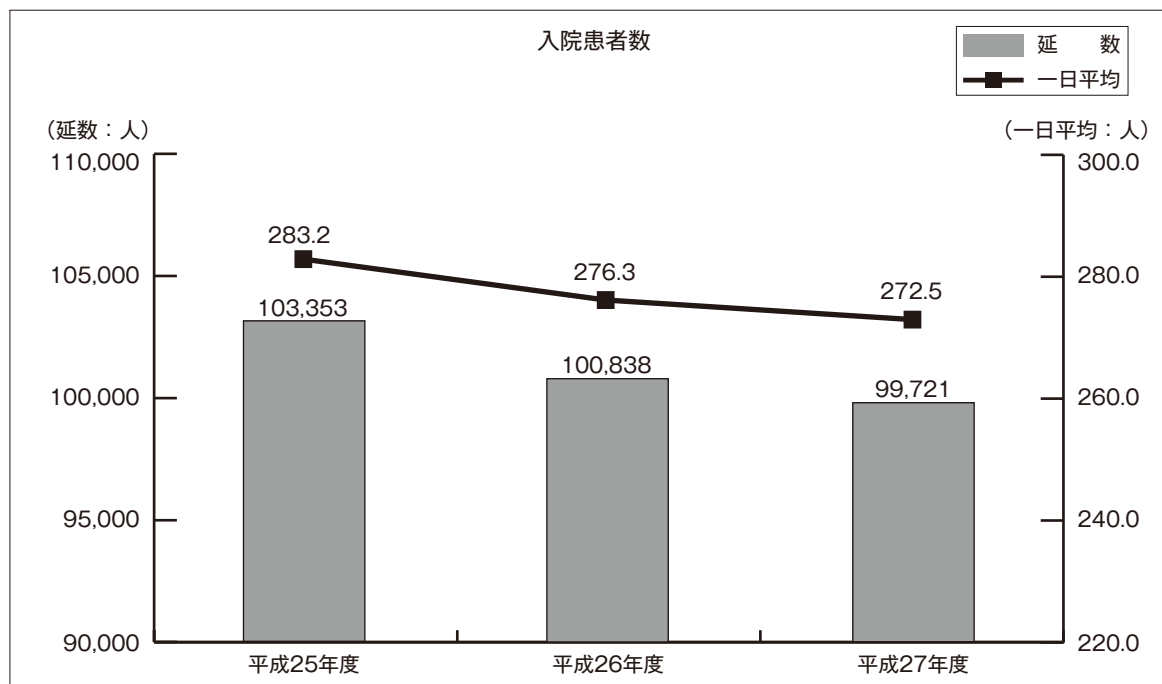
(単位：千円)

	入院料収益										入院診療収益/外来診療収益										自費収益(C)		合計 (A)+(B) +(C)
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術料等 再診料	初診 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計(B)	室料 差額	文書検診 その他				
内 科	入院	447,837	50,407	24,916	523,159	5,441	959	7,905	38,531	676	39,867	1,055	7,501	4,038	9,682	786	0	116,441	18,609	1,860	660,069		
	外来					158,450	34,608	5,934	139,548	205	347	23,903	8,183	50,087	56	0	13,908	435,229		13,766	448,995		
消化器 内科	入院	196,953	45,394	8,335	250,683	5,362	742	2,501	3,528	380	34,260	440	3,151	310	2,278	241	0	53,192	7,879	727	312,481		
	外来					43,944	13,306	50	22,676	147	1,078	5,387	2,753	1,512	0	0	1,716	92,569		2,184	94,752		
小児 科	入院	23,403	10,840	953	35,197	118	21	80	1,527	1	114	437	674	36	0	0	0	3,007	78	44	38,325		
	外来					5,428	794	104	243	15	0	2,708	6,449	6,767	0	0	1,023	23,531		11,546	35,077		
外科呼吸器 外科	入院	360,724	75,373	16,260	452,357	5,939	1,473	2,325	11,389	2,065	270,139	855	6,107	1,311	5,654	207	867	308,330	17,199	1,700	779,585		
	外来					40,517	48,417	163	140,448	686	2,781	11,199	13,427	11,196	150	0	3,636	272,620		4,892	277,511		
整形 外科	入院	347,909	47,756	26,978	422,643	1,704	1,563	3,186	1,695	2,752	291,775	1,348	8,408	868	33,934	885	22	348,139	5,031	766	776,578		
	外来					7,285	33,247	411	6,266	2,701	5,953	15,160	2,361	798	2,561	0	7,073	83,817		12,298	96,115		
脳神経 外科	入院	346,657	49,592	15,291	411,541	1,709	3,336	1,930	1,669	591	212,990	2,017	6,126	86	43,593	77	10	274,132	7,060	1,235	693,967		
	外来					9,761	66,202	205	440	280	2,490	9,939	4,511	198	272	0	3,496	97,794		5,340	103,134		
皮膚科	入院	10,357	850	688	11,894	49	18	246	6	0	5	69	218	0	242	14	0	866	69	13	12,842		
	外来					3,494	233	57	1,019	1,514	793	5,793	2,104	33	0	0	3,181	18,220		1,079	19,299		
泌尿器 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	外来					1,534	719	14	697	33	295	635	295	607	0	0	291	5,119		67	5,187		
産婦 人科	入院	157,186	74,286	7,764	239,236	4,465	263	738	2,098	2,116	208,223	326	3,577	82	131	139	0	222,158	8,826	6,176	476,396		
	外来					46,185	13,380	73	12,359	660	692	6,959	5,751	69	149	0	1,591	87,867		27,427	115,294		

(単位：千円)

	入院診療収益/外来診療収益										自費収益(C)			合計 (A)+(B) +(C)				
	入院料収益					入院診療収益/外来診療収益					室料 差額	文書検診 その他						
	DPC 稼働額	入院料	食事 療養費	計(A)	検査料	画像 診断料	投薬料	注射料	処置料	手術料等 再診料	医学 管理料	在宅 管理料	理学 療法料	精神 療法料	処方箋料 その他	小計(B)		
眼 科	入院	197	30	11	237	0	0	1	0	66	4	0	0	0	0	72	0	309
	外来					20,767	239	12	6	4,759	694	0	0	0	2,560	32,910		33,311
耳 鼻 咽 喉科	入院	26,027	1,111	1,300	28,438	331	3	111	8	18,202	673	0	15	2	0	19,506	855	48,855
	外来					7,208	6,264	150	127	895	923	111	42	0	2,160	24,841		26,377
麻 酔科	入院	4,325	2,103	309	6,736	52	2	454	160	167	122	24	286	32	0	1,501	682	8,982
	外来					22	24	0	67	339	31	24	0	0	318	1,305		1,362
精 神 科	入院	159	95,315	13,883	109,357	4,719	3,052	8,733	2,265	487	1,643	153	2,651	9,831	0	36,669	166	146,494
	外来					3,851	3,923	49	343	0	2,527	492	0	43,406	8,034	72,967		76,849
髒 器科 麻 酔科	入院	88,930	25,147	4,448	118,525	416	278	707	1,095	75,799	1,079	272	1,712	69	0	83,467	3,267	205,583
	外来					8,404	8,876	18	49	119	2,442	683	56	0	2,277	26,559		27,523
循 環 器 内 科	入院	381,331	69,049	19,512	469,892	16,860	629	8,086	2,318	285,256	7,401	1,733	9,220	351	0	334,674	16,359	822,250
	外来					60,865	17,783	135	1,633	78	5,148	22,690	0	0	7,769	128,718		132,314
形 成 外 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					1,606	193	1	4	2,623	77	0	0	0	148	5,293		5,601
神 経 内 科	入院	151,460	13,053	7,573	172,086	522	115	894	125	1,351	2,615	179	16,270	48	0	230,48	2,408	197,884
	外来					8,085	18,839	91	1,352	1,017	2,782	479	82	0	1,949	40,266		42,377
放 射 線 科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来					0	451	0	0	0	35	0	0	0	0	522		5,811
合 計	入院	2,543,454	560,304	148,222	3,251,980	47,686	12,453	37,897	66,414	1,438,702	49,298	9,091	125,667	12,681	899	1,825,201	88,484	5,180,599
	外来					427,406	267,496	7,465	327,277	24,259	60,492	95,745	3,368	43,406	61,131	1,450,144		1,546,888

5. 入院患者数

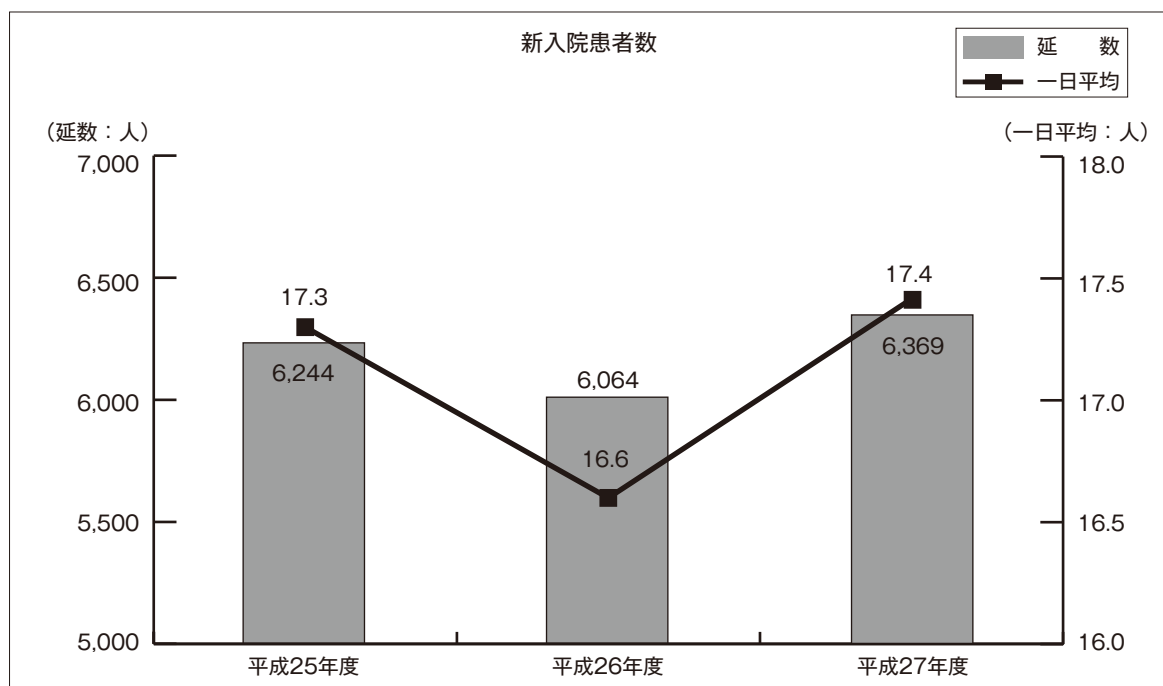


診療科別入院患者数

(単位：人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	16,440	45.0	18,618	51.0	15,812	43.2
消化器内科	5,211	14.3	6,827	18.7	7,219	19.7
小児科	2,053	5.6	1,421	3.9	788	2.2
外科・呼吸器外科	12,655	34.7	11,992	32.9	12,545	34.3
整形外科	16,044	44.0	15,332	42.0	14,756	40.3
脳神経外科	11,426	31.3	9,693	26.6	10,610	29.0
皮膚科	719	2.0	323	0.9	384	1.0
泌尿器科	1,563	4.3	2	0.0	0	0.0
産婦人科	8,171	22.4	7,345	20.1	7,996	21.8
眼科	0	0.0	0	0.0	7	0.0
耳鼻咽喉科	1,279	3.5	920	2.5	878	2.4
麻酔科	189	0.5	285	0.8	233	0.6
精神科	10,706	29.3	9,837	27.0	7,763	21.2
血管外科・心臓外科	2,293	6.3	3,268	9.0	2,901	7.9
循環器内科	11,426	31.3	10,337	28.3	12,728	34.8
形成外科	0	0.0	0	0	0	0.0
神経内科	3,178	8.7	4,638	12.7	5,101	13.9
放射線科	0	0.0	0	0	0	0.0
合計	103,353	283.2	100,838	276.3	99,721	272.5

6. 新入院患者数

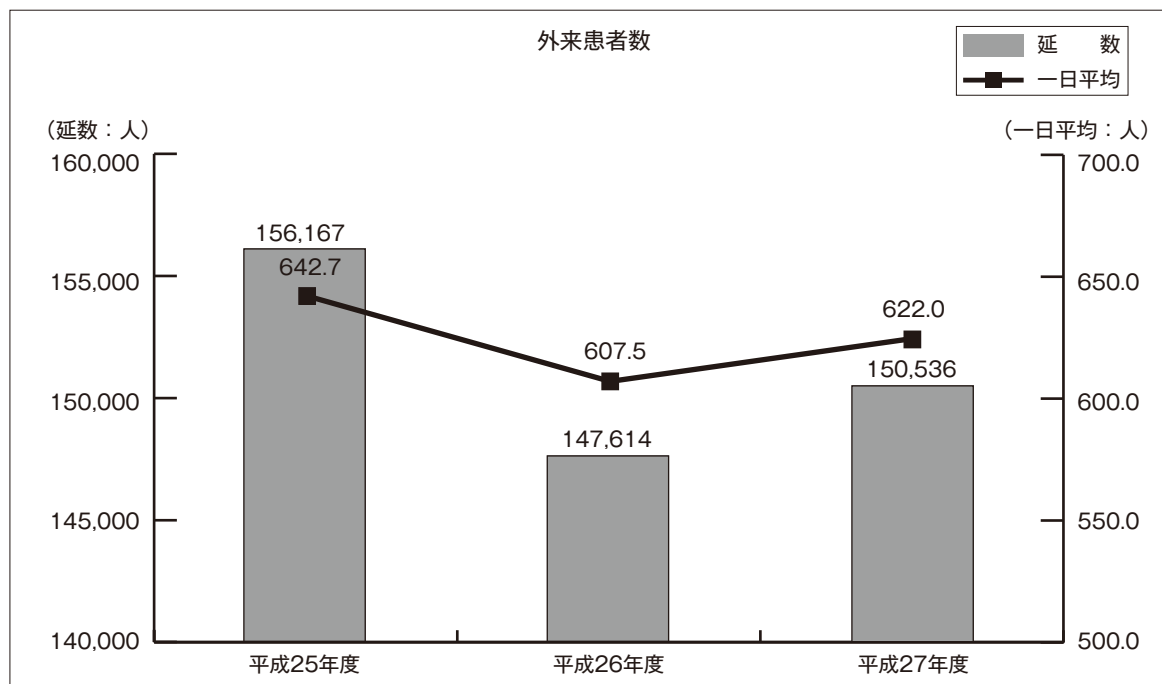


診療科別新入院患者数

(単位: 人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	994	2.8	994	2.7	990	2.7
消化器内科	386	1.0	492	1.3	556	1.5
小児科	239	1.2	216	0.6	163	0.4
外科・呼吸器外科	731	2.7	757	2.1	843	2.3
整形外科	733	1.8	711	1.9	695	1.9
脳神経外科	652	1.8	676	1.8	682	1.9
皮膚科	42	0.0	18	0.0	29	0.1
泌尿器科	225	0.5	1	0.0	0	0.0
産婦人科	933	2.9	778	2.1	913	2.5
眼科	0	0.1	0	0.0	1	0.0
耳鼻咽喉科	179	0.4	145	0.4	136	0.4
麻酔科	17	0.1	26	0.1	21	0.1
精神科	156	0.4	160	0.4	117	0.3
血管外科・心臓外科	153	0.4	174	0.5	143	0.4
循環器内科	612	1.4	629	1.7	764	2.1
形成外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
神経内科	192	0.5	287	0.8	316	0.9
放射線科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	6,244	17.3	6,064	16.6	6,369	17.4

7. 外来患者数

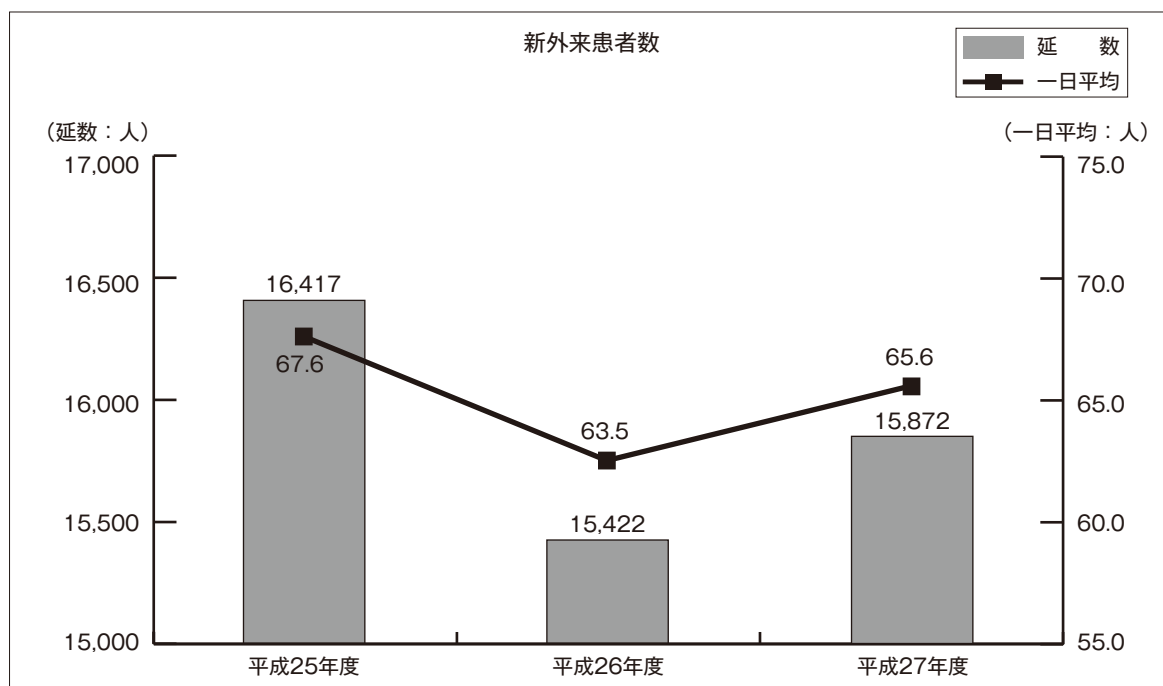


診療科別外来患者数

(単位：人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	30,087	123.8	29,285	120.5	29,500	121.9
消化器内科	4,974	20.5	5,399	22.2	6,142	25.4
小児科	5,846	24.1	4,916	20.2	4,294	17.7
外科・呼吸器外科	11,549	47.5	11,646	47.9	13,212	54.6
整形外科	18,215	75.0	16,640	68.5	17,022	70.3
脳神経外科	9,808	40.4	9,617	39.6	9,434	39.0
皮膚科	6,844	28.2	6,958	28.6	6,463	26.7
泌尿器科	8,749	36.0	732	3.0	706	2.9
産婦人科	9,828	40.4	10,997	45.3	11,677	48.3
眼科	5,564	22.9	5,766	23.7	5,768	23.8
耳鼻咽喉科	6,189	25.5	6,221	25.6	6,013	24.8
麻酔科	676	2.8	842	3.5	810	3.3
精神科	14,957	61.6	14,665	60.3	13,759	56.9
血管外科・心臓外科	5,066	20.8	4,723	19.4	4,630	19.1
循環器内科	14,117	58.1	14,559	59.9	15,431	63.8
形成外科	718	3.0	659	2.7	616	2.5
神経内科	2,976	12.2	3,977	16.4	5,044	20.8
放射線科	4	0.0	12	0.0	15	0.1
合計	156,167	642.7	147,614	607.5	150,536	622.0

8. 新外来患者数



診療科別新外来患者数

(単位: 人)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
内科	2,522	10.4	2,377	9.8	2,256	9.3
消化器内科	951	3.9	880	3.6	1,008	4.2
小児科	463	1.9	331	1.4	452	1.9
外科・呼吸器外科	1,064	4.4	1,059	4.4	1,318	5.4
整形外科	1,950	8.0	1,816	7.5	1,808	7.5
脳神経外科	1,339	5.5	1,254	5.2	1,382	5.7
皮膚科	1,600	6.6	1,544	6.4	1,306	5.4
泌尿器科	734	3.0	204	0.8	144	0.6
産婦人科	861	3.5	987	4.1	992	4.1
眼科	521	2.1	454	1.9	443	1.8
耳鼻咽喉科	1,474	6.1	1,405	5.8	1,377	5.7
麻酔科	42	0.2	47	0.2	42	0.2
精神科	546	2.2	515	2.1	576	2.4
血管外科・心臓外科	287	1.2	323	1.3	352	1.5
循環器内科	1,153	4.7	1,193	4.9	1,250	5.2
形成外科	160	0.7	154	0.6	155	0.6
神経内科	746	3.1	863	3.6	996	4.1
放射線科	4	0.0	16	0.1	15	0.1
合計	16,417	67.6	15,422	63.5	15,872	65.6

9. 診療科別稼働額

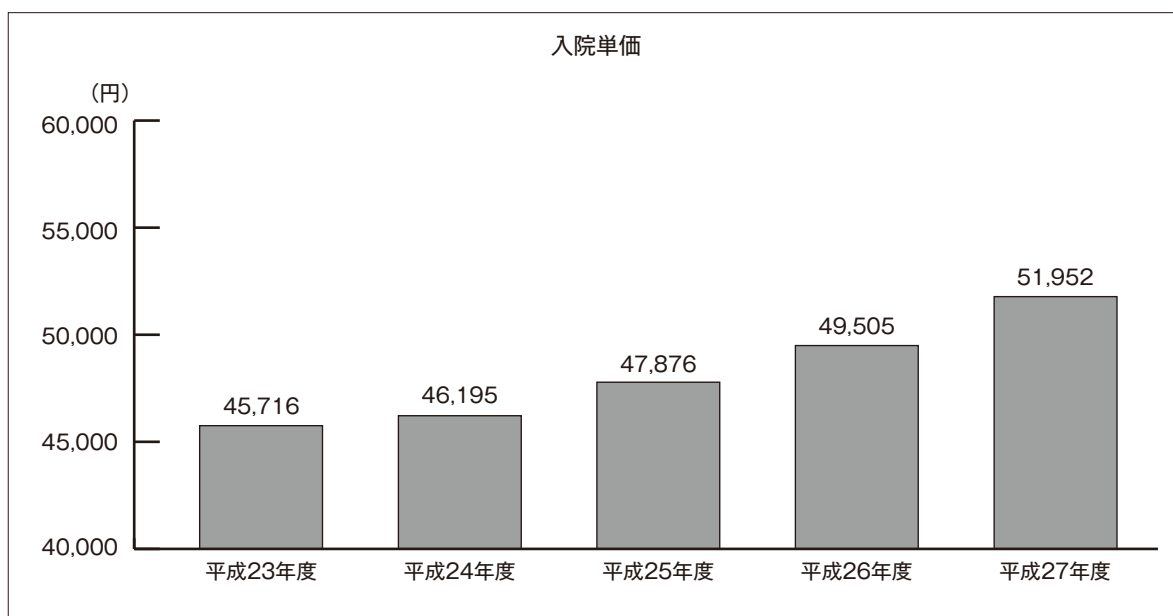
(単位：円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	入院	788,099,250	779,010,383	675,256,573	718,779,059	660,069,023
	外来	479,354,465	501,862,269	490,504,072	452,698,826	448,994,550
	合計	1,267,453,715	1,280,872,652	1,165,760,645	1,171,477,885	1,109,063,573
消化器 内科	入院	284,353,601	230,025,129	203,840,952	286,397,884	312,481,510
	外来	88,277,738	82,380,802	75,859,253	84,723,740	94,752,778
	合計	372,631,339	312,405,931	279,700,205	371,121,624	407,234,288
小 児 科	入院	97,982,868	105,485,656	75,495,874	53,291,818	38,325,648
	外来	40,117,120	42,476,126	38,275,566	33,053,167	35,076,817
	合計	138,099,988	147,961,782	113,771,440	86,344,985	73,402,465
外科・呼 吸器 外科	入院	823,630,758	792,591,310	780,837,739	739,251,799	779,586,096
	外来	198,585,970	196,559,957	230,983,794	246,353,585	277,511,770
	合計	1,022,216,728	989,151,267	1,011,821,533	985,605,384	1,057,097,866
整 形 外 科	入院	657,472,862	733,484,717	770,702,010	814,854,015	776,578,873
	外来	95,450,721	93,659,190	96,839,184	90,001,805	96,115,417
	合計	752,923,583	827,143,907	867,541,194	904,855,820	872,694,290
脳 神 経 外 科	入院	630,556,884	707,086,032	664,255,589	609,983,856	693,967,866
	外来	107,171,140	107,829,366	99,299,596	99,959,910	103,134,703
	合計	737,728,024	814,915,398	763,555,185	709,943,766	797,102,569
皮 膚 科	入院	8,687,848	11,753,920	23,649,499	10,572,394	12,842,849
	外来	18,387,429	20,463,484	19,927,570	20,892,259	19,299,581
	合計	27,075,277	32,217,404	43,577,069	31,464,653	32,142,430
泌 尿 器 科	入院	138,314,631	127,943,315	76,929,124	120,450	0
	外来	143,523,475	138,543,136	140,374,588	5,358,156	5,186,905
	合計	281,838,106	266,486,451	217,303,712	5,478,606	5,186,905
産 婦 人 科	入院	462,755,090	487,466,673	485,229,516	437,893,858	476,396,255
	外来	107,318,171	113,923,114	104,688,749	108,342,983	115,294,222
	合計	570,073,261	601,389,787	589,918,265	546,236,841	591,690,477
眼 科	入院	0	0	0	0	308,970
	外来	23,949,993	31,806,615	32,578,755	32,318,508	33,311,543
	合計	23,949,993	31,806,615	32,578,755	32,318,508	33,620,513
耳 鼻 咽 喉 科	入院	44,311,097	52,855,069	60,059,316	48,653,696	48,855,028
	外来	25,181,508	27,992,129	26,118,142	25,765,479	26,377,016
	合計	69,492,605	80,847,198	86,177,458	74,419,175	75,232,044

(単位：円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
麻酔科	入院	2,796,807	7,153,460	6,338,024	11,477,970	8,982,270
	外来	2,185,018	2,568,263	1,599,873	1,679,854	1,362,080
	合計	4,981,825	9,721,723	7,937,897	13,157,824	10,344,350
精神科	入院	183,501,165	195,559,620	176,672,741	173,908,394	146,494,775
	外来	79,048,584	81,720,515	79,128,256	78,533,898	76,849,589
	合計	262,549,749	277,280,135	255,800,997	252,442,292	223,344,364
血管外科・心臓外科	入院	162,756,601	160,648,819	118,837,252	229,633,417	205,583,394
	外来	32,026,191	30,586,675	28,146,526	28,905,959	27,523,806
	合計	194,782,792	191,235,494	146,983,778	258,539,376	233,107,200
循環器内科	入院	677,439,014	585,458,630	705,982,525	671,654,434	822,250,079
	外来	86,961,127	98,842,270	109,724,429	120,814,607	132,314,213
	合計	764,400,141	684,300,900	815,706,954	792,469,041	954,564,292
形成外科	入院	0	0	0	0	0
	外来	4,850,832	5,475,132	5,795,035	5,894,099	5,601,242
	合計	4,850,832	5,475,132	5,795,035	5,894,099	5,601,242
神経内科	入院	0	0	124,026,517	185,559,892	197,884,913
	外来	5,473,573	5,590,419	23,712,779	31,704,357	42,377,641
	合計	5,473,573	5,590,419	147,739,296	217,264,249	240,262,554
放射線科	入院	0	0	0	0	0
	外来	290,400	22,382,884	24,096,760	6,528,780	5,811,280
	合計	290,400	22,382,884	24,096,760	6,528,780	5,811,280
健診	入院	—	—	—	—	—
	外来	—	—	—	22,884,053	63,279,816
	合計	—	—	—	22,884,053	63,279,816
合計	入院	4,962,658,476	4,976,522,733	4,948,113,251	4,992,032,936	5,180,607,549
	外来	1,538,153,455	1,604,662,346	1,627,652,927	1,496,414,025	1,610,174,969
	合計	6,500,811,931	6,581,185,079	6,575,766,178	6,465,562,908	6,790,782,518

10. 入院単価(自費収益を含む)

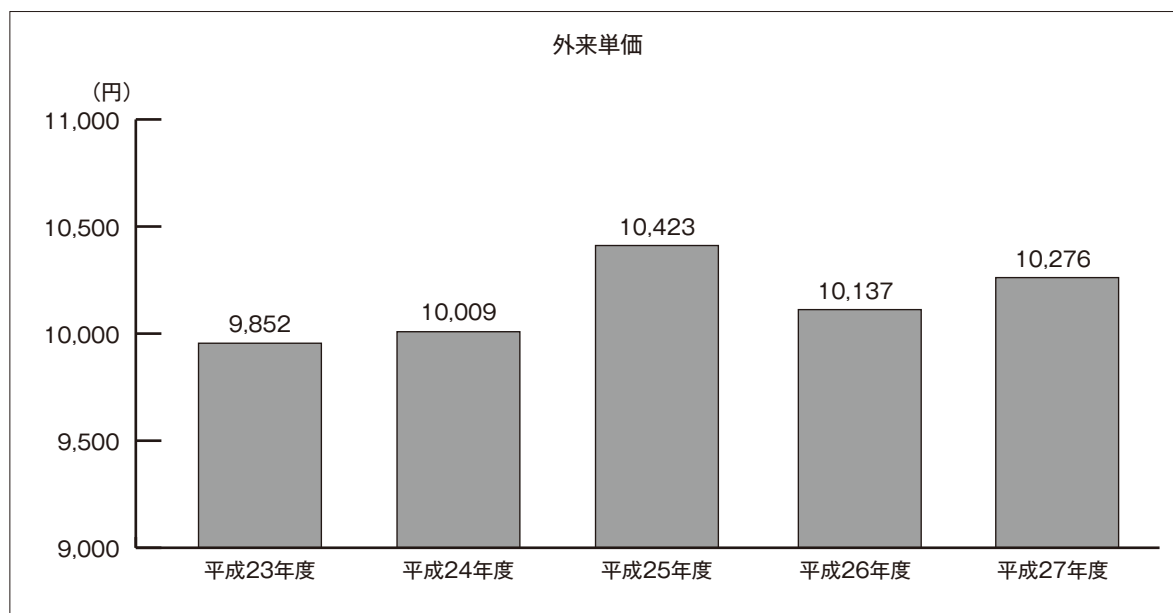


診療科別入院単価

(単位：円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	37,931	38,937	41,074	38,607	41,745
消化器内科	38,338	39,455	39,117	41,951	43,286
小 児 科	37,398	35,422	36,773	37,503	48,637
外科・呼吸器外科	56,098	59,379	61,702	61,645	62,143
整 形 外 科	44,952	46,288	48,037	53,147	52,628
脳神経外科	52,367	55,707	58,135	62,930	65,407
皮 膚 科	29,450	34,570	32,892	32,732	33,445
泌 尿 器 科	49,100	50,095	49,219	60,225	0
産 婦 人 科	55,814	57,054	59,384	59,618	59,579
眼 科	0	0	0	0	44,139
耳鼻咽喉科	47,493	48,669	46,958	52,884	55,644
麻 酔 科	37,291	34,895	33,535	40,274	38,551
精 神 科	16,095	15,986	16,502	17,679	18,871
血管外科・心臓外科	56,259	58,038	51,826	70,267	70,866
循環器内科	69,940	62,973	61,787	64,976	64,602
形 成 外 科	0	0	0	0	0
神 経 内 科	0	0	39,027	40,009	38,793
放 射 線 科	0	0	0	0	0
合 計	45,716	46,195	47,876	49,505	51,951

11. 外来単価(自費収益を含む)

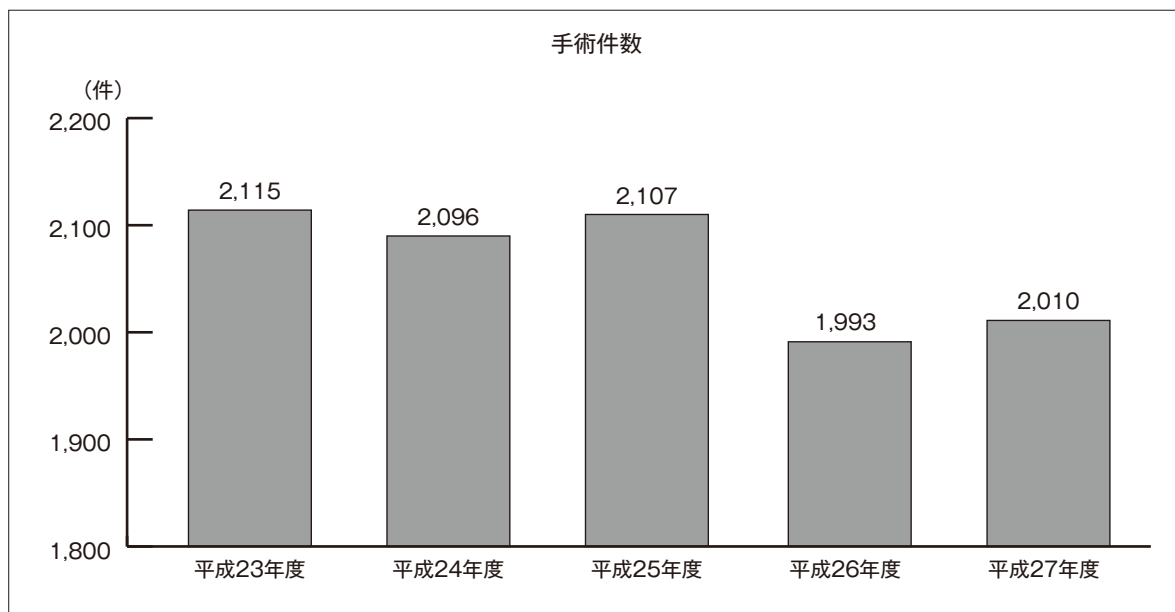


診療科別外来単価

(単位：円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	15,468	15,909	16,303	15,458	15,220
消化器内科	18,243	16,493	15,251	15,692	15,427
小 児 科	5,118	5,587	6,547	6,724	8,169
外科・呼吸器外科	17,239	16,914	20,000	21,153	21,005
整 形 外 科	4,936	4,802	5,316	5,409	5,647
脳神経外科	10,456	10,030	10,124	10,394	10,932
皮 膚 科	2,880	3,062	2,912	3,003	2,986
泌 尿 器 科	14,821	14,402	16,045	7,320	7,347
産 婦 人 科	10,668	11,180	10,625	9,852	9,874
眼 科	5,432	6,034	5,855	5,605	5,775
耳鼻咽喉科	4,168	4,512	4,220	4,142	4,387
麻 酔 科	2,812	2,706	2,367	1,995	1,682
精 神 科	5,467	5,557	5,290	5,355	5,585
血管外科・心臓外科	5,402	5,289	5,556	6,120	5,945
循環器内科	7,185	7,498	7,773	8,298	8,575
形 成 外 科	9,293	8,148	8,071	8,944	9,093
神 経 内 科	5,563	5,365	7,968	7,972	8,402
放 射 線 科	48,400	0	0	544,065	387,419
合 計	9,852	10,009	10,423	9,982	10,276

12. 手術件数(手術室)

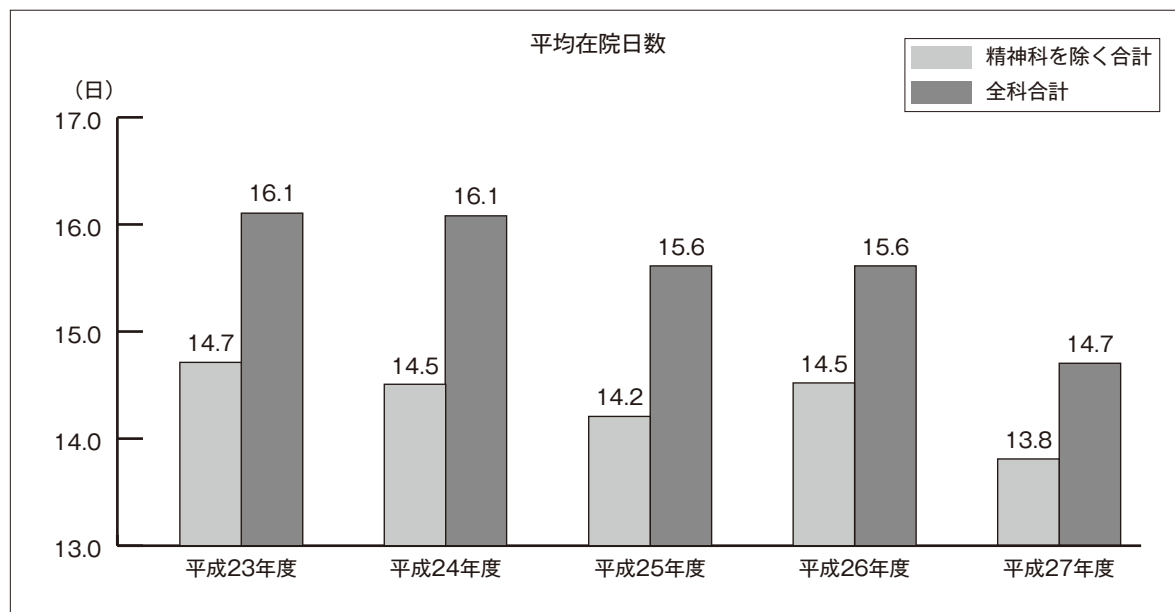


診療科別手術件数(手術室)

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
消化器内科	2	1	13	3	3
外科・呼吸器外科	522	524	536	503	541
整形外科	530	556	634	571	575
脳神経外科	166	129	147	166	164
泌尿器科	166	156	102	7	4
産婦人科	334	340	335	341	361
眼科	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	75	87	88	73	70
麻酔科	4	3	4	22	4
精神科	179	135	107	140	144
血管外科・心臓外科	64	75	58	73	42
循環器内科	0	0	0	0	0
形成外科	73	90	83	94	102
合計	2,115	2,096	2,107	1,993	2,010

13. 平均在院日数

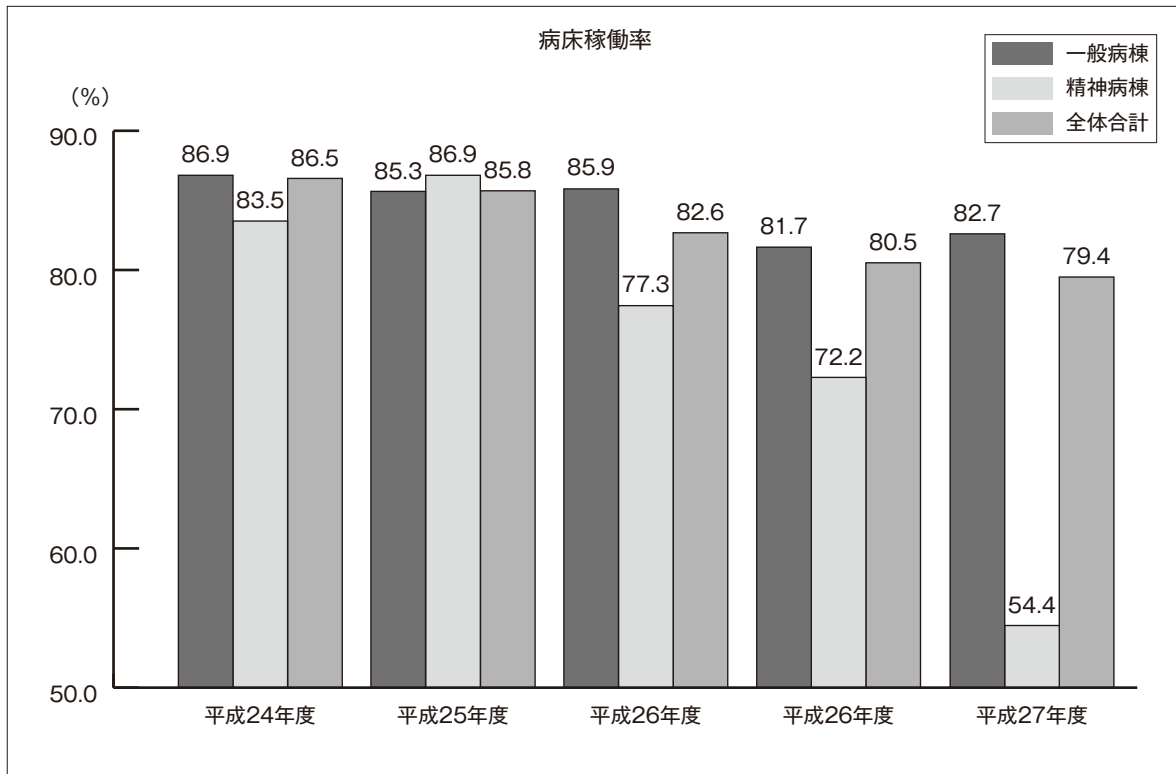


診療科別平均在院日数

(単位：日)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	17.8	17.8	16.1	18.0	15.5
消 化 器 内 科	15.9	14.1	13.0	13.3	12.0
小 児 科	6.3	7.8	7.6	5.5	3.8
外科・呼吸器外科	18.0	16.3	15.5	14.3	13.8
整 形 外 科	21.2	22.0	20.8	20.6	20.0
脳 神 経 外 科	15.9	16.3	16.6	13.5	14.8
皮 膚 科	14.1	13.8	15.7	17.5	12.2
泌 尿 器 科	8.5	7.6	5.8	1.0	0.0
産 婦 人 科	8.0	7.9	7.8	8.5	7.8
眼 科	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
耳 鼻 咽 喉 科	5.3	5.7	6.1	5.3	5.5
麻 酔 科	7.4	14.9	13.5	11.5	11.7
血管外科・心臓外科	15.5	14.9	14.3	18.1	19.7
循 環 器 内 科	15.5	16.0	17.7	15.6	15.3
神 経 内 科	0.0	0.0	14.2	13.4	15.3
精神科を除く合計	14.7	14.5	14.2	14.5	13.8
精 神 科	72.5	78.4	63.0	53.2	60.0
全 科 合 計	16.1	16.1	15.6	15.6	14.7

14. 病床稼働率(退院を含む)

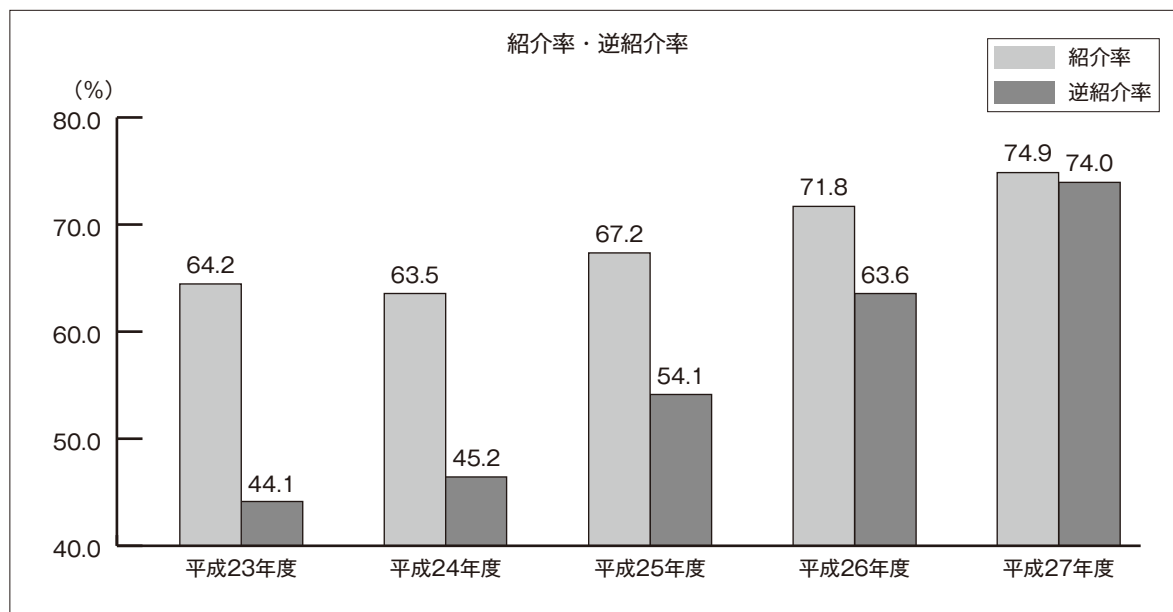


病棟別病床稼働率

(単位: %)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1号館 2病棟	90.4	85.6	83.4	78.3	80.5
1号館 3病棟	86.7	87.4	88.2	84.5	83.1
1号館 4病棟	88.6	86.9	81.5	86.9	85.2
2号館 3病棟	81.9	85.0	79.4	72.3	77.8
3号館 4病棟	87.6	87.6	85.2	80.2	84.8
本館 3病棟	87.7	86.4	84.2	82.7	85.0
本館 4病棟	83.8	82.5	79.8	82.7	81.4
一般病棟合計	86.9	85.3	85.9	81.7	82.7
2号館 2病棟	83.5	86.9	77.3	72.2	54.4
全体合計	86.5	85.8	82.6	80.5	79.4

15. 紹介率・逆紹介率

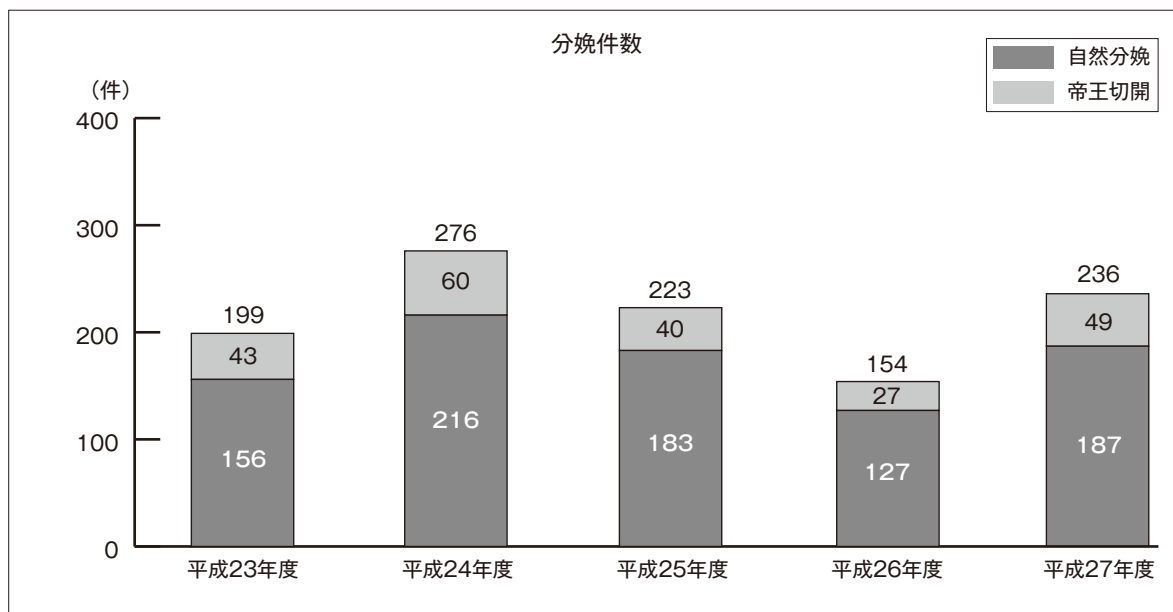


診療科別紹介率・逆紹介率

(単位: %)

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率	紹介率	逆紹介率
内科	66.8	39.7	66.9	44.0	70.7	44.9	74.2	60.6	76.8	61.8
消化器内科	85.8	40.3	78.1	48.8	86.9	55.9	85.4	54.8	88.4	65.5
小児科	62.8	15.3	64.2	10.1	59.4	9.7	50.1	13.3	62.6	20.1
外科・呼吸器外科	65.2	41.7	62.5	49.3	70.8	48.8	80.4	57.8	80.6	73.7
整形外科	63.7	35.5	59.2	37.6	65.1	45.4	66.1	61.0	69.9	99.4
脳神経外科	66.4	73.4	66.4	75.9	72.9	72.8	126.2	240.2	120.5	216.9
皮膚科	44.3	25.9	49.4	22.1	55.4	23.9	52.8	19.9	55.0	27.9
泌尿器科	67.7	51.7	69.2	52.4	73.9	299.8	68.6	120.0	125.0	212.5
産婦人科	52.4	38.3	54.9	23.3	54.4	31.0	57.7	39.0	58.7	36.5
眼科	21.2	86.9	27.5	35.3	38.5	38.0	46.6	65.7	44.0	85.5
耳鼻咽喉科	48.9	23.5	52.9	24.2	56.3	25.8	55.1	28.1	56.3	33.1
麻酔科	56.3	62.5	63.0	25.9	64.0	44.0	109.1	63.6	42.9	57.1
精神科	47.7	59.0	51.5	52.9	50.3	41.0	45.1	84.2	47.4	88.5
血管外科・心臓外科	80.1	64.9	82.3	60.9	82.5	46.5	112.2	73.2	95.9	75.9
循環器内科	85.0	88.3	87.0	96.9	91.1	87.5	102.7	126.3	113.8	160.5
形成外科	65.3	100.0	56.3	34.4	65.3	44.0	104.3	50.0	71.1	17.1
神経内科	58.6	51.7	75.8	66.7	58.0	31.9	68.1	60.0	68.4	58.6
放射線科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	110.0	130.0	100.0	116.7
合計	64.2	44.1	63.5	45.2	67.2	54.1	71.8	63.6	74.9	74.0

16. 分娩件数

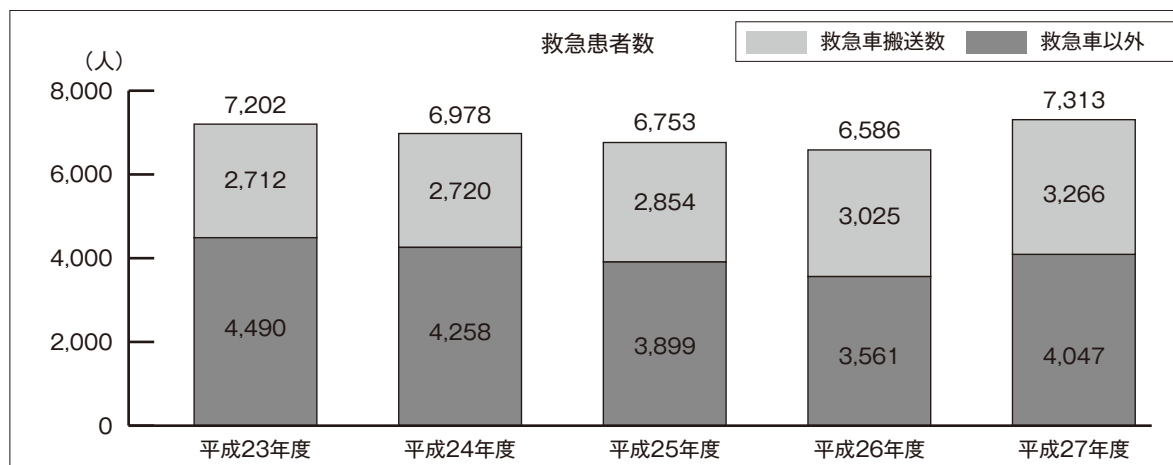


分娩件数

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自然分娩	156	216	183	127	185
帝王切開	43	60	40	27	49
合計	199	276	223	154	234

17. 救急患者数



診療科別救急患者数

(単位：人)

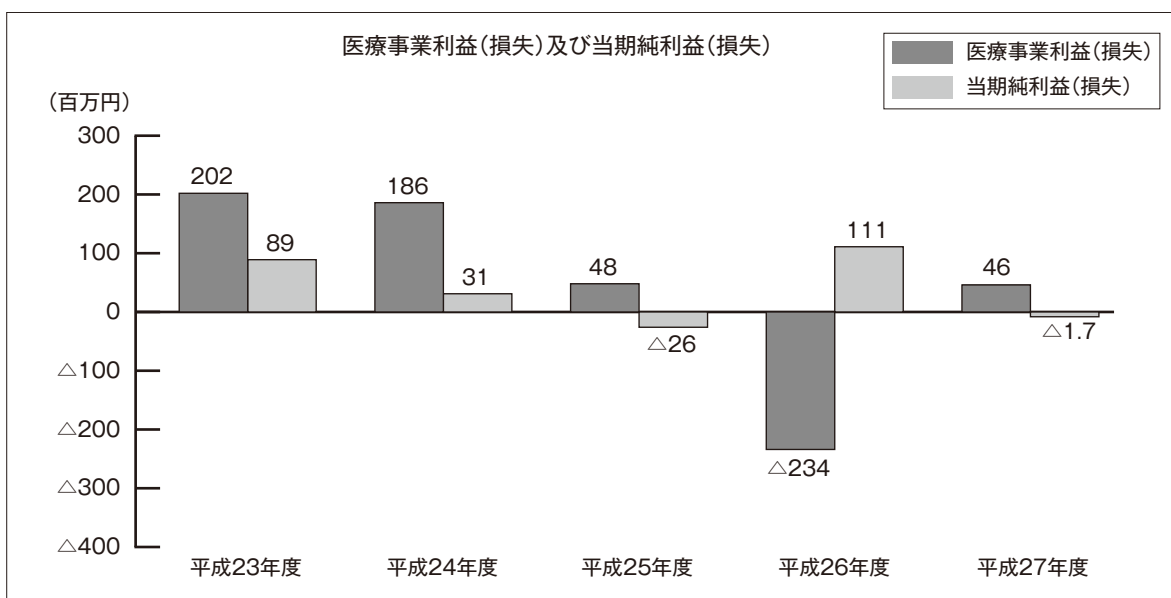
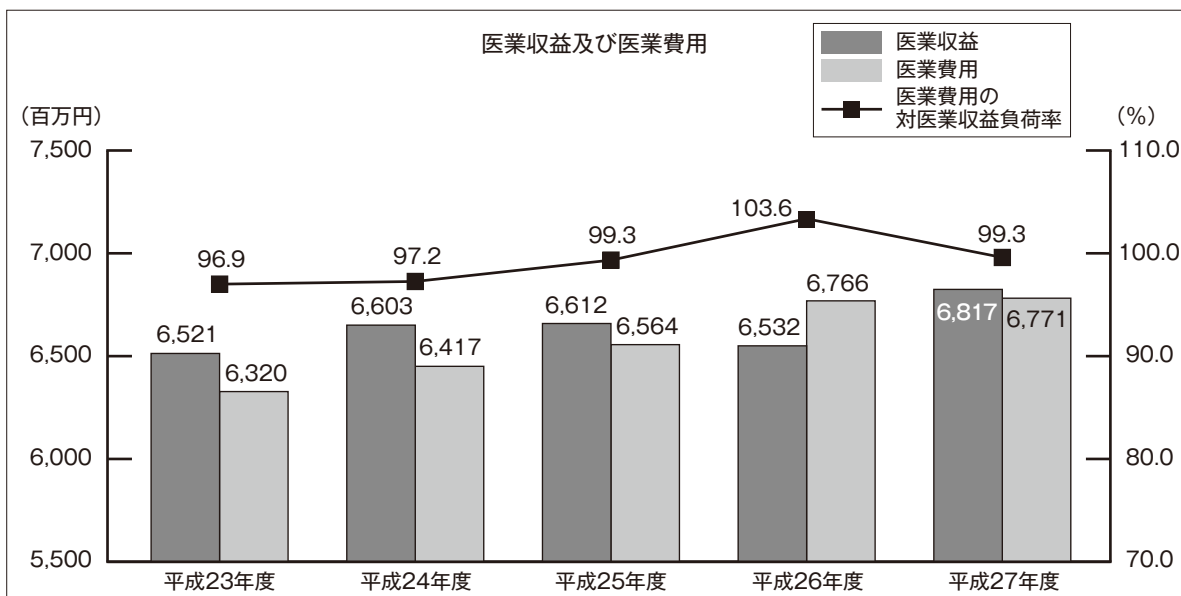
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	1,527	1,504	1,207	1,164	1,187
消化器内科	268	183	168	242	248
小 児 科	415	285	193	125	146
外科・呼吸器外科	666	660	744	752	958
整形外科	948	864	1,006	926	1,066
脳神経外科	1,336	1,439	1,309	1,327	1,396
皮膚科	193	251	108	63	83
泌尿器科	265	211	195	33	34
産婦人科	470	487	463	436	461
眼 科	3	8	4	4	4
耳鼻咽喉科	190	203	169	173	225
麻 酔 科	12	18	21	30	19
精 神 科	192	168	146	156	149
血管外科・心臓外科	132	127	100	119	140
循環器内科	581	556	628	645	693
形成外科	3	2	3	1	502
神経内科	1	12	289	390	2
合 計	7,202	6,978	6,753	6,586	7,313

診療科別救急車搬送患者数(再掲)

(単位：人)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
内 科	574	579	552	559	580
消化器科	104	83	83	114	112
小 児 科	81	74	68	51	45
外 科	101	99	105	121	172
整形外科	448	456	477	494	471
脳 外 科	811	884	765	850	925
皮膚科	15	17	22	7	19
泌尿器科	40	52	49	12	13
産婦人科	27	28	19	23	22
眼 科	2	2	0	1	1
耳 鼻 科	62	48	40	38	44
麻 酔 科	12	17	18	19	14
精 神 科	100	69	70	70	57
心 外 科	49	43	47	55	76
循環器科	285	268	330	348	361
形成外科	1	0	0	0	0
神経内科	0	1	209	263	354
合 計	2,712	2,720	2,854	3,025	3,266

18. 損益推移



(単位：円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医業収益	6,521,439,966	6,603,202,357	6,611,775,746	6,532,307,534	6,817,136,281
医業費用	6,319,930,633	6,417,397,765	6,563,800,615	6,766,324,012	6,770,923,163
医業事業利益(損失)	201,509,333	185,804,592	47,975,131	△ 234,016,478	46,213,118
医業費用の対医業収益負荷率	96.9%	97.2%	99.3%	103.6%	99.3%
医業外利益(損失)	△ 60,290,699	△ 87,214,528	7,309,262	1,207,199	25,791,902
医療社会利益(損失)	△ 63,345,785	△ 67,988,411	△ 80,131,473	△ 86,827,223	△ 81,545,595
付帯事業利益(損失)	2,644,283	3,236,021	2,487,014	993,439	△ 116,615
特別利益(損失)	11,228,258	△ 471,384	△ 1,094,916	430,431,982	8,420,388
法人税等	3,233,938	2,358,544	2,535,807	750,553	511,644
当期純利益(損失)	88,511,452	31,007,746	△ 25,990,789	111,038,366	△ 1,748,446

19. 比較損益計算書

(単位：円)

	平成26年度	平成27年度	差引	前年度比
医療事業損益計算				
医業収益	6,532,307,534	6,817,136,281	284,828,747	4.4%
入院診療収益	4,915,617,825	5,087,416,883	171,799,058	3.5%
室料差額収益	90,878,217	93,209,932	2,331,715	2.6%
外来診療収益	1,366,215,530	1,454,509,763	88,294,233	6.5%
保険予防活動収益	98,639,425	122,627,178	23,987,753	24.3%
受託検査・施設利用収益	7,269,689	5,607,056	△ 1,662,633	△22.9%
その他の医業収益	65,796,084	69,739,857	3,943,773	6.0%
保険等差逓減	△ 12,109,236	△ 15,974,388	△ 3,865,152	31.9%
医業費用	6,766,324,012	6,770,923,163	4,599,151	0.1%
材 料 費	1,687,584,249	1,724,459,621	36,875,372	2.2%
給 与 費	3,702,351,618	3,683,622,933	△ 18,728,685	△0.5%
委 託 費	465,066,019	463,437,250	△ 1,628,769	△0.4%
設備関係費	580,620,157	577,838,456	△ 2,781,701	△0.5%
研究研修費	50,230,274	53,585,724	3,355,450	6.7%
経 費	280,471,695	267,979,179	△ 12,492,516	△4.5%
医療事業利益(損失)	△ 234,016,478	46,213,118	280,229,596	△119.7%
事業損益計算				
医業外収益	154,207,805	178,469,871	24,262,066	15.7%
医業外費用	153,000,606	152,677,969	△ 322,637	△0.2%
医療外利益(損失)	1,207,199	25,791,902	24,584,703	2,036.5%
医療社会事業収益	8,598,507	5,491,424	△ 3,107,083	△36.1%
医療奉仕費用	95,425,730	87,037,019	△ 8,388,711	△8.8%
医療社会事業利益(損失)	△ 86,827,223	△ 81,545,595	5,281,628	△6.1%
事業利益(損失)	△ 319,636,502	△ 9,540,575	310,095,927	△97.0%
経常損益計算				
付帯事業収益	55,622,740	54,329,114	△ 1,293,626	△2.3%
付帯事業費用	54,629,301	54,445,729	△ 183,572	△0.3%
付帯事業利益(損失)	993,439	△ 116,615	△ 1,110,054	△111.7%
経常利益(損失)	△ 318,643,063	△ 9,657,190	308,985,873	△97.0%
当期純損益計算				
特別利益	435,410,146	13,351,507	△ 422,058,639	△96.9%
特別損失	4,978,164	4,931,119	△ 47,045	△0.9%
特別利益(損失)	430,431,982	8,420,388	△ 422,011,594	△98.0%
税引前当期純利益(損失)	111,788,919	△ 1,236,802	△ 113,025,721	△101.1%
法人税等	750,553	511,644	△ 238,909	△31.8%
当期純利益(損失)	111,038,366	△ 1,748,446	△ 112,786,812	△101.6%
前期繰越利益(損失)	448,998,415	554,436,781	105,438,366	23.5%
当期未処分利益(未処理損失)	560,036,781	552,688,335	△ 7,348,446	△1.3%

20. 比較貸借対照表

(単位：円)

科 目	平成26年度	平成27年度	増 減	科 目	平成26年度	平成27年度	増 減				
1. 流 動 資 産				1. 流 動 負 債							
現金・預金	278,739,567	343,113,221	64,373,654	買掛金	307,459,297	310,112,282	2,652,985				
医業未収金	1,049,861,084	1,141,344,655	91,483,571	未払金	398,898,066	379,446,399	△ 19,451,667				
未収金	61,852,769	63,524,292	1,671,523	短期借入金	874,360,000	742,000,000	△ 132,360,000				
有価証券	0	0	0	未払費用	76,201,196	50,745,948	△ 25,455,248				
医薬品	17,465,498	15,660,856	△ 1,804,642	未払法人税等	1,608,836	1,060,240	△ 548,596				
診療材料	0	0	0	前受金	0	0	0				
給食用材料	0	0	0	預り金	3,311,497	2,025,698	△ 1,285,799				
貯蔵品	3,439,032	3,117,993	△ 321,039	職員預り金	22,269,948	22,108,198	△ 161,750				
前渡金	0	0	0	前受収益	0	0	0				
前払費用	3,821,147	3,698,910	△ 122,237	賞与引当金	176,533,481	175,076,741	△ 1,456,740				
未収収益	10,938,119	11,240,671	302,552	その他の流動負債	0	0	0				
短期貸付金	0	0	0	流動負債計	1,860,642,321	1,682,575,506	△ 178,066,815				
繰延税金資産	0	0	0	2. 固 定 負 債							
その他流動資産	168,755,480	83,127,320	△ 85,628,160	長期借入金	660,520,000	838,000,000	177,480,000				
流動資産計	1,594,872,696	1,664,827,918	69,955,222	長期未払金	325,540,133	235,785,311	△ 89,754,822				
2. 固 定 資 産				預り出資金	0	0	0				
(1)有形固定資産				退職交付受入金	0	0	0				
建物	1,860,463,186	1,772,876,691	△ 87,586,495	退職給付引当金	2,170,517,550	2,409,187,460	238,669,910				
建物付属設備	360,115,730	333,115,549	△ 27,000,181	医療訴訟引当金	0	0	0				
構築物	5,117,578	5,117,578	0	長期前受補助金等	225,680,984	204,673,392	△ 21,007,592				
医療用器械備品	330,896,038	284,886,074	△ 46,009,964	その他の固定負債	0	0	0				
その他器械備品	125,617,958	99,688,445	△ 25,929,513	固定負債計	3,382,258,667	3,687,646,163	305,387,496				
車両	16,034,622	10,121,377	△ 5,913,245	負債合計	5,242,900,988	5,370,221,669	127,320,681				
放射性同位元素	0	0	0	3. 基 本 金							
その他の有形固定資産	0	0	0	基本金	16,499,809	16,499,809	0				
土地	1,039,555,250	1,044,675,163	5,119,913	4. 基 金 積 立 金							
建物仮勘定		170,129,548	170,129,548	本社交付金	0	0	0				
有形固定資産計	3,737,800,362	3,720,610,425	△ 17,189,937	支部繰入金	17,043,000	17,043,000	0				
(2)無形固定資産				その他の繰入金	0	0	0				
借地権	0	0	0	補助金	0	0	0				
ソフトウェア	283,146,820	217,771,670	△ 65,375,150	寄付金	0	0	0				
その他無形固定資産	618,145	618,145	0	固定資産再評価益(損)金	5,643,237	5,643,237	0				
無形固定資産計	283,764,965	218,389,815	△ 65,375,150	固定資産処分益(損)金	0	0	0				
(3)その他の資産				基金積立金合計	22,686,237	22,686,237	0				
有価証券	0	0	0	5. 利 益 剰 余 金							
長期貸付金	10,200,000	15,600,000	5,400,000	利益積立金	648,530,178	654,130,178	5,600,000				
預金	0	0	0	特別積立金	0	0	0				
長期未収金	0	0	0	当期末処分利益(損失)	560,036,781	552,688,335	△ 7,348,446				
長期前払費用	0	0	0	利益剰余金合計	1,208,566,959	1,206,818,513	△ 1,748,446				
施設設備準備積立金	0	0	0	6. 有 価 証 券 評 価 差 額 金							
病院建物建設資金出資金	337,528,612	350,592,539	13,063,927	評価差額金	0	0	0				
病院財性調整事業資金出資金	162,924,593	169,456,900	6,532,307	基金合計	1,247,753,005	1,246,004,559	△ 1,748,446				
出資金	0	0	0								
退職拠出金	363,228,625	476,414,491	113,185,866								
預託金	334,140	334,140	0								
繰延税金資産	0	0	0								
その他の固定資産	0	0	0								
その他の固定資産計	874,215,970	1,012,398,070	138,182,100								
固定資産計	4,895,781,297	4,951,398,310	55,617,013								
資産合計	6,490,653,993	6,616,226,228	125,572,235								
								負債及び基金合計	6,490,653,993	6,616,226,228	125,572,235

IV

活動実績

1. 内科・消化器内科	45	15. 産婦人科	56
2. 糖尿病・代謝内科	46	16. 眼科	57
3. 循環器内科	47	17. 耳鼻咽喉科	58
4. 神経内科	47	18. 放射線科	58
5. 精神科	48	19. 麻酔科	59
6. 小児科	49	20. リハビリテーション科	60
7. 外科	49	21. 薬剤部	61
8. 血管外科・心臓外科	51	22. 医療技術部	62
9. 呼吸器外科	51	23. 看護部	65
10. 整形外科	52	24. 検査部	77
11. 脳神経外科	53	25. 医療社会事業部	79
12. 皮膚科	55	26. 事務部	85
13. 形成外科	55	27. 医療安全推進室	90
14. 泌尿器科	56	28. 付帯施設	93



1. 内科・消化器内科

【副院長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

日本内科学会認定専門医、アメリカ内科学会専門医、
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本リウマチ学会認定指導医、
日本アレルギー学会認定指導医、日本消化器病学会認定専門医、
日本肝臓学会認定専門医、日本医師会認定産業医、福島県立医科大学医学部臨床教授
専門 リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の診断と治療

【部長】 黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定専門医、日本内科学会認定総合内科専門医、
日本肝臓学会認定指導医、日本消化器病学会認定指導医、
日本消化器内視鏡学会認定専門医、福島県立医科大学医学部臨床教授
専門 肝炎、肝臓がんの診断と治療

寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)

日本内科学会認定医
専門 アレルギー疾患、特に喘息の診断と治療

【副部長】 郡司 直彦(第1内科・消化器内科部副部長)

日本内科学会認定医、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会
専門 消化管、大腸疾患

【医師】 中島 勇貴

日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会

**【部外医】 菅野有紀子、横内 浩、泉田 太郎、柏木 真人、金成 文平、福原奈緒子、
加藤 恒孝、引地 拓人、中村 純**

<平成27年度実績>

平成27年度も厳しい診療体制であった。

当科は日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本リウマチ学会、日本アレルギー学会の認定施設である。また、肝疾患専門医療機関であり、肝炎、肝がんの診療に力を入れている。消化器がん化学療法、食道がん、胃がん、大腸がんに対するESD(内視鏡的粘膜切除)、総胆管結石に対する内視鏡治療にも積極的である。

症例数、治療、成績： 内科消化器として年間入院患者数約500例で急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がん、食道静脈瘤、出血性胃十二指腸潰瘍、食道がん、胃がん、大腸がん、総胆管結石、胆管がん、膵がんと症例は多岐にわたる。腹部超音波検査の年間症例数3,000例以上、上下部消化管内視鏡検査年間症例数3,500例以上である。C型慢性肝炎に対する直接作用型抗ウイルス療法やペグインターフェロン、リバビリン、シメプレビル併用療法、インターフェロン少量維持療法等、症例ごとに最適治療法を施行している。B型慢性肝炎、肝硬変症例への核酸アナログ製剤投与例は30例以上。肝細胞癌にはマイクロバルーンやビーズを用いた肝動脈塞栓療法(TACE)や経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)を50例以上に施行しており、症例により人工胸、腹水の併用やTACEとRFAを併用し、安全性、治療成績の向上を目指している。食道がん、胃がん、大腸がんのESD症例は年間40例前後であり、福島県立医科大学内視鏡科の医師と共に治療にあたっている。EST(内視鏡的乳頭切開術)に伴う総胆管結石排石、閉塞性黄疸の減黄症例も72例と年々増加している。また、関節リウマチに対する生物学的製剤を用いた最新治療の症例数は県内トップクラスで、延べ300例以上を治療し、関節エコーによる診断、治療評価を導入している。関節エコー

の症例数は年間300例以上に達している。また、難治性の膠原病や不明熱の紹介も多い。呼吸器、腎臓疾患については福島県立医科大学の派遣医師とともに診療にあたり、禁煙外来での禁煙指導にも力を入れている。今後は病診連携に力を入れて地域の医療の活性化をはかりたい。

また、研修医は日本内科学会、日本消化器病学会東北支部例会、内科学会地方会にて発表をし、優秀演題賞を日本消化器病学会東北支部例会で3名が受賞した。

<平成28年度目標>

当科は内科、消化器疾患を幅広く診療している。昨年と同様、厳しい診療環境の中、安全に効率良く診療をすることを目標としたい。医師の増員はしばらく望めず、厳しい状態が継続すると思われるが、新しい治療を積極的に取り入れ、コメディカルの力も借りて、クオリティの高い診療を維持して行きたい。また、研修医の指導や学会活動にも力を入れて病院、医局を盛り立てて行きたい。大学の医局を盛りたてするには初期研修医を多く獲得することが最も効果的である。初期研修にはプライマリケアを重視した指導が強く求められている。今後はプライマリケア、総合内科を指導できるように研修を充実させ、研修医が幅広く臨床を見ていけるような研修の場を提供したい。

2. 糖尿病・代謝内科

【部長】 佐藤 義憲(糖尿病・代謝内科部長)

日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定総合内科専門医
日本糖尿病学会認定専門医、日本糖尿病学会認定研修指導医
ICD制度協議会認定インфекションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
専 門 糖尿病

<平成27年度実績>

1. 活動実績

紹介入院が引き続き多かった。特に、感染症併発や高血糖緊急症といった重症例が多かった。

外来予約診療 710

入院 210

学会発表 4

2. 学会発表

- ・ 5/21 - 5/21、下関市、海峡メッセ下関、第58回日本糖尿病学会年次学術集会

「HHS再現モデルとHHS治療モデルによる血清ナトリウム濃度変化の検討」

佐藤義憲

- ・ 11/ 7、仙台市、仙台国際センター、第53回日本糖尿病学会東北地方会

「初診時に縦隔気腫があった急性発症1型糖尿病の1例」

佐藤義憲

「認知症様症状があり髄液抗GAD抗体陽性であった胸腺腫併発緩徐進行1型糖尿病の1例」

一瀬瑞絵、佐藤義憲、中村耕一郎

「劇症1型糖尿病発症後まもなく僧帽弁閉鎖不全症が見つかった1例」

香曾我部絹子、佐藤義憲、阪本貴之

<平成28年度目標>

引き続き病診連携に力を入れる。

福島医大医局との関連強化のため、必要時は教育認定施設の認定を取得する。

CSII, CGMを導入し、専門施設としての体裁を整える。



3. 循環器内科

【部長】 大和田尊之(第1循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定専門医、
日本高血圧学会認定指導医、福島県立医科大学臨床教授
専門 循環器一般、虚血性心疾患、冠動脈疾患

渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

日本内科学会認定専門医、日本循環器学会認定専門医、日本DMAT隊員
専門 循環器科一般、不整脈

阪本 貴之(第3循環器内科部長)

日本内科学会認定医、日本循環器学会認定専門医
専門 循環器科一般、心血管インターベンション

【医師】 寶槻 優(医師)

日本心臓病学会
専門 循環器一般

中里 和彦(非常勤医師)

<平成27年度実績>

手術件数が前年度より増加した。

カテーテル件数：431(前年度390)、PCI件数：212(前年度195)、EVT件数：25(前年度15)

<平成28年度目標>

1. 心臓外科開心術を年間50例やってもらうように症例を紹介する。
2. 心臓電気生理年間50例以上、うち5例は心室頻拍
上記1、2を達成しロタブレーター、ICD、CRTの適応をとる。



4. 神経内科

【部長】 中村耕一郎(神経内科部長)

日本神経学会認定専門医、日本神経学会認定指導医
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医
日本脳卒中学会、日本臨床神経生理学会
専門 神経内科一般

【副部長】 守谷 新(神経内科部副部長)

日本神経学会認定専門医
日本内科学会認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医
専門 神経内科一般

<平成27年度実績>

平成27年度の入院件数は316件(前年度より32件増)であった。
救急搬送患者数は354名(同91名増)で、うち入院は177名(同28名増)であった。

<平成28年度目標>

更なる病診連携に努め、神経救急患者の入院受け入れ及び神経免疫疾患、神経変性疾患患者の外来入院診療を充実させる。

5. 精神科

【部長】 後藤 大介(精神科部長)

日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、日本生物学的精神医学会、
日本老年精神医学会、日本認知症学会、日本精神科診断学会
専 門 精神科一般

【副部長】 藤森 春生(精神科部副部長)

日本精神神経学会、精神保健指定医、日本総合病院精神医学会、日本医師会認定産業医
専 門 精神医学一般

【医師】 刑部 有祐

日本精神神経学会、日本臨床神経生理学会、東北精神神経学会、日本医師会認定産業医

<平成27年度実績>

当院精神科は、精神病床を40床有し、精神神経学会精神科専門医制度における認定研修施設である。総合病院精神科である当科の役割は、精神科一般外来、院内身体科とのコンサルテーション・リエゾン精神医療、救急搬送患者の精神症状への対応、精神疾患患者の身体合併症治療の拠点として重要なものがある。さらに当科においては、麻酔科の協力の下に修正電気けいれん療法(mECT)を実施しているが、これも総合病院精神科の役割として重要である。

平成27年度の実績としては、外来患者延数13,759人(1日平均56.9人)、新患者延数576人(1日平均2.4人)、入院患者延数7,763人(1日平均21.2人)、平均在院日数60.0日、紹介率47.5%、逆紹介率88.5%、mECT件数144件となっている。

<平成28年度目標>

当科は、県北地域の総合病院精神科として、身体科治療との連携や、修正電気けいれん療法(mECT)の施行など、重要な役割を担っている。また、認知症疾患医療センターの主担当科の1つとして、同センターの運営にも参画し、県北および相双地域の認知症診療における当院の拠点化を進めている。

進展する超高齢社会にあつて、精神科日常診療に占める認知症や高齢発症のうつ病の割合は今後とも増加することが予想され、地域の医療や介護領域との円滑な連携も望まれている。従って、今後とも、認知症疾患医療センターを1つの軸に据え、院内他科連携および地域内における医療介護連携の構築に向けた取り組みが重要となる。

また、総合病院精神科には多くの役割が求められることから、円滑な診療業務の遂行に向けた効率化・最適化に今後とも注力していく必要がある。具体的には外来診療における予約制の導入、逆紹介の推進、院内せん妄対策の推進などがあげられ、今後に向け調整を図っていきたい。

6. 小児科

【部長】 三友 正紀(小児科部長)
日本小児科学会認定専門医
専門 小児科一般、感染症、循環器疾患

【医師】 弓削田英知(非常勤嘱託医師)
日本小児科学会認定専門医、日本腎臓学会認定専門医
専門 小児科一般、感染症、腎泌尿器疾患

<平成27年度実績>

外来患者数 4,294人(1日平均17.7人)
入院患者数 788人

外来、入院ともに感染症が多くを占めるが、小児の各領域の疾患に関して診療を行っている。また、外来では、一般外来の他、腎臓、神経、心臓疾患の特殊外来や、乳幼児健診、予防接種などを行っている。

<平成28年度目標>

他の医療機関との連携を図りながら、救急医療、二次医療の充実を図るとともに、予防接種や学校健診要精検者の二次健診の拡充にも努める。

7. 外科

【名誉院長】 芳賀 甚市
日本外科学会認定指導医、日本消化器外科学会認定指導医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
専門 消化器外科、乳腺外科

【副院長】 今野 修(副院長 兼 医療安全推進室長)
日本外科学会認定専門医・認定医・指導医
日本消化器外科学会認定専門医・指導医・認定医
日本消化器外科学会認定消化器がん外科治療認定医
日本静脈経腸栄養学会認定NST医師、日本体育協会公認スポーツドクター
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
専門 消化器外科、胸部外科(食道)

【部長】 遠藤 豪一(第1外科部長)
日本外科学会認定認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定認定医・専門医・指導医
日本消化器外科学会認定消化器がん治療認定医
日本がん治療認定医機構認定医
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会認定マンモグラフィ読影認定医
日本DMAT隊員
専門 消化器外科

郡司 崇志(第2外科部長)

日本外科学会専門医

日本消化器外科学会

日本臨床外科学会

日本東洋医学会

専門 消化器外科

<平成27年度実績>

手術症例(一般外科手術症例)(平成27年1月1日~12月31日)

1)甲状腺	
良性腫瘍	0例
2)乳腺	
悪性腫瘍手術	21例(乳房温存手術8例)
3)胃	
胃悪性腫瘍手術	36例(胃全摘術14例)
潰瘍穿孔手術	5例
4)小腸	
部分切除	1例
5)大腸(結腸)	
結腸悪性腫瘍手術	27例(腹腔鏡下手術5例)
その他	9例
6)直腸	
直腸悪性腫瘍手術	19例(直腸切断術7例)
その他	3例
7)急性虫垂炎	
虫垂切除術	33例
8)肛門	
その他	1例
9)消化管(その他)	
腹膜炎手術	6例
腸閉塞症手術	11例
その他	10例
10)肝臓	
部分切除術	2例
11)胆嚢	
胆石症	46例(腹腔鏡下手術33例)
胆嚢炎	11例(腹腔鏡下手術5例)
悪性腫瘍	1例
その他	2例
12)ヘルニア	
鼠径ヘルニア	89例(小児10例)
腹壁癒痕ヘルニア	2例(腹腔鏡下手術1例)
臍ヘルニア	3例
大腿ヘルニア	1例
閉鎖孔ヘルニア	2例
13)血管系	
CVポート埋め込み手術	26例

＜平成28年度目標＞

基本的治療方針として、個々の患者様の状態に応じた適切な手術を目標にしている。

患者様の体への負担が少ない腹腔鏡下大腸切除手術を平成26年12月より導入した。現在は比較的早期の大腸(結腸、直腸)がんを対象に手術施行しており平成27年10月までに8例の患者様において腹腔鏡下大腸切除術を施行した。今後胃がんに対しても腹腔鏡下胃切除手術導入する予定である。

患者様の体への負担の少ない手術術式の導入により入院期間の短縮化、早期退院、早期社会復帰可能となるように今後も努力していく所存である。

8. 血管外科・心臓外科

【部長】 安藤 精一(血管外科部長)

日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、日本循環器学会専門医、
日本脈管学会専門医

専門 血管病(動脈系・静脈系)、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、高血圧、心不全、不整脈

【副部長】 五十嵐 崇(心臓外科部副部長)

心臓血管外科専門医、日本外科学会専門医、日本心臓外科学会、日本血管外科学会、
日本胸部外科学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、腹部ステントグラフト指導医、
医学博士

専門 心臓弁膜症、虚血性心疾患、大動脈瘤・大動脈解離等

＜平成27年度実績＞

開心術13例

大動脈手術(人工血管置換+ステントグラフト)6例

末梢動脈手術(バイパス+血管内治療)19例

下肢静脈瘤15例

下大静脈フィルター4例

ペースメーカー関連7例

＜平成28年度目標＞

当院の血管外科は日本脈管学会認定研修関連施設であり、県北地区では末梢血管系疾患において上位(動脈バイパス手術数では1位)の手術症例数であったが、近年の血管内治療の進歩による内科医および放射線科医の末梢血管治療への参戦により、平成27年度は大動脈・末梢動脈・静脈関連手術数が例年と比較し大幅に減少してしまった。本年手術症例数は回復傾向にあり、このまま症例数を維持することと、血管内治療+外科医ゆえのバイパス手術手技を駆使した高難度の重症虚血疾患に対し、満足のいく結果をあげられるよう対処していきたいと考えている。また、心臓外科における手術は安全確保が第一であり、安全確実に有効な手術を提供できるよう努力していく所存である。

9. 呼吸器外科

【部長】 菅野 隆三(第1呼吸器外科部長)

日本外科学会認定専門医・指導医

日本胸部外科学会認定指導医
日本呼吸器外科学会認定指導医
呼吸器外科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医
福島県立医科大学臨床教授・客員講師
専 門 呼吸器外科

【医 師】 井上 卓哉

日本外科学会認定専門医
専 門 呼吸器外科

大石 明雄(非常勤医師)

日本外科学会認定専門医・指導医
日本胸部外科学会認定専門医・指導医
日本呼吸器外科学会認定専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
福島県立医科大学臨床教授・客員講師
専 門 呼吸器外科

<平成27年度実績>

呼吸器外科手術総数135件(胸腔鏡下手術111件、局所麻酔手術、気管切開は除く)。

内訳：肺良性腫瘍手術8件、原発性肺悪性腫瘍手術47件、転移性肺腫瘍手術8件、縦隔腫瘍手術8件、膿胸に対する手術5件、嚢胞性肺疾患手術1件、特発性自然気胸手術36件、続発性気胸手術17件、胸膜生検、縦隔リンパ節生検4件、重症筋無力症手術1件。

気管支鏡、胸腔鏡検査：46件

<平成28年度目標>

呼吸器外科手術総数150件を目標とする。特に原発性肺悪性腫瘍手術件数を増やすこと。

引き続き、その他の良性呼吸器外科疾患、手術不能の肺癌に対する緩和療法を含めた治療症例の増加に努めること。

10. 整形外科

【部 長】 村上 和也(整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)

日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会スポーツ認定医、
日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医、
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会評議員、東北膝関節研究会幹事
専 門 足の外科、膝関節外科

【副部長】 佐藤 法義(整形外科部副部長)

日本整形外科学会、日本股関節外科学会
専 門 股関節外科

【医 師】 嶋崎 睦

日本整形外科学会、日本骨折治療学会

専 門 整形外科一般

<平成27年度実績>

手術件数はほぼ例年通りかと思われた。北野医師に代わり、嶋崎睦医師となったことに伴い、北野医師の専門である股関節手術の件数は多少減少したが、その分外傷例の件数が増加したものとする。常勤3名、福島医大からの週1回の診療応援、隔週2回の手術応援を得て、この規模の人員のなかでは、結構な実績ではないかと考えている。

<平成28年度目標>

今年度は、佐藤法義医師が残り、嶋崎医師の代わりに小山光久医師が赴任した。小山医師は外傷一般が得意であり、当院の運営理念の一つである救急医療の充実に貢献してくれることが期待される。昨年度までの通り、慢性疾患は人工関節の手術を中心に手術件数を維持し、骨折を中心とした外傷手術にもスタッフ全員で対処していこうと考えている。

11. 脳神経外科

【院 長】 渡部 洋一

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医・代議員・評議員、

日本救急医学会認定専門医、福島県立医科大学脳神経外科臨床教授、

統括日本DMAT隊員、日赤災害医療コーディネーター、

日赤緊急被ばく医療アドバイザー

専 門 脳血管障害、脳血管内治療

【部 長】 鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医・評議員、

日本脳卒中の外科学会代議員、日本脳神経外科光線力学学会幹事

専 門 脳血管障害

市川 剛(第2脳神経外科部長)

日本脳神経外科学会認定専門医、日本脳卒中学会認定専門医、

日本脳神経血管内治療学会認定専門医、日本DMAT隊員

専 門 脳血管内治療、脳神経外科一般

【医 師】 伊藤 裕平

日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本脳神経血管内治療学会

専 門 脳血管障害、脳血管内治療、脳神経外科一般

<平成27年度実績>

I. 診療

昨年度1年間での入院患者総数は671名であり、その内訳は、脳血管障害が352例(脳梗塞：181例、脳出血：107例、クモ膜下出血：41例、未破裂脳動脈瘤：20例、脳動静脈奇形・脳動静脈瘻：2例、もやもや病1例)、脳腫瘍が18例、頭部外傷が149名、てんかんが22名、水頭症・奇形が14例、機能的疾患が4名、感染症が2名、その他が130名であった。

手術件数は201件であった。そのうち開頭手術は65例で、脳動脈瘤クリッピング術：22例、脳内血腫除去術：8例、脳腫瘍摘出術：6例、脳動脈吻合術：5例、AVM摘出術：3例、急性硬膜下血腫除去術：2例、急性硬膜外血腫除去術：1例、減圧開頭術：1例であった。血管内手術は58例であり、動脈瘤内コイル塞栓術：27例、頸部頸動脈ステント留置術：14例、血栓回収術：10例、血管形成術：5例、血栓溶解・破碎術：1例、腫瘍塞栓術：1例であった。それ以外の手術は78件で、慢性硬膜下血腫：49例、水頭症手術：44例、脳膿瘍ドレナージ術：2例、その他：3例であった。

II. 教育

リハビリテーションカンファランス：脳卒中急性期リハビリテーションによる更なる機能改善を目指して、医師・リハビリテーションスタッフ・病棟看護師による入院患者さんの検討会を2回/月の頻度で開催した。

神経内科・脳神経外科合同カンファランス：脳卒中治療の進歩に迅速に対応するための勉強会を第2,4月曜の夕方に開催した。研修医も参加し、当院における脳卒中治療水準の底上げを目指している。

このほかに、回復期リハビリテーション施設との症例検討会を非定期的ではあるが開催して、県北地域の脳卒中治療成績の向上を目指している。

III. 社会貢献

当院は、日本脳卒中協会福島支部の事務局であり、渡部洋一院長が副支部長を務めていることから、福島県民への啓発活動を積極的に行っている。恒例の福島県脳卒中市民公開講座を、平成26年度も開催した。

脳卒中の治療は近年めざましい進歩を遂げている。内科的には直接経口抗凝固薬が心原性脳塞栓症予防に臨床使用されてから5年が経過しその有用性が確立されつつある。これらの知見を福島県内外の医師に啓蒙するために、渡部院長が主体となり各地で講演を行った。外科的には血管内治療が進歩しており、市川医師が福島医大など県北地域の医療機関に赴いて治療ならびに指導を行っている。

IV. 研究

従来から行ってきた、蛍光脳血管撮影、術中運動誘発電位モニタリング、脳動脈瘤手術、脳梗塞の薬物治療の研究を進め、論文として発表した。

1. 鈴木恭一、市川 剛、渡部洋一：内頸動脈瘤の術中モニタリング：術中蛍光脳血管撮影、内頸動脈瘤のすべて(編)井川房夫、宮地 茂、メディカ出版、2015、80-86
2. 柳田拓実、市川 剛、鈴木恭一、渡部洋一：片側型もやもや病に合併した破裂前交通動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した1例、脳卒中の外科43：223-227、2015
3. 鈴木恭一、市川 剛、渡部洋一：フルオレセインによる蛍光脳血管撮影。脳神経外科速報25：630-634、2015
4. Ichikawa Tsuyosi, Suzuki Kyouichi, Watanabe Yoichi. Development of and clinical experience with a simple device for performing intraoperative fluorescein fluorescence cerebral angiography：Technical Note. Neurologia medico-chirurgica 56：141-149、2016

<平成28年度目標>

I. 診療

血管内治療：市川部長を中心に、進歩する血管内手術手技を積極的に取り入れ、更なる治療成績の向上を目指す。福島県内の血管内治療学会認定専門医が少ないなかで、県北地域の中心的医療機関としての役割を果たしてゆきたい。患者さんにとって低侵襲の手術を進める観点から、内視鏡手術の更なるレベル向上につとめたい。

当院の脳卒中センターに平成25年度から2名の神経内科専門医が加わり、診療レベルの向上が得られている。更に多職種の方々に関わっていただき、脳卒中センターのレベルアップを目指したい。

II. 教育

臨床研修指定病院としての役割も担う当院として、初期臨床研修医の教育にも重点を置いてゆく。神経内科との合同カンファランスなどこれまで行ってきたものを継続するのに加えて、脳神経外科治療を院内の多職種で共有出来るような教育の場を増やしてゆきたい。職員の学会発表・論文作成を支援することにより、病院全体の医療レベルの向上に努めてゆきたい。

昨年当院での初期臨床研修を終了した伊藤裕平医師が、脳神経外科専攻医として当院に残ってくれた。これまでの3人体制から4人体制となり診療が大いに充実して来ている。脳卒中診療医が少ない本県の将来を担う医師の誕生であり、立派な脳外科医師となるよう全力で教育する方針である。

III. 社会貢献

今年度以降も、日本脳卒中協会福島支部の事務局として、脳卒中の予防、早期治療の重要性などに関する啓発活動を中心として社会貢献に努めていきたい。

+

12. 皮膚科

【部長】 元木 良和(皮膚科部長)
日本皮膚科学会認定専門医
専門 皮膚科一般

<平成27年度実績>

重症腋窩多汗症にボトックス療法を行い、10人に実施し、安定した効果をあげた。

<平成28年度目標>

潜在的な需要が見込める分野であり、他の参入も少ない。リピーターを確保するとともに、新規の患者数も増やしていきたい。

<論文>

元木良和
バラシクロビルによる急性腎障害
皮膚病診療 Vol.37 No.7 701-702

+

13. 形成外科

【医師】 浅井 笑子(非常勤医師)
日本形成外科学会専門医、皮膚腫瘍外科分野指導医
日本顔面神経学会、日本口蓋裂学会、日本創傷外科学会、
日本マイクロサージャリー学会、形成外科手術手技学会
福島県立医科大学形成外科学講座・非常勤
専門 形成外科一般、唇顎口蓋裂

<平成27年度実績>

平成27年4月～平成28年3月までの手術件数：103件(全て通院、局所麻酔)

<平成28年度目標>

前年度同様、1日3件程度までの手術を入れさせていただいており、概ね緊急時に対応できている。紹介患者の手術は当院で施行できており、手術件数も100～110件程度で安定している。

予定処置患者は午後の外来開始時間前に早めに診察するようにし、さらに初診の紹介患者も含めて、基本的には予約してから受診していただくようにしたことで待ち時間短縮につながっており、今後もこのシステムを継続していく予定である。

14. 泌尿器科

【医師】 丹治 進(非常勤医師)

日本泌尿器科学会認定専門医、日本泌尿器科学会認定指導医
日本性機能学会認定専門医
日本がん治療学会認定医機構がん治療認定医
医療法人恵仁会 泌尿器科・皮膚科・内科・北町丹治医院 院長
岩手医科大学医学部泌尿器科学講座客員教授
専 門 泌尿器科一般

<平成27年度実績>

週1回1日の外来診察を実施した。

<平成28年度目標>

週1回1日(水曜日、第3水曜日を除く)、午前の外来診療を継続する。
限られた時間ではあるが、今まで通り、お役に立てればと思う。

15. 産婦人科

【部長】 矢澤 浩之(第1産婦人科部長)

日本産科婦人科学会専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
日本生殖医学会生殖医療専門医
専 門 内視鏡手術(腹腔鏡下手術)、婦人科腫瘍学、不妊症

【副部長】 伊藤 史浩(第1産婦人科部副部長)

日本産科婦人科学会専門医
専 門 周産期

【医師】 佐々木真智子

日本産科婦人科学会

<平成27年度実績>

子宮筋腫や卵巣腫瘍など婦人科良性疾患に対しては、患者様の負担軽減のため可能な限り低侵襲性手術(内視鏡下手術)を選択してきた。学会や研修会に積極的に参加し、内視鏡下手術のスキルアップに努めその適応拡大を行ってきた。

悪性疾患では、診断、治療(手術、科学療法)、術後のフォローアップから週末期管理や在宅医

療への移行まで一貫した管理を行ってきた。

不妊治療では、妊娠に関する気軽な相談、タイミング法、腹腔鏡下による検査、治療から顕微授精を含むART(Assisted Reproductive Technology)治療までを一貫して行ってきた。

産科診療では、外来妊婦健診において助産師外来の割合を増やすことにより、妊婦さんの診療待ち時間の短縮、充実した妊婦生活指導などに努めてきた。また、最近、妊婦さんの高齢化が進んでおり、内科疾患、精神科疾患を有する妊婦が増加する傾向にあるが、これらの患者さんに対しては積極的に内科医、精神科医へ相談を行い、共同管理を行ってきた。

その他、骨盤性器脱の管理や性感染症の診断治療など全ての婦人科疾患に対応できる体制で診療を行ってきた。

総手術件数：347件

悪性腫瘍・境界悪性腫瘍に対する根治手術：23件

腹腔鏡下手術：202件(卵巣腫瘍：126件、子宮全摘：43件、筋腫核出：17件、
子宮外妊娠：13件など)

子宮鏡下手術：13件

開腹子宮全摘術：24件

開腹子宮筋腫核出術：8件

開腹卵巣腫瘍手術：3件

円錐切除術：25件

子宮脱手術：1件

帝王切開：49件 など

分娩件数：234件 [うち帝王切開：49件(21%)]

<平成28年度目標>

1. 学会や研究会に積極的に参加し、最新の診断、治療法の習得や手技の向上に努める。
2. 婦人科良性腫瘍の手術件数の増加、特に内視鏡下手術の適応拡大に努める。
3. 婦人科悪性腫瘍患者管理をさらに充実させる。
4. 妊婦管理(健診)の充実、分娩件数の増加に努める。
5. 初期研修医、後記研修医がさらに充実した研修を行えるように努める。

16. 眼科

【医師】 加宅田匡子(非常勤嘱託医師)

日本眼科学会専門医

日本緑内障学会

日本白内障屈折矯正手術学会

専門 眼科一般

[視能訓練士] 秋山 妙子、湯野川樹理、渡邊 恵

<平成27年度実績>

統計ページを参照。

<平成28年度目標>

眼科検診、診療に努める。



17. 耳鼻咽喉科

【部 長】 大河内幸男(耳鼻咽喉科部長)

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本気管食道科学会認定専門医、
日本聴覚医学会、日本耳科学会、日本鼻科学会、耳鼻咽喉科臨床学会
専 門 鼻・副鼻腔疾患、扁桃疾患

<平成27年度実績>

平成27年度の入院患者数は138名で、その内訳は手術目的の予定入院65名、救急入院は73名であった。例年より救急入院患者数が減少していた。外来患者延数6,013名で若干減少していた。

<平成28年度目標>

医師1名増員にともない、入院患者200名(手術入院100名、救急入院100名)を目標とする。いずれも紹介による要素が大であり、積極的に紹介患者の受け入れを図る。積極的に外来患者数の増加を図るつもりはないが、もう少し時間をかけた診療をおこない、結果診療単価アップにつながればよい。



18. 放射線科

【部 長】 菊田 学(放射線科部長)

日本医学放射線学会専門医
専 門 画像診断(特にCT・MRI)

【技師長】 佐藤 久光(放射線科部技師長)

【課 長】 今野英麻呂(第1放射線技術課長)
佐藤 勝行(第2放射線技術課長)

【係 長】 菅野 徹(特殊撮影係長)
相澤 浩樹(画像情報係長)
阿部 直人(一般撮影係長)

[診療放射線技師] 海藤 隆紀、国島やよい、羽貝 寿子、五十公野純子、
伊藤 美穂、三次 鏡太、明田 充弘、佐藤 竜馬

[放射線助手] 八巻 弘美(臨時)

<平成27年度活動実績>

1. 撮影件数

	H26 年度	H27 年度
一般撮影	25,541	28,681
透視撮影	1,192	1,168
骨密度検査	529	563
CT 検査	10,486	11,585
MRI 検査	5,371	6,059
乳房撮影	1,366	1,839

ホールボディ検査	825	653
ポータブル撮影	4,078	4,477
PACS取り込み・複写	3,065	4,330

2. PACS、RIS導入後の安定した稼働。
3. 脳外単科二次輪番日の宿直制の継続。
4. 紹介患者、画像データのPACSへの取り込み即時対応。
5. 遅番体制による貢献。

<平成28年度目標>

1. 患者さんに優しい安全な放射線検査の実施。
2. 健診部門の充実を図る。
3. 共同利用の積極的な対応。
4. 新病院に相応しい放射線機器の選定。
5. PACS、RISを順調に稼働させる。
6. 放射線機器の管理を充実する。

<学会・研修会参加>

- ・第71回日本放射線技術学会 平成27年4月17日 横浜 今野英麻呂
- ・第13回福島災害医療セミナー(被ばく医療コース) 平成27年5月21日 海藤 隆紀
- ・第62回日本赤十字診療放射線技師学術総会 平成27年6月12日 東京 佐藤 久光 相澤 浩樹
- ・第4回日本赤十字診療放射線技師会東北ブロック研修会 仙台 平成27年9月26日
佐藤 久光・今野英麻呂・佐藤 勝行・菅野 徹・相澤 浩樹・阿部 直人・海藤 隆紀
三次 鏡太・明田 充弘・佐藤 竜馬
- ・第2回日本赤十字社 原子力災害対応基礎研修会 東京 平成27年11月6日 海藤 隆紀
- ・平成27年度ホールボディカウンター計測研修 千葉 平成28年2月25日 海藤 隆紀

<学会・研修会発表>

- ・第4回日本赤十字診療放射線技師会東北ブロック研修会 仙台 平成27年9月26日
- ・「当院のRIS・PACSシステムで経験したトラブル」 菅野 徹
- ・「画像データの管理」 佐藤 竜馬

19. 麻酔科

【部長】 安達 守(第1麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本麻酔科学会認定専門医
専 門 星状神経節ブロック

出羽 明子(第2麻酔科部長)

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本緩和医療学会、日本ペインクリニック学会、
日本麻酔科学会認定専門医
専 門 緩和ケア、帯状疱疹後神経痛

<平成27年度実績>

麻酔件数 1,597件

ペインクリニック	56件
緩和ケア	35件
薬物中毒	6件
初期研修医	9名
救急救命士挿管実習	1名

<平成28年度目標>

安全な手術麻酔と緩和ケアの充実

20. リハビリテーション科

【部長】 村上 和也(第1整形外科部長 兼 リハビリテーション科部長)

【医師】 丸山 俊章(非常勤医師)

【係長】 大室 祐司(第1リハビリテーション係長、理学療法士)

藤橋 伸弘(第2リハビリテーション係長、理学療法士)

[理学療法士] 近澤久美子、相田 悦子、鈴木かおり、
三浦 友輔、渡邊みなみ、淵澤 慎也、
大室 康騎、菅野 裕司

[作業療法士] 大谷 彩、高橋 美和、川瀬ゆかり

[言語聴覚士] 後藤真紀子、齋藤 隆徳

[柔道整復師] 多田 耕一

[事務員] 鈴木真紀子

<平成27年度実績>

理学療法総単位数(入院・外来)	29,456
作業療法総単位数(入院・外来)	7,416
言語聴覚療法総単位数(入院・外来)	8,086

<平成28年度目標>

1. 方針

- (1)患者様満足度と職務満足度の向上
- (2)質の高いリハビリテーションの提供
- (3)病院収益への貢献
- (4)人材育成

2. 具体的目標

- (1)リハ処方された全ての患者様へ、適切なリハビリテーションを提供する
- (2)ハード面、ソフト面の充実
- (3)地域連携バスの適切で効果的な運用
- (4)診療報酬改訂に対応し、規定範囲内で最大限の算定を行う
- (5)業務改善の提案
- (6)他部門との連携強化
- (7)各種リハ文書の統一化
- (8)臨床実習の受け入れを行う



21. 薬剤部

【部長】 我妻 禎(薬剤部長)

日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師
日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト
上級放射線ファーマシスト

【課長】 緑上 淳一(薬品管理課長)

渡部 寿康(製剤課長)

がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本DMAT隊員登録
ケアマネジャー、日本アンチドーピング機構スポーツファーマシスト
日本薬剤師研修センター認定薬剤師

【係長】 山脇 聡(製剤係長)

川村 早苗(調剤係長)

薬原性錐体外路症状評価尺度(DIEPSS)評価者講習修了

[薬剤師] 薄 大介

日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本DMAT隊員登録

佐藤 南

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

二瓶 瑤子

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

齋藤可奈子

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

馬場 洵

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

寶槻 友紀

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師

酒井 亮

日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師

武藤 壮平

[薬剤助手] 山田 奈美、板垣かなえ、矢吹沙紀子

<平成27年度実績>

1. 薬剤管理指導件数 月平均：577.7件
2. 退院時薬剤情報管理指導数 月平均：260.1件
3. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
Ⅰ期(平成27年5月11日～7月24日) 3名
Ⅱ期(平成27年9月7日～11月20日) 2名
Ⅲ期(平成28年1月7日～3月23日) 1名
4. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：728件
入院実施件数：289件

<平成28年度目標>

1. 薬剤管理指導件数
月平均 600件
2. 6年制薬剤師長期実務実習受入件数
Ⅰ期：1名 Ⅱ期：2名 Ⅲ期：3名
3. 化学療法ミキシング件数
外来実施件数：800件
入院実施件数：400件
4. 学会・研修会発表：5件

22. 医療技術部

【部長】 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)

栄養課

【課長】 佐藤る美子(栄養課長、管理栄養士)

【係長】 菊地 利恵(栄養係長、管理栄養士)

服部みゆき(調理係長、調理師)

【管理栄養士】 野崎 華織、小河原貴之、葛城 美貴

【栄養士】 野地満里絵、齋藤那緒美、蓬田 ゆみ

【調理師】 釜田 雄一、中尾ひろみ、島倉 蘭

【業務員】 三浦美智子、佐藤 由枝、穴戸 雄太、片平 純子、塚原恵理華、佐川 収、
佐藤 栄寿、本多由美子、菊地 由子

【事務員】 阿部 暁子、渡辺 淳子

<平成27年度実績>

・栄養管理業務

- (1) 4月より、診断名と特別治療食の食事箋が合致したシステムの構築と栄養管理手順を変更した。
- (2) 食事摂取基準の改定により、塩分量(男性8g 女性7g)に変更した。
- (3) 6月より外来栄養指導件数の増加に向けフローチャートを新しく作成した。
- (4) イソニアジド内服患者のアレルギー対応マニュアルの作成。
- (5) 栄養管理計画書に基づき患者の栄養状態を把握すると共に、NSTラウンドにより栄養改善に努めた。
- (6) 9月(5名)、10月(4名)の管理栄養士、栄養士の実習生を受け入れた。

・給食管理業務

- (1) 4月から化学療法の患者に対して、個別対応を実施することで食事摂取量の向上に繋がった。
- (2) 8月に嗜好調査を実施した結果、昨年より感謝の言葉が多く満足度がアップした。
- (3) 9月より分業の献立、栄養補助食品を見直すことで患者の喫食率が向上した。
- (4) 1月のQCサークル発表に於いて、課内の施設委員会での活動が評価され優秀賞に選ばれた。
- (5) 日赤通りに「お手軽クッキング」を連載し、調理法・栄養情報の紹介を掲載した。

項目	区分	実績	昨年度比
栄養指導件数	入院指導	928件/年	267件増
	外来指導	112件/年	28件増
栄養管理計画書		41%/年	
集団栄養相談教室	プレママ	24回/年	
	糖尿病教室	12回/年	
個人対応		567件/年	34件増
給食延数	一般食	139,274食/年	
	特別食加算	85,714食/年	
行事食回数		37回/年	

<平成28年度目標>

1. 2015年度版の食品成分表食事摂取基準に基づいて栄養管理マニュアルを改訂する。
2. 多職種と連携を図りNSTの活性化を図る。
3. 栄養管理計画書に基づいた特別治療食の増加を図り治療に繋げる。
4. 外来栄養指導の増加に努め、且つ集団栄養指導開催により食生活改善に貢献する。
5. 離乳食、お祝い膳、嚥下食の献立を見直しリニューアルする。
6. 衛生管理を充実させ、安全で美味しい食事摂取基準に則した食事の提供に取り組む。

臨床工学技術課

【課長】 橋本 健一(臨床工学技術課長、臨床工学技士、医療機器安全管理責任者、医療安全推進室員)
 [臨床工学技士] 早坂美智子、中山 彩、佐藤 恵美

<平成27年度実績>

1. 臨床業務

- (1) アンギオカテーテル業務
 - ・心臓 451件 (PCI232件) ・大動脈ステントグラフト 1件
 - ・末梢血管EVT 21件 ・血栓除去 10件
 - ・IVCフィルター 4件 ・脳血管 68件(造影・コイル他)
 - ・肝臓 39件 (TACE他)
- (2) 心臓ペースメーカー業務
 - ・新規埋込み術・電池交換術 45件
 - ・植込み型ペースメーカー外来 712回
 - ・体外式ペースメーカー管理日数 235日
- (3) 人工心肺業務
 - ・13件

心臓手術時の人工心肺業務を特に問題無く開始する事が出来た。
- (4) 血液浄化アフェレーシス療法業務 ・131回 (HD・CHDF・DHP・腹水濾過)
- (5) ラジオ波腫瘍焼却術(RFA) ・9件
- (6) 術中自己血回収術(セルセーバー) ・18件
- (7) 補助循環装置管理日数(IABP・PCPS) ・20日
- (8) 内視鏡室業務

2. 医療機器管理業務

(1) 中央管理・点検業務

輸注ポンプ・人工呼吸器・除細動器・全身麻酔器・閉鎖式保育器・血液透析装置
・補助循環装置(IABP・PCPS)・ペースメーカー・パルスオキシメーター・生態情報モニター
・低圧持続吸引器・電気メス など

(2) 医療機器研修会開催 ・13回 (病棟単位での研修会含む)

3. 参加委員会 等

・医療安全推進室 ・医療安全推進委員会 ・医療ガス委員会
・医療機器整備委員会 ・HCU運営委員会 ・手術室運営委員会
・NESスタッフ ・新型インフルエンザ委員会 ・省エネ委員会

4. 学会・研究会での発表 4回

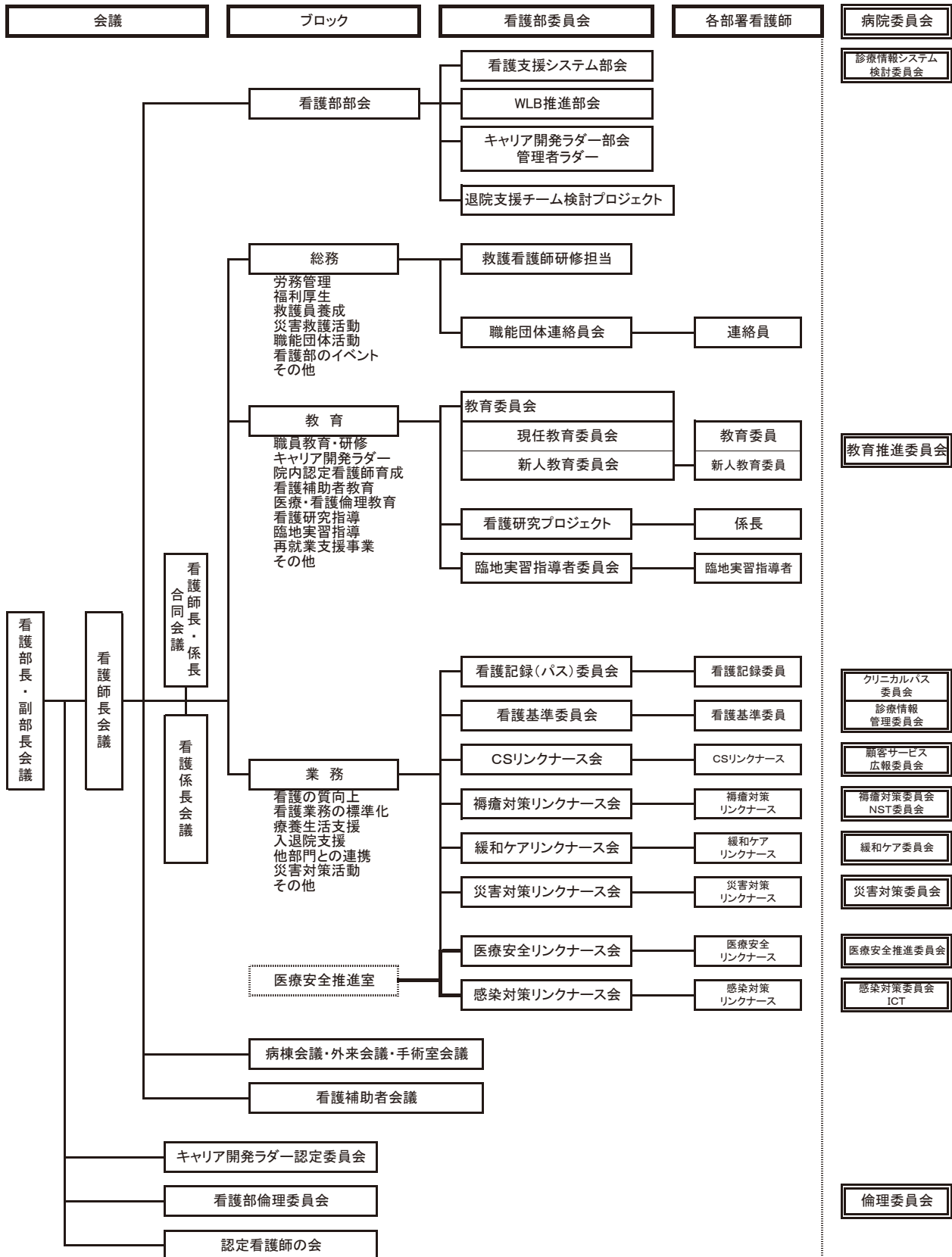
<平成28年度目標>

1. 管理機器における点検表の整備
2. 各臨床業務分野における知識・技術の向上

23. 看護部

(平成28年3月31日現在)

看護部長	會澤 英子				
看護副部長	渡邊 知子(業務担当)		高木 朝子(教育担当)		
所属別配置					
所属	看護師長		看護係長		
医療等安全推進室	阿部 美幸 (専任リスクマネージャー)		三浦 愛 (感染制御実践看護師)		
褥瘡管理者			佐藤 美絵 (皮膚・排泄ケア認定看護師)		
外来			菅野ひとみ		白岩 芳子 森谷 浩子 (がん化学療法看護認定看護師)
1号館2病棟 (外科・心外科・泌尿器科) 45床	笹木恵美子		小林 洋子		
1号館3病棟 (整形外科・眼科・皮膚科) 49床	安達 明美		武田 里美		
1号館4病棟 (内科・消化器科) 49床	菅野いづみ		車田 真美		
2号館2病棟 (精神科) 40床	伊藤美津子		柳田 美穂		
2号館3病棟 (産婦人科) 28床	玉上カツ子		石田 久江		
3号館4病棟 (脳外科・神経内科・耳鼻科) 49床	富田 仁子		小野ひとみ		成澤 裕美
本館3病棟 (外科・心外科・循環器科・麻酔科・平成27年7月からHCU6床) 31床	鈴木 佳子		吉田 和恵		奈良輪弘美
本館4病棟 (内科・消化器科・小児科・循環器科) 52床	斎藤 明子		鈴木 牧子		
手術室	岩崎 睦子		渡邊あゆみ		國分 花子
中央材料室			佐久間由美子		
医療社会事業部医療社会事業課	田畑 友子(課長)		高根 晴美		伊藤 和子
医療社会事業部社会課	野地 啓子(課長)		佐藤 利恵(所長)		
医療社会事業部訪問看護ステーション					
医療社会事業部居宅介護支援事業所					
医療従事者数内訳					
看護師 261 名	准看護師 8 名	助産師 16 名	保健師 5 名	看護補助者 45 名	
看護部(事務)					
主事			菅野八重子		



平成27年度看護部委員会・リンクナース会 部署メンバー表

平成27年4月1日現在

委員会・リンクナース会等	委員長	副委員長	メンバー	本3	本4	1-2F	1-3F	1-4F	2-2F	2-3F	3-4F	手術室	外来
--------------	-----	------	------	----	----	------	------	------	------	------	------	-----	----

総務【担当：岩崎師長】

看護看護師研修担当	岩崎師長												
職能団体連絡委員会	白岩係長	伊藤師長	渡辺厚子	渡辺由美子	赤坂怜奈	遊佐洋子	相良久美子	北原久美子	菅野宏美	吉田恭子	霜山千秋	渡辺久美子	
			柴田麻里絵	齋藤 駿	佐藤 壮	武田良平	八巻美沙	田村比呂美	石井伽奈	渡辺義文	宍戸美紀		

教育【担当：菅野(ひ)師長】

教育委員会													
現任教育委員会	石田係長	鈴木(牧)係長	渡辺梨沙	原田瑞穂	菅野陽子	橋内ゆき子	牧野江美子	佐藤良子	齋藤幸恵	渡辺純枝	根本聡美	野田江美	
新人教育委員会	柳田係長	武田係長	佐川奈美子	移川美穂	菅野勇勝	金内杏美	伊藤久美子	渡辺陽子	八巻 愛	神子美江	小野みさ子	佐藤要子	
看護研究プロジェクト	鈴木(牧)係長	石田係長	希望者										
臨地実習指導者会	小林係長	武田係長	薄 有紗	上竹八重子	村上あゆみ	渡辺ちひろ	野崎美砂	佐藤恵子	中村留美	橋川由理絵	今野歩美	安藤敦子	

業務1【担当：笹木師長】

看護記録(パス)委員会	小野係長	吉田係長	秋葉裕子	佐藤香菜	阿部香菜	田畑栄子	堀切智子	菅野 忍	橋 智寿子	星 翔子	宍戸美紀	佐藤美重子	
看護基準委員会	成澤係長	渡邊(あ)係長	佐藤里奈	佐藤明美	渡邊舞依	武田良平	菅野紗恵子	黒沢真由美	金子ゆかり	齋藤 藍	本田祐子	紺野みゆき	

業務2【担当：齋藤師長】

CSリンクナース会	國分係長	伊藤師長	志賀慶子	鈴木宏美	上杉 梢	渡部あけみ	加藤妃子	菅野 忍	田島真樹	佐野谷子	齋藤健一	佐藤典子	
褥瘡対策リンクナース会	武田係長	國分係長	船山重弓	齋藤 泉	佐藤祐子	石川利緒	保住朋美	根本智子	清野 薫	瀬戸雅子	齋藤未来	寺島真由子	
緩和ケアリンクナース会	車田係長	高野C N	國分朋子	小松真由子	渡辺みなみ	新藤宏美	館内美波	田村比呂美	菅野絵里	齋藤貴子		佐藤典子	
災害対策リンクナース会	奈良輪係長		田島一樹	高橋寛子	高野 都	菊地悠示郎	清和彩子	菅野麻衣	舟山由美	渡辺義文	鈴木直人	萩原暁美	

業務3【担当：各看護副部長】

医療安全リンクナース会	安達師長	奈良輪係長	長沢 恵	本多香織	鈴木晴香	布施美奈子	古山菜津美	佐藤裕子	野地静香	安在沙織	齋藤祐香	安田浩美	
感染対策リンクナース会	佐久間係長	三浦係長	松本典子	高橋健太	眞山美里	齋藤理恵	齋藤文子	神尾泰子	吉内絵美	三浦将克	本田賀絵	森田直子	

看護部管轄

看護補助者会議	富田師長	菅野(い)師長	五十嵐恵子	貝沼まゆみ	菅野絹子	紺野一彰	羽田真由美	高橋恵子	橋 麻紀	小手森佐智子	渡辺千代子		
認定看護師会	佐藤(美)係長	森谷係長	今野C N	高野C N									

看護部会

固定チーム推進部会	菅野(ひ)師長・笹木師長・齋藤師長	大槻里美	小林洋子	黒沢真由美	石田久江	成澤裕美	森谷浩子						
WLB推進部会	玉上師長	車田係長	今野C N										
看護支援システム部会	鈴木師長(リーダー)	成澤係長	國分係長	車田係長									
管理者ラダー部会	看護部長	看護副部長(2)	菅野(ひ)師長	玉上師長									
退院支援チーム検討プロジェクト	メンバー：看護部	地域連携室	訪問看護ステーション	居宅介護支援事業所									

* 開催日：第1(水) 電子カルテ移行に向けて病院委員会と連動する。
 * 管理者ラダーの運用を進める。
 * 急性期医療を機能するために退院支援・調整の検討を進める。

【平成27年度 看護部目標】

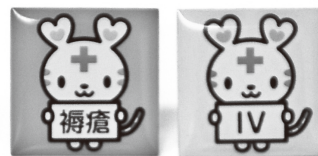
1. 看護の質の向上をめざしたチーム医療の推進
2. 効率的な病床運用
3. 適正な労務管理の実践
4. 看護要員の確保・定着
5. 能力開発の推進

【平成27年度 看護部実績】

1. 看護の質の向上をめざしたチーム医療の推進
皮膚排泄ケア認定看護師のストーマ・スキンケア外来に加え、がん看護認定看護師・緩和ケア認定看護師・糖尿病療養指導士、登録リウマチ看護師らが「看護外来・看護相談」を平成27年10月から開始し看護サービス提供に努めた。また委員会活動(緩和ケアリンクナースがチームラウンドに参加し、安全ラウンド・感染ラウンド)を通して、安全な医療・看護の提供と看護の質の向上を目指したチーム医療に努めた。
2. 効率的な病床運用
一般病床利用率86.8% (6.2%増)と目標値を達成した。救急患者搬送の増加に対応した。在院日数13.8(0.7減)となり効率的な運用ができた。
一般病床利用率・HCU利用率を上げるよう努力し運用していきたい。
3. 適正な労務管理の実践
看護管理システムを活用し、勤務表作成を実施している。週休・年休・夜勤回数・超過勤務時間等を部署ごとに把握し、看護部で病棟師長に個別に指導を行った。看護部超過勤務時間総数では、平成26年度と比較すると減少傾向にある。
4. 看護要員の確保・定着
新人看護師17名(目標値30名：確保率57%)退職者18名である。看護師数(297人)昨年より看護師数は減少している。人材確保のためインターンシップ(12名中採用5名)・看護体験・再就職支援(6名中採用2名)などを実施しているが、就職には充分結びついていない。
中央材料室の看護補助者の定着が困難、4名が入れ替わり退職し、病棟から配置換えを行った。また業務内容変更に伴い、業務整理をした結果、10月からメッセンジャー2名を1名にした。一般病棟7対1入院基本料・精神病棟13対1入院基本料、看護補助者加算50対1は継続することが出来た。現在1看護単位で、1名の看護補助者が16時間夜勤を行っているので、今後看護補助者を採用し、急性期看護補助者体制加算を取得できるようにしていきたい。
5. 能力開発の推進
今年度認定看護師(今年度救急看護、重症ケア、摂食嚥下障害看護の3領域で認定看護師資格取得)は、合計7名となった。また感染制御実践看護師の資格を1名が取得した。平成28年度は、認知症看護・脳卒中リハビリテーション看護認定看護師に研修予定である。
今年度の看護師実践者ラダー取得者(ラダーⅠは15名/合計120名・ラダーⅡは11名/合計50名・ラダーⅢは16名/合計23名)を計画的に育成した。院内認定看護師では、褥瘡院内認定者は15名/合計71名となり、IVインストラクターは13名/合計85名になる。学会等発表者は15名、学会参加者53名。看護協会ジェネラリスト研修受講者172名だった。看護管理者ファースト・セカンドレベル研修に各1名受講し修了した。

<平成28年度看護部目標>

1. 患者・家族が安心し納得した入・退院支援を推進する
2. 交代制勤務ガイドラインに沿った労務管理を実施する
3. 看護要員の確保・定着を図る
4. 看護実践力向上のため、能力開発を推進する



院内認定看護師(褥瘡・IV)ピンバッジ作成

1号館2病棟

1. 看護の質を向上させチーム医療の推進する為のクリニカルパス申請実施
「胸腔鏡下肺切除術(肺がん)パス」申請した。既存の「気胸手術」と「乳がん手術」「小児ヘルニア手術」のパスは運用しながら見直した。特に乳がんはリハビリテーション科・医事課と話し合いながら修正した。腹腔鏡下結腸切除術パスはほぼ完成し28年度申請予定した。看護部記録委員会の企画で医療・看護必要度の記録をパスに入れることに取り組んだが次年度の課題となった。
2. 効率的な業務改善を図る
昨年度に引き続き情報伝達がスムーズに出来るようにカードックス用紙の検討を行った。記録の重複を避け、見やすいようにチーム毎に工夫をした。上部と下部にわかれていた消化器外科手術の術前チェックリストを見直し1枚にした。物品管理では、点滴スタンドの定数管理を見直し管理しやすくした。
3. 退院支援を強化する
医療社会への依頼件数は22件増えて166件。そのうち43件で退院カンファレンスを実施した。医師の介入で紹介元の病院に転院するケースが増えた。
4. 安全な療養環境の提供のために、看護部安全リンクナース会のピクトグラム試験的運用の病棟に選ばれて実施した。
5. 職員個々の能力開発を行う
病棟の勉強会係が中心となって勉強会を7つ企画し実施した。キャリアの開発ラダー6名、褥瘡ケア認定看護師1名が認定。院外では皮膚創傷ケア認定看護師養成研修を1名修了した。
6. その他
登録スタッフによる「人工肛門造設術前処置加算」取得件数は15件であった。特例病床利用率は平均94.5%。病床利用率は27年度平均87.9%であった。

平成28年度 病棟目標

安心・安全な医療看護を提供し、早期退院に向けて支援を行います。

1号館3病棟

1. 安全を重視した病棟作り
平成27年度のヒヤリハット・アクシデント報告件数は、全部署中2番目に多かった。しかしアクシデント事例は昨年に引き続き0件であった。今年度は他職種とのヒヤリカンファレンスにも取り組んだ。後発薬剤に関連したヒヤリハットの発生もあり、薬剤師と情報共有し対策を考え再発防止に努めた。また転倒・転落発生時には、翌日に必ずリハビリ担当者対策を考え、同じ患者様が再転倒することを0件にすることができた。患者様の安全を他職種も交えてチームで考える習慣が身についた。
2. 受け持ち看護師の個性を重視した質の高い看護の提供
「挨拶カード」を導入し、患者様や家族との信頼関係の構築に努めたため、業務開始後の挨拶が定着した。受け持ち看護師としての自覚と責任が強まり、患者様との信頼関係も強くなった。患者様からも好評を得ることができ、看護満足度アップにも繋がったと考える。「看護の質向上」では、部署内研修会を9回実施した。知識の向上とアセスメント能力向上に努めた。
3. 働きやすい職場作り
12時間2交代勤務を継続している。遅番勤務の時間パターンを数種類に工夫することで、マンパワー不足の時間帯に人員配置することができ、C勤務の負担軽減を図ることができた。

平成28年度 病棟目標

丁寧な対応と報告・連絡・相談・指差し・声だし確認を行い、安全で安心な医療を提供します。

1号館4病棟

1. 受け持ち看護師を中心としたカンファレンスの計画的実施と継続
受け持ち看護師発信のカンファレンスは、全員行うことが出来た。内訳は、糖尿病や緩和ケア・退院支援などのケースカンファレンスが48%、転院や施設入所・在宅療養に向けての看護サマリーカンファレンスが52%だった。
2. 質の高い一貫した看護の提供を行うため、クリニカルパスの作成と見直し
PTCDとリウマチ生物学的製剤レミケード／アクテムラのパスを作成し、運用できた。
生物学的製剤は入院導入後、外来治療に移行するため、外来看護師と協同して行った。
3. 安全で安心して過ごせる療養環境作り
インシデント報告から、再発防止のためのカンファレンスを行い、共有した。
清潔ケアの充実と継続：マウスケア・モーニングケア・イブニングケアについて取り組み、効果をあげることができた。
療養環境の整備：ベッド周りの整理整頓・ポータブルトイレと尿器の管理・点滴架台と車椅子の管理・医療材料の管理に取り組んだ。
4. 個々の看護師の能力開発推進と病棟全体の看護力の向上
オープン研修は、腹水還元再注入療法を行った。また認知症についての外部研修伝達講習やがん終末期患者の退院支援に関して多職種による振り返り事例検討会などを行った。多職種からの意見や新たな評価から看護師の満足感につながった。緩和ケア事例については、2回院外発表する機会を得た。
キャリア開発ラダーⅠは4名・院内褥瘡認定3名・静脈注射院内認定4名取得する。

平成28年度 病棟目標

入院時から、退院後の生活を視野に入れた患者・家族参画のチーム医療を推進します。

2号館2病棟

1. 看護の質の向上をめざしたチーム医療の促進
固定チームナーシングの小集団活動を継続してきた。社会生活技能訓練(SST)は、資格取得者が4名増え計13名で活動した。認知症センターの開設後、認知症患者の入院が増えたため、個別性のある対応(PSW・薬剤師・栄養士・STを交えた)SSTのプログラムの一部を変更(認知体操を週1回・ラジオ体操を週5回・週1回のレクレーションの組み合わせの工夫)した。毎日のカンファレンスと週1回の合同(他職種)カンファレンスは100%と定着したことで、現在朝の申し送りは短縮できている。退院前訪問看護(11件)・退院後外来訪問看護実施率(98%)と高くなり、継続した看護が提供できるようになってきた。
2. 専門性の高い看護を提供する
ラダーⅡ同僚評価会1名にとどまっている。院内・外研修94.7%参加だった。今年度は認知症に関する勉強会に力を入れスタッフ全員で参加した。
3. 勤務体制
2交代制導入後、継続して看護師・看護補助者との協働業務の改善に取り組んでいる。

平成28年度 病棟目標

患者様の倫理的配慮のもと、快適な入院生活が送れるよう治療・看護を提供します。

2号館3病棟

1. 「助産師クリニカルラダー レベルⅢ」への申請
助産師がより自立した活動が出来るための「助産師クリニカルラダー レベルⅢ」の申請・取得において5名の助産師が日本助産評価機構に申請を行い、試験に合格し「助産師クリニカルラダー レベルⅢ」を取得し、「アドバンス助産師」の資格を得た。今後も他のスタッフが、申請・取得できるようにしていく。

2. 母乳育児の推進

支援の実施として、情報の共有とケアの継続を目的に昨年度内容を検討した「乳房管理表」を利用し、病棟・外来と継続してケアを実施している。昨年度と同様に、1か月健診時の母乳率は80%代を継続しており、効果的な支援が継続できている。

3. 外来看護の充実

ケースカンファレンス対象の患者情報については、リーダー会で定期的な情報共有を図っている。必要時、他部署や地域との連携し情報を共有している。

4. 妊婦のセルフケア能力を高める指導

妊婦自身が行える「ツボ療法」についてパンフレットを作成し外来で指導を実施している。今後も継続して妊婦自身が行えるように内容を更に検討していく。

5. その他

出前授業は、高校が1件、中学校が2件、小学校が1件実施できた。

平成28年度 病棟目標

安全・安心なケアの提供を目指します。

3号館4病棟

今年度は、固定チームナーシングにおける各々のチームで立案した目標を、そのまま病棟目標として設定する方法に変更した。そのため、チームメンバーのやりたい看護がみえるものとなり、自分たちの目標として愛着を持って取り組むことができた。その結果を以下の2つの視点でまとめる。

1. 看護の質向上に努める

日々の看護ケアの中で、清潔・食事・排泄の援助および離床のための移乗は、積極的に実施できた。また、マニュアル作成・人材育成・看護サービスアンケート回収方法改善は予定通りにできた。しかし、摂食機能訓練に関する勉強会の実施頻度が少なかったこと・転院の手順を家族に理解してもらうための方法作成・実施した身体ケアを看護記録に残すことについては、予定したゴールには届かなかった。

2. 安全な療養環境を提供する

患者の病状に応じて転室・転床やベッドの配置を工夫し、情報を共有して、患者個々に合わせた療養環境を整え、援助を実施した。転倒転落件数は前年度と同数、アクシデント数は減少した。日々受け持ち看護師の業務としていたオーダーリング入力とナースコールボード表示変更は実施できず、患者情報が適時に変更されていない場合があった。

患者の変化やケアを、家族に伝えることや看護記録に記載することで、実施した看護を表現していくことが今後の課題である。

平成28年度 病棟目標

「報告・連絡・相談」をしっかり行い、安全で安心な医療を提供します。

本館3病棟

1. 安全・感染対策行動を実施し、安全な看護を提供する

与薬注射時の確認動作の徹底・个人防护具着脱動作の徹底・ポジショニングによる褥瘡発生の減少・適切な転倒転落防止対策の立案実施・NPPV装着患者の口腔ケア方法の検討・倉庫内の5S活動に関して、病棟の係・各リンクナースを中心に、継続し定着化が図れるように実践した。

2. 患者に責任を持ち継続した看護を提供する

2カ月毎の症例検討会(退院支援・デスクカンファレンス・急変時対応患者等)の実施、週3回のケースカンファレンスを継続実施した。昨年より受持ち看護師としての意識の向上、責任を持って看護実践を行えるようになった。

3. 急性期医療・重症集中医療に対応できる専門的技術・知識の向上を図る

集中ケア認定看護師が1名誕生した。認定看護師を中心に、重症集中ケアを受ける患者の痛み・不穏・せん妄管理について知識を深めるため、今年度はPADガイドラインに沿った鎮静スケールを導入し使用開始した。また、人工呼吸器関連肺炎予防の為の取り組みを開始し、今年度は挿管チューブのカフ圧管理の現状を調査し、カフ圧管理を徹底していくようにした。

平成28年度 病棟目標

急性期医療・重症集中医療を要する患者に対し、安全な医療・看護を提供します。

本館4病棟

1. 多職種と連携し患者・家族参画の退院支援を行う

受持ち看護師が中心となり、一次カンファレンス・二次カンファレンスを行った。治療方針に沿って、患者家族の意向を確認し多職種と共に退院支援に取り組み、退院前合同カンファレンスを109件開催することができた。

2. 教育・研修に参加し専門性のある看護力を向上させる

- ・日本循環器学会、褥瘡看護学会に各1名参加
- ・部署内勉強会7回開催、急変時シミュレーション2回実施
- ・本4オープン研修「ペースメーカー植え込み術を受ける患者の看護」開催

3. キャリア開発ラダーを推進しスタッフの能力開発を行う

キャリアラダーレベルⅠが3名、レベルⅡが1名、レベルⅢが2名認定を受けた。IVインストラクター1名、褥瘡院内認定2名が認定を受け、赤十字救護看護師2名が新たに登録された。

平成28年度 病棟目標

多職種と連携した患者・家族参画の退院支援を行います。

外来

1. 患者・家族の満足が得られるよう、良質な外来看護を提供する。

- (1) トリアージ実施料の算定について医事課と話し合いを実施することで共有を図り、件数を増やすことができた。院内トリアージ実施料100点：外来627件（前年比40名増）
- (2) 救急認定看護師を講師に急変時シミュレーション(BLS)、災害時シミュレーション(DIG)を実施・評価できた。
- (3) トリアージの検証実施(119例)・急変及びCPA患者や電話問い合わせなどについての検討会(3例)を実施した。部署内研修では、「トリアージの基本」・「めまい」について救急認定看護師を講師に実施、スタッフ間で共有を図った。

2. 看護外来を運営、在宅療養を支援する。

10月より看護外来(看護相談)を開設、病院のホームページ掲載や院内ポスターを掲示アピールした。看護外来予約…がん看護(緩和ケア・化学療法)・糖尿病看護・呼吸器看護・リウマチケア・ストーマスキンケア

(1) 糖尿病患者のセルフケアを支援する。

毎週火曜日に1号館4病棟のカンファレンスに参加、外来でも生活指導に関わることができた。療養指導10件・フットケア算定3件、勉強会は6回開催、院外研修にも積極的に参加し知識の共有を図ることができた。

(2) 緩和ケアを必要とする患者家族の相談を受ける。

緩和ケア医師と緩和ケア認定看護師にてカウンセリングを実施、がん患者指導管理料1を74件算定することができた。痛みのチェックシートの活用方法を検討し、がん性疼痛緩和指導管理用料を7件算定できた。

(3) 関節リウマチ患者の相談、指導を実施する。

自己注射導入指導および指導後の実施調査を行い、ケア後の充実に繋げられた。1号館4病棟のスタッフと協働で、生物学的製剤導入時患者のクリニカルパスを作成し、3名に運用

することができた。関節リウマチ自己注射導入初期指導管理料15件算定できた。院外研修会にも積極的に参加、「自己注射指導の現場からみえてきたもの」をRA中を通りセミナーで発表した。

(4)慢性呼吸器疾患患者のケアと相談を行う。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師による在宅療養指導(CPAP指導6件・在宅酸素指導5件・加算外指導・吸入4件)実施した。

3. 個々のキャリアアップに努める。

(1)キャリア開発ラダーレベルⅢ 1名申請準備中。

(2)静脈注射インストラクター2名、院内褥瘡ケア認定看護師1名、赤十字救護看護師登録2名であった。

(3)インターベンションエキスパートナース(INE)1名・リウマチケアナース1名取得

4. 救急センター運営

「救急患者を断らないで受け入れ、ニーズに即した医療・看護を提供する」を掲げ、救急患者の対応を行った。27年度救急搬送患者は3,266名(前年比241名増加)の受け入れを行う。そのうち入院は、1,629名(前年比81名増加)であった。

平成28年度 部署目標

1. 患者、家族のニーズに即した医療・看護を提供します。
2. 看護の専門性を生かし、在宅療養を支援します。

手術室・中央材料室

1. 安全で質の高い手術を患者に提供する

周術期の体温管理の基準化を行うため、保温のためのブランケット等の検討や低体温予防のため病棟と連携した術前対策を提案し研修会の開催を行った。研修後低体温予防についての理解を深めることができた。

安全な器機・医療材料を提供するため、各係の在庫管理や点検、修理依頼等定期的に進めることが出来た。

2. 専門性の高い手術を提供するために自己の学習・自己啓発を積極的に行なう

昨年から再開された開心術については、全員が開心術の外回りに入るなど積極的に行い、マニュアルの完成となった。新たに機械だしを育成できるまでになった。今年度学会参加者1名、東北手術医学会研究会、看護協会研修など参加者率94%。院内研修の参加や勉強会開催など自己啓発に努めた。

3. 他職種と連携し、業務の安全性と効率化を図る

手術での褥瘡発生予防のため、皮膚保護材の使用が統一されてケアにあたる事が出来ている。今年度はME係をつくりME器機のリストアップ・管理マニュアルを一部作成した。手術室薬品、医療材料、器械等の補充や修理、点検を過不足なく行なっている。また在庫の定数を見直し、コスト削減を行なっている。

4. 安全な滅菌材料を提供する

鋼製小物のメンテナンス方法を知り、正しいメンテナンスができることを目標とし勉強会の開催を行なった。また研究会での発表を行うなど知識を深め業務に取り組んだ。

呼吸器洗浄器が導入され、今後呼吸器系洗浄物の中央化に向けて取り組む予定である。

平成28年度 部署目標

1. 専門性を高め、安全で質の高い手術を患者さまに提供します。
2. 安全な滅菌材料を提供します。

<平成27年度 新人看護職員研修>

入職時	職場に配属される前に病院の概要、赤十字の職員として必要な事項を学ぶためのオリエンテーション、研修を実施		
月/日	研修名	ねらい	備考
4/1~4/6	新規採用職員オリエンテーション	・赤十字と病院の概要について学ぶ	職員研修として実施
4/6~ 4/7	職員研修 院内感染対策の基本 看護部オリエンテーション 看護職能 団体について・提出書類等	・病院職員として感染対策の基本的知識と方法を学ぶ ・看護専門職として看護職能団体について知る	※中途採用研修未受講者 も含む 14時30分~各部署へ
4/7	看護部オリエンテーション ・看護部概要・看護方式(固定チーム ナーシング) ・新人教育体制とプログラム・看護倫 理・接遇	・職場に配属される前に看護部の概要と赤十字の看護職とし て必要な事項を学ぶ	
4/11	ACLS 職員研修	・看護職として救命処置法を習得する	職員研修として実施 ※研修未受講者も含む
4/	排泄ケア ~オムツの正しい当て方~	・排泄ケアの基本的知識を習得し、正しいオムツ交換を実施 できる	看護補助者参加研修 ※大王製紙協賛 ※どちらかに参加
5月~6月	安全管理や感染管理、基本的な看護技術の知識・技術を習得するための研修を実施		
5/8	勤務体制 ・夜勤の心得・巡視・患者不在時の対 応・薬品管理・報告等 キャリアパスについて	・当院の勤務体制について知り、夜間緊急時の対応について 理解する ・新人看護職員が仕事をし続けるために「WLB・キャリアパ ス」という視点を持つことができる	
5/14	静脈血採血と検体の取り扱い 血糖値測定とインスリン注射	・静脈血採血の基本的知識・技術を習得し、正しい検査結果 を出すための注意点と検体の取り扱いを学ぶ ・血糖測定とインスリン注射を安全に実施するための基本的 知識と技術を習得する	研修医参加研修
5/21	筋肉内注射 点滴静脈内注射	・筋肉内注射・静脈注射を安全に実施するための基本的知 識・技術を習得する	研修医参加研修
5/	食事援助と口腔ケア	・食事形態と栄養補給の方法について学ぶ ・摂食・嚥下障害者への食事介助の基本的知識と技術を習得 する	
6/4	吸引・酸素療法と 呼吸のフィジカルアセスメント	・呼吸管理の基本的知識・技術を習得する ・呼吸のフィジカルアセスメントを学び稀有に活用できる知 識・技術を習得する	研修医参加研修
6/11 6/18	医療安全シリーズ ① KYT・転倒・転落・チューブ抜去 アセスメント ② 放射線の検査に関する医療安全 医療機器に関する医療安全 ③ 薬剤(血液製剤を含む)・与薬に関 する医療安全	・安全な看護ケアを提供するため、医療安全 に関する基本的知識を習得する ・医療安全に関する意識の向上を図る	研修後課題レポート テーマ 「事故防止のために今、 私にできること」
6/24	膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	・尿道留置カテーテルの挿入と管理に必要な基本的知識・技 術を習得する	研修医参加研修 ※メディコン協賛
7月~8月	カルガモ研修期間が終了し独り立ちに向けて不安を強く感じる時期であるため、自信を持ち看護実践ができるようフォロー研修を実施		
7/2	3か月フォローアップ研修 ① 赤十字看護師として先輩の足跡を 知ろう、赤十字看護師の活動 ② 新人交流GW ③ セルフエスティーム ④ アロマセラピーでリラックス ⑤ 看護部長とのお茶会	・赤十字の基本理念である「人道」に基づいた活動の理解を深 めることで、赤十字活動の実践者としての意識を高める ・独り立ちに向けて不安を強く感じる時期であるため、自信 を持ち看護実践ができるようリフレッシュ、仲間との情報共 有する機会とする	※私服で研修参加
7/16	① 看護必要度と看護記録 ② スキンケアの基礎 ※褥瘡リスクアセスメントと褥瘡評価 を含む	・看護必要度に関する基本的知識を習得する ・正しい褥瘡アセスメントするため、スキンケアの基本的知 識を習得する。 ・正しいマットの使用方法を学ぶ	
8/5	急変時の対応 循環器・脳外科のフィジカルアセスマ ントも含む	・急変時の初期対応を学ぶ ・SBARを用いた患者の状態報告を学ぶ	

9月～2月	受持ち看護師として自立していく時期、独りでできる看護技術も多くなるため、技術・知識の確認を中心に研修を実施		
9/10	もう一度確認しよう 採血・注射の技術と知識	・採血・静脈注射の管理を安全に実施するための知識・技術を再確認する	※事前課題あり
10/20	患者がみえる看護記録 ※看護必要度も含む	・看護記録の基本原則、法的側面について再確認する ・看護必要度についての概要を知り、必要度と連動した患者が見える看護記録について学ぶ	※第1期 ローテーション研修の説明
10月～11月	第1期ローテーション研修	・配属部署だけでは経験できにくい看護技術を経験し、看護実践に必要な基本的知識、技術を習得する ・研修部署を自分で希望することで、他部署への興味関心を持ち、自部署を見直すことができる	※研修は平日2日間 事前アンケート実施
11/12	がん看護 化学療法を受ける患者の看護 がん患者の疼痛コントロールと看護	・がん看護に必要な基本的な知識を習得する ・看護の一場面を倫理的な視点で振り返ることで、倫理感性を高める	
2/12	終末期の看護とエンゼルケア	・終末期の看護やエンゼルケアに関する基本的知識を習得し、終末期にある患者・家族について理解を深める	
3月～6月	新人看護職員研修の修了に向けて課題を明確にし、2年目看護職として今後の目標が設定できるよう研修を実施		
3/10	受持ち看護師として役割の確認と振り返り	・1年間の看護実践を振り返り自己の成果と課題を明確にする ・次年度に向けて自己の目標、役割の確認	
5/23	人工呼吸器の基礎	・安全な呼吸管理と看護ケアを提供するために、看護に必要な人工呼吸器管理の基本的知識・技術を習得する	※事前課題ありどちらかに参加
6/17	ナラティブ発表会	・1年間の看護実践を振り返り、自己の看護観を深めるとともに今後の課題を明確にする	ナラティブレポート発表者へ新人看護職員研修修了書授与

<平成27年度 看護部現任・看護補助者教育研修>

研修会名	対象	ねらい	内容	講師・担当	日程	
		各部署の特徴的な疾患について学び、看護実践能力の向上及びケアの質の向上を図る 多職種と協働し研修を実施することで、チーム医療の推進を図る	1-4 オープン研修 腹水濾過濃縮再静注法について		8月25日	
			外來オープン研修 循環器センター初期治療心臓カテーテル治療を必要とする患者の看護		8月27日	
			本4 オープン研修 ペースメーカー植え込み術を受ける患者の看護		9月17日	
			1-2 オープン研修 急性腹症の病態生理と治療・腹部のフィジカルアセスメント		10月6日	
			手術室オープン研修 周手術期における体温・補液管理		11月9日	
			1-3 オープン研修 慢性腰痛について		11月26日	
			本3 オープン研修 急性期の鎮静について・RASSを用いた事例と看護		11月30日	
			2-2 オープン研修 うつ症状について一緒に考えてみませんか		12月2日	
			2-3 オープン研修 子宮内膜症と子宮筋腫の治療と看護		12月8日	
			3-4 オープン研修 神経内科領域における免疫療法		1月8日	
静脈注射の実際	レベルⅡ以上	静脈注射の実際 ※静脈注射インストラクター研修を兼ねる	静脈注射実施時の基本的な知識	がん化学療法看護CN 感染管理担当者	7月10日	
輸液管理の実際	レベルⅡ以上	輸液管理に必要な基本的知識を学ぶ ※静脈注射インストラクター研修を兼ねる	輸液の基礎と実際	大和田第1循環器内科部長	10月15日	
ブラッシュアップ研修	褥瘡ケア院内認定看護師	職場内で褥瘡ケアの推進者となるために必要な知識、技術を再確認するとともに情報共有する	弾性ストッキングについて	皮膚・排泄ケアCN 外部講師 がん化学療法看護CN 外部講師	6月22、29日 5月18日	
			CVポート管理の実際			
	看護必要度インストラクター	看護必要度評価の精度を上げる	看護必要度の正しい評価 ※各部署の職場内研修計画・実施	係長必要度支援チーム	7月16日	
継続看護	継続看護	レベルⅠ～Ⅲ相当	地域の現状を理解し、退院支援をするための知識と援助を理解する	在宅緩和ケアについて・当院より退院した事例を通して	訪問看護ステーション 所長 医療社会事業課長	次年度
教育・研究	ケースレポートのまとめ方	3年目・チームリーダー・係長	ケースレポートを研究的視点でまとめて発表し、フィードバックを受ける	ケースレポートの進め方① ケースレポートの進め方②	外部講師 鈴木係長 石田係長	11月6日 10月13～16日
	3年目事例発表	全看護職員	実践能力を高めるために事例をまとめ発表する	3年目の事例研究の発表	現任教育委員会	5月に予定
	看護研究	レベルⅡ～Ⅲ相当	研究の進め方を学ぶ	看護研究の進め方	外部講師	4月～
		全看護職員	看護の専門性を高め、看護ケアの向上を図る	看護研究計画書の発表 看護研究発表	石田係長 鈴木係長	次年度
	新人教育	プリセプター	新人の現状と今後の課題を共有する	当院の新人教育体制やプログラム、プリセプターの役割について学ぶ 6ヶ月の振り返り(新人・教育担当)の現状を共有し、プリセプターとしての今後の課題を明確にする プリセプターとしての1年間を振り返り、次年度への課題を明確にする	新人教育担当師長・係長	4月8日 10月23日 3月22日
倫理	看護倫理研修Ⅰ(基礎)	レベルⅠ相当	基礎的倫理知識を習得し看護現場における倫理的感性を磨く	倫理研修①(新人研修に含む) 看護場面をふりかえる	がん化学療法看護CN 緩和ケアCN	11月12日
	看護倫理研修Ⅱ	レベルⅡ相当	事例を通して倫理観を高める	倫理研修②事例検討	鈴木係長 石田係長	2月
	WLBについて	全看護職員 レベルⅡ～Ⅲ相当	看護専門職として働き続けるということ	WLBとは、当院の支援体制 自分のキャリアパスを書いてみよう	WLB推進委員会 看護部長	10月1日 10月2日
報告会	認定看護師活動報告会	全職員	活動実践報告を通して各認定分野の活動を周知しリソースシテの役割を果たす	平成25年度の活動のまとめ 緩和ケア認定看護師が認定を目指した動機、資格取得までの経緯	認定看護師の会	3月
	固定チームナーシング	看護職 看護補助者	1年間の小集団活動・成果発表		看護部	2月3月3日
トピックス	看護職 看護補助者	認定看護師から日々の看護ケアに必要な知識・技術を学ぶことで看護ケアの質向上を図る	誤嚥性肺炎を予防する為の口腔ケア	摂食・嚥下障害看護CN	1月14、19日	
			スクイーピングや体位ドレナージを用いた適切な排痰方法	慢性呼吸器疾患看護CN	1月15、28日	
看護補助者研修	看護補助者研修Ⅰ	看護補助者	基本的知識・技術を習得する	排泄ケアを行う上での基本的知識・技術を習得する	woc 院内褥瘡ケア認定看護師	4月20、21日
	看護補助者研修Ⅱ		医療安全の気さ知識(安全研修を含む)	看護補助者の業務範囲と当院の医療安全体制	専任リスクマネージャー	6月2、3日
	看護補助者研修Ⅲ		環境清掃と感染管理(感染研修を含む)	感染経路社団のための基本と環境清掃の基本的な視点方法を学ぶ	外部講師	9月28、29日
	看護補助者研修Ⅳ		口腔ケアに関する基本的知識を学ぶ	誤嚥性肺炎を予防する為の口腔ケア	摂食・嚥下障害看護CN	1月14、19日
	看護補助者研修Ⅳ	組織の中の看護補助者の役割	「喜ばれる看護補助業務」につなげるために ※3回同じ内容の研修	看護部長	3月17～24日	

24. 検査部

- 【部長】 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
【技師長】 菅野 和典(検査部技師長、臨床検査技師、認定輸血検査技師)
【課長】 峯 徹次(生理検査課長、臨床検査技師、超音波検査士)
酒井 克也(臨床検査課長、臨床検査技師)
【係長】 小林 利美(第1臨床検査係長、臨床検査技師)
佐藤 由峰(病理検査係長、臨床検査技師、認定一般検査技師)
大竹 利典(第2臨床検査係長、臨床検査技師、超音波検査士)
根本 浩(細胞診係長、臨床検査技師、細胞検査士)
森川 由美(第3臨床検査係長、臨床検査技師)
佐藤美千子(生理検査係長、臨床検査技師)
[臨床検査技師] 八島亜由美、吉田 憲治、相楽 孝行、石川 梓(細胞検査士)、
氏家 洋幸(消化器内視鏡技師)、丹野麻木子、中田 悠希、
酒井 絢香、菊池麻衣子、鹿野 智美、幕田 高平、佐々木一美(臨時)、
渡辺みどり(臨時)
[検査助手] 猪狩 利恵、渡部 千夏、石井美和子

<平成27年度実績>

1. 検査件数

(1)一般検査	入院	7,066件	外来	24,261件
(2)血液検査	入院	45,575件	外来	69,699件
(3)生化学検査	入院	222,568件	外来	501,940件
(4)免疫検査	入院	28,993件	外来	54,896件
(5)微生物検査	入院	3,521件	外来	3,063件
(6)病理検査	入院	1,830件	外来	3,942件
(7)生理検査	入院	3,693件	外来	20,663件

2. 参加学会・研修会名一覧

- (1)第24回ふくしまエコー研究会
- (2)尿検査フォーラム2015
- (3)中外eセミナー
- (4)第40回日本超音波検査学会
- (5)Colorectal cancer meeting in Fukushima
- (6)第64回日本医学検査学会
- (7)第47回福島医学検査学会
- (8)平成27年度生涯教育研修会
- (9)第63回日本輸血・細胞治療学会
- (10)第10回福島県消化管フォーラム
- (11)第39回福島県消化器治療内視鏡研究会
- (12)県北細胞診勉強会
- (13)平成27年度日本赤十字社臨床検査技師業務研修会
- (14)平成27年度日臨技北日本支部病理部門研修会
- (15)アークレイ臨床検査セミナー2015仙台
- (16)第43回東北赤十字臨床検査技師会研修会
- (17)第9回福島ウイルス肝炎研究会
- (18)第155回日本消化器内視鏡学会東北支部例会

- (19)平成27年度日臨技認定センター認定病理検査技師講習会
- (20)第31回福島県消化器内視鏡技師研究会
- (21)平成27年度第2回県北細胞診勉強会
- (22)平成27年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会
- (23)検体採取に関する厚生労働省指定講習会
- (24)平成27年度北日本支部臨床一般部門研修会
- (25)日本臨床検査自動化学会第47回大会
- (26)JACLaS EXPO 2015
- (27)感染制御部門微生物ウイルス検査分野疫学検査分野合同研修会
- (28)第51回日本赤十字医学学会総会
- (29)福島県IL-6講演会
- (30)第36回日本臨床細胞学会福島県支部総会並びに学術大会
- (31)いむーの技術部セミナー2015
- (32)Academy of imaging ワークショップ
- (33)ABBOT FAIR 2015
- (34)第23回福島県臨床検査精度管理調査事業報告会並びに学術講演会
- (35)第5回南東北臨床神経生理セミナー
- (36)臨床心電図セミナー福島
- (37)第5回南東北病理技術研修会
- (38)平成27年度病理検査精度管理フォローアップ研修会
- (39)第97回光が丘心エコー症例検討会
- (40)平成27年度第3回県北細胞診勉強会
- (41)甲状腺超音波検査更新研修会
- (42)生理機能検査部門神経機能分野研修会
- (43)福島県臨床検査技師会循環機能検査研修会
- (44)Next TV symposium 2016
- (45)平成27年度福島県血液検査分野・染色体検査分野合同研修会
- (46)第27回臨床微生物学会総会学術集会
- (47)Lymphoma Seminar in Fukushima
- (48)福島県臨床検査技師会生理・呼吸機能検査研修会
- (49)第350回福島消化器病研究会
- (50)Next TV Symposium 2016
- (51)平成27年度福島県一般検査部門一般検査分野研修会
- (52)日本超音波医学学会第51回東北地方会学術集会
- (53)平成27年度第4回県北細胞診勉強会

3. 学会・研究会発表

氏名	石川 梓
期間	平成27年6月12日
場所	島根県松江市
学会・研究会名	第56回日本臨床細胞学会総会(春期大会)
演題名	穿刺吸引細胞診にて推定しえた乳腺管状癌の1例

氏名	峯 徹次
期間	平成27年10月3日
場所	福島県福島市
学会・研究会名	福島県IL-6講演会
演題名	関節リウマチ治療におけるIL-6阻害療法の意義について

氏名 峯 徹次
 期間 平成27年10月14日
 場所 北海道北見市
 学会・研究会名 第51回日本赤十字社医学会総会
 演題名 心臓超音波検査時の腹部大動脈瘤評価の有用性について

氏名 吉田 憲治
 期間 平成27年7月17日
 場所 兵庫県神戸市
 学会・研究会名 第18回日本臨床脳神経外科学会
 演題名 経頭蓋電気刺激運動誘発電位モニタリングにおける偽陰性を避けるための至適刺激強度の検討

＜平成28年度目標＞

- (1)各学会・研修会への積極的参加
- (2)臨床への迅速かつ正確な検査データの提供
- (3)臨床・コメディカルとの連携強化
- (4)認定技師取得を目指す技師へのサポート
- (5)検査の効率化とコスト削減

25. 医療社会事業部

【部長】 宮田 昌之(副院長 兼 医療社会事業部長)

医療社会事業課

【課長】 田畑 友子(医療社会事業課長)

医療社会事業係

【係長】 高根 晴美(医療社会事業係長、認知症疾患医療センター専従看護師)

[精神保健福祉士] 菅野 直樹(MSW)

[社会福祉士] 丸山 絢子(MSW)、宍戸 絵美(MSW)

＜平成27年度実績＞

患者のかかえている問題に対してMSWが対応した件数は下記の通りであった。介護の問題等、退院を困難にする生活上の要因を持つ入院患者が多く、介護・療養生活上の問題への対応が例年同様多かった。患者家族のもつ問題解決のために、院内多職種との協働、また地域の医療機関・福祉・介護スタッフとの連携を密に持ち、合同カンファレンスの開催や地域ケア会議等への参加も積極的に行った。合同カンファレンスについては、かかりつけ医や訪問看護師等医療者参加のカンファレンスは減少したが、ケアマネージャー参加のものが増加しており、医療のみではなく、介護や福祉への連携を必要とする患者の増加がうかがえる。

*対応ケース実人数…1,467名(延べ相談件数4,401件)

*対応した問題…家族関係及び家族が抱える問題	7件	介護・療養生活上の問題	928件
経済に関する問題	21件	日常生活上の問題	10件
就労・職場の問題	2件	教育の問題	1件
医療の確保に関する問題	307件	人権に関わる問題	1件

心理・情緒的問題 6件

制度活用に関する問題 160件

その他 24件

- * 退院に関するもの…他の病院転院 463件(+28)
 (連携パス利用:脳卒中196件 大腿骨頸部骨折74件)
- 施設入所 251件(+20)
- 自宅退院 573件(-7)
- * 合同カンファレンス…退院時共同指導 74件(-72)
- 介護支援連携指導 348件(+52)

「認知症疾患医療センター」については、センター長が後藤精神科部長に変更となったが、前年度に開催できなかった研修会や10/16には地域包括支援センターとの情報交換会を開催し、また行政や医師会等主催の会議参加を通してセンターへの期待や役割を確認することができた。

認知症疾患医療センター対応件数

外来件数 1,252件 鑑別診断件数 157件
 相談件数 299件(電話 222件、面接 77件)

<平成28年度目標>

ていねいな面接と院内他職種との協働、地域の関係医療・福祉・介護スタッフとの連携に心がけ、患者が安心して当院の診療を受けながら住み慣れた当地域で過ごすことができるよう支援する。特に、退院支援に関しては、必要な患者に早期から関わり、方針を決定して支援することで、適正な入院期間で退院できることを目指す。

認知症疾患医療センターについては、地域との連携を密に持ち、地域のニーズに応えられる体制を築くことを目標とする。

地域医療連携係・地域支援係

- 【係長】 伊藤 和子(地域医療連携係長)
- 富田 夕紀(地域支援係長)
- 【事務員】 高田 淳子

<平成27年度実績>

年度はじめに、院長とともに県北地域にある170件の医療機関への訪問活動を行った。多くの医療機関と日頃の連携について確認できたものの、紹介救急患者のさらなるスムーズな受け入れに対する要望等も聞かれた。

平成27年度は662の医療機関等より総数8,541件(前年度比+296件)の紹介があり、そのうち紹介率算定対象である初診の紹介件数は6,137件(前年度比+277件)と増加し、紹介率も74.9%(+3.5%)とアップした。また、逆紹介については、568の医療機関等へ総数5,735件(+493件)を逆紹介しており、逆紹介率は74.0%(+10.2%)であった。月毎にみても紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の基準値を上回っており、安定した数値の経過であった。紹介・逆紹介上位の医療機関は下記の通りである。

紹介			逆紹介		
1	福島県立医科大学附属病院	365件	1	福島県立医科大学附属病院	302件
2	福島県保健衛生協会(二次検診)	314件	2	わたり病院	272件
3	わたり病院	203件	3	北福島医療センター	234件
4	おがたクリニック	203件	4	大原総合病院	213件
5	北福島医療センター	182件	5	あづま脳神経外科病院	137件
6	むつみ脳神経・耳鼻科クリニック	163件	6	済生会福島総合病院	111件

7	大原綜合病院	156件	7	南東北福島病院	90件
8	さくま内科クリニック	151件	8	南東北医療クリニック	87件
9	児玉胃腸科内科	136件	9	福島寿光会病院	77件
10	まつもと脳神経・内科クリニック	126件	10	公立藤田病院	73件
11	うめつL S内科クリニック	122件	11	掛田中央内科	70件
12	大山クリニック	110件	12	福島中央病院	69件

共同利用については、CTは10医療機関より計217件(前年度比+11件)、MRIは20医療機関より計184件(-13件)、脳波は4医療機関より51件(+2件)、関節エコーは2医療機関より12件(-3件)、骨塩定量は2医療機関より9件(-1件)であった。また、開放病床の利用率は23.7%(-25.7%)で、共同診療の実績は1件(+1件)であった。CT・MRI共同利用の上位の医療機関は下記の通りである。

CT			MRI		
1	さくま内科クリニック	97件	1	いわた整形外科	82件
2	さとう日出夫整形外科	42件	2	ライフ・ナビクリニック	32件
3	村上耳鼻科	41件	3	わたり病院	22件
4	ライフ・ナビクリニック	29件	4	西口クリニック婦人科	11件
5	のだまち胃と腸のクリニック	2件	5	福島松ヶ丘病院	6件
5	北町丹治医院	2件	6	おがたクリニック	5件

地域医療従事者研修会は、院内各部署や委員会等で主催して行う職員研修と共同して実施するものが多かった。実績は下記の通りであった。

	研修日	研修名	講師	院外参加者数
1	7/2 19:00~20:00	緩和ケアリンクナース研修会 ～がん性疼痛緩和の実践的アプローチ～	Webセミナー 塩野義製薬株式会社	16名
2	7/22・23 17:30~19:00	循環器疾患の救急対応 ～循環器センターホットラインについて～	循環器科：大和田尊之 心臓血管外科：五十嵐 崇	救急隊 72名
3	7/22 19:00~20:00	糖尿病勉強会	仙台赤十字病院 糖尿病代謝内科部長： 宮口 修一 先生	2名
4	8/21 17:15~18:00	血管内留置カテーテル関連 感染予防対策	感染管理認定看護師 山城 裕子	10名
5	10/1 17:30~18:15	クロストリディウム・ディシフィルについて	内科：寺島 久美子 薬剤部： 緑上 淳一 感染制御実践看護師： 三浦 愛	13名
6	10/7・12/11 17:30~18:30	超高齢社会と認知症	精神科： 後藤 大介	38名
7	10/8 17:30~18:15	医療安全とコミュニケーション「SBER」	専任リスクマネージャー： 阿部 美幸	8名
8	10/28 18:30~19:30	高齢入院患者における不眠対応の実践 ～せん妄対策も含めて～	Webセミナー 静岡県立静岡がんセンター	1名
9	11/17 17:15~18:00	輸血講演会	福島県赤十字血液センター： 渡邊 範彦 氏	3名
10	11/18 18:30~19:30	笑い和生活習慣病について ～笑いとストレス解消！生活習慣病予防！～	福島県立医科大学 疫学講座： 大平 哲也 先生	96名
11	12/4 18:10~18:40	インフルエンザ・ノロ対策	ファイザー株式会社： 島 功二 先生	13名
12	12/18 17:30~18:30	認知症の正しい理解	星ヶ丘病院 認知症看護認定看護師： 田辺 晃子 先生	17名
13	2/29 17:30~19:00	化学療法を受けている患者さんへの緩和ケア について	がん化学療法看護認定看護師： 森谷 浩子 がん薬物療法認定薬剤師： 渡邊 寿康	18名

地域の開業医等とより良い連携がとれる関係づくりを目的として「地域連携懇話会」を11/18にホテル辰巳屋にて開催した。院外からは登録医をはじめ、日ごろ連携している医療機関の医師、老人保健施設の施設長、各病院の地域連携担当者等96名、当院の医師・看護師長等76名の参加があり情報交換を行なった。

<平成28年度目標>

1. 地域医療支援病院としての役割を果たす。
 - (1) 紹介・逆紹介を推進する。
紹介率・逆紹介率の維持
 - (2) 研修会を開催し、地域の医療のレベルアップに寄与する。
 - (3) 地域医療支援委員会を開催し、地域の中での当院の課題を明らかにして対応に生かす。
2. 紹介患者のスムーズな受け入れに心がける。
 - (1) 紹介患者受付コーナーでの受付を継続する。
 - (2) 可能な限り予約での来院をうながす。
3. 返書管理を徹底する。

社会課

【課長】 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長 兼 健診係長)

社会係

【係長】 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長 兼 健診係長)

<平成27年度実績>

1. 救護活動

常備班8班の整備・救護員の登録・災害救護連絡体制の整備・3回目となる任命式を実施した。任命式の参加状況は、新規救護員33名中20名、常備班44名中22名の参加であった。訓練参加実績については以下の表にまとめる。

救護班

日程	訓練名	場所	参加状況
7月11日	福島県支部合同災害救護訓練	福島県支部	61名
8月30日	福島県総合防災訓練	南相馬市	救護班1班
9月29・30日	第1ブロック訓練	郡山市	救護班2班 訓練スタッフ15名
10月24日	市総合防災訓練	信夫中	救護班1班
10月21日	県石油コンビナート防災訓練	広野町	救護班1班
11月28日	県原子力防災訓練	三春町	救護班1班

DMAT

日程	訓練・研修	場所	参加状況
8月22・23日	技能維持訓練(H27、1回目)	新潟県	4名
9月1日	福島SCU訓練	福島空港	3名
10月3～4日	東北ブロックDMAT参集訓練	岩手県	5名
1月16～17日	技能維持研修(H27、2回目)	仙台市	5名
1月25～27日	日本DMAT隊員養成研修	東京立川	5名

2. 東日本大震災復興支援活動

県内各地の仮設住宅訪問「赤十字にこにこ健康教室」に健康生活支援講習指導員の中から7か所に1名ずつ派遣した。また「ヒューマンケア心の絆プロジェクト」イベント2か所に看護師・保健師協力員4名派遣、「全国ボランティアフェスティバルふくしま」(郡山)に健康生活支援講習指導員を1名派遣した。

3. 地域住民への赤十字広報活動

5月の「赤十字月間と看護の日」のイベントは5月12日に玄関ホールで実施した。糖尿病相談・禁煙相談・お薬相談・ハンドトリートメントサービス・骨密度測定・乳がん自己チェックの方法・栄養相談・AED講習会・健康食品試飲紹介などを看護部が中心となり実施し、外来患者や入院患者が訪れて盛況に行われた。社会課は健康チェックに参加した。

地域での医療講演会は6月5日会津坂下町で「脳卒中を予防するために」神経内科部長中村医師、6月22日保原市民センターで「気を付けて欲しい血管病のお話し」を心臓外科副部長五十嵐医師に、9月9日金山町で「知っておきたい認知症の話」を精神科部長後藤医師が実施した。院内では11月30日「放射線と甲状腺」を医大教授大津留医師が市民32名に講演した。

赤十字講習会は、健康生活支援講習3日間コースを4回実施し、29人が受講した。短期講習は1回5名、救急法は1回20名の受講があった。

4. 地域学校の福祉教育協力

中学生の職場体験受け入れは、6つの中学校から20名、のべ19日間実施した。5日間コース5校、1日間コース1校で、5日間のコースは11部署の訪問体験を実施し、充実した体験ができた満足した感想であった。また、初めて東稜高校看護科1年の学生のボランティアを8月10～12日の3日間にわたり4名受け入れた。その他にも高校1年生の職場インタビュー1名、第三小学校3年生10名の見学学習を受け入れた。

5. 病院ボランティア活動

外来玄関ホールでの案内や世話を月曜日～金曜日の午前中実施している。会員は21名で、今年度は入会2名、退会2名であった。病院からはボランティア会総会参加と祝い金贈呈、年1回健診実施、赤十字手帳配布を無料で行っている。会員の院内研修参加については、手洗い・マスクのかけ方研修を1回実施した。また、3月の院内災害訓練の患者役に7名参加していただいた。院内絵画ボランティアは新メンバー1名が加わり、年間7回、患者様へ季節感を届けるような絵を選び、掛け替えている。

6. 患者慰安行事

定例の全日空スズラン贈呈(6月3日)、大波学園と太陽学園のハンドベルコンサート(12月10日)が行われ、入院外来患者様に喜ばれた。また、昨年からの玄関ホールでの演奏を届けている「musicanti 音蔵詩」によるクリスマスコンサートが12月24日に行われた。他に新潟敬和学園から児童書10冊のクリスマスプレゼントがあり、職員11名参加のキャンドルサービスとハンドベルを病棟の廊下で披露した際に子供たちにプレゼントした。また2月に福島キワニスクラブよりキワニスドール30体と児童書79冊が小児科に贈呈された。

<平成28年度目標>

1. 救護：主事の育成を継続(主事研修2回目の実施)
救護資材を運びやすくするためのバッグの検討
2. 健康生活支援講習の充実(短期講習会の実施と派遣、使用資材の整備)

健 診 係

[係長] 野地 啓子(社会課長 兼 社会係長 兼 健診係長)

[保健師] 渡辺 由佳、赤間 由美

[事務員] 渡辺真由美、遠藤 京子、美野 陽子

<平成27年度実績>

	平成26年度	平成27年度	対前年度比
人間ドック	193人	206人	+13人
政一般・政付加	1,091人	1,095人	+4人
福島市民検診(項目数)	2,249件	2,832件	+583件
一般健診	812人	812人	±0

健康診断	220人	135人	- 85人
特定健診	399人	280人	- 119人
健診収益	67,103,796円	77,768,607円	+ 10,664,811円
保健指導 人数	37人	134人	+ 97人
収益	196,314円	992,415円	+ 796,101円
放射線内部被ばく検査 人数	831人	657人	- 174人
収益	2,080,500円	1,644,500円	- 436,000円
甲状腺検査 人数	0人	184人	+ 184人
収益	0円	1,609,880円	+ 1,609,880円

平成27年4月より月ごとの実績をまとめて業務連絡会議で収益を可視化した。昨年度に比べ約1,000万円増収することが出来た。増収した要因は、保健指導同日型実施を開始したことで単価が増額したこと、保健指導を保健師2名に増員したことで件数が増やすことが出来たこと、勧誘用紙を作成し企業へ配布・個人の予約時に声掛けしオプション検査が増えたこと、年度前に関係部門の協力を得て、枠数の拡大をすることが出来たこと、1月～3月の健診の少ない時期に職員料金の検査項目を設けて実施したことなどが挙げられる。

健診の質向上は保健指導の充実が挙げられるが、他にも国保ドックの子宮がん検診を院外の西口クリニックから当院で行えるようになったこと、また健診終了後に検査結果を確認して要医療の範囲の方のみ保健師による検査結果の説明を開始した。健診の待合に健康についてのパンフレットを置き健康情報を広めることに努めた。健診の採血場所を1か所から2か所に増やし、待ち時間の短縮に努めた。

<平成28年度目標>

1. 件数の増加はほぼ達成できたため、今後は内容の充実を図りリピーターを増やしていきたい。検査終了後の異常値の方へ保健師による説明の実施、待ち時間の短縮のため順番を工夫するなど、スタッフと話し合いながら進めていく。件数としては1日に人間ドッグを2件、胃カメラ10件を目標に実施していきたい。
2. 新規の受診者獲得のためPRを実施していく。健診用のカラーパンフレットを作成し、地域連携病院や近隣の企業、病院職員退職者会などへ広めていきたい。



26. 事務部

【部長】 緑川 茂樹(事務部長)

総務課

【課長】 野田 誠(総務課長)

【係長】 國分 秀俊(総務係長 兼 人事係長)

[主事] 安田美喜子、村上 尋美、高田日出子(医師事務作業補助担当)、日色沙緒里

[事務員] 廣野 登(嘱託)、小沼あゆみ、吉田 亜樹、横山 碧

(医局担当)大原有香梨、川井茉奈美

(医師事務作業補助担当)齋藤 美和、樋口 由紀、大橋 千春、山岸 優子、

菅野 香子、鈴木 幸子、木村 仁美

<平成27年度実績>

1. 人材確保

(1. 看護師)養成学校への訪問や説明会・インターンシップ・潜在看護師支援事業を開催し人員確保に努めた。

(2. 薬剤師、各種医療技術職)実習及び見学等を積極的に受入し関係部門とともに人材確保活動を実施。

(3. 臨床研修医)臨床研修プログラム委員会を中心とした指導医の尽力と他職種研修医教育体制との連携強化により、医学生への病院説明会・見学会の開催、院外ガイダンス等での募集活動を行った結果、3年連続でのフルマッチ採用となった。

2. 障害者雇用の継続確保：法定雇用対象職員の雇用を継続している。

3. 医師・看護師負担軽減支援体制の推進：各診療科と支援業務内容の見直しおよび連携強化に努め、支援体制の充実を図っている。

4. 行事、イベント：県北保健所病院立入検査をはじめ各関連機関調査等にかかる事務全般を担当。病院名称、診療科名称、病床数変更に伴う開設者届出関係を含む各関係機関への変更事務手続きを実施。マイナンバー制度の導入にかかる院内外対応を開始。第51回日赤医学会(北海道北見開催)、第15回全国スポーツ大会(岐阜開催)、第18回東北ブロック赤十字病院球技大会(盛岡開催)への職員参加にかかる事務連絡調整を行った。院内災害訓練や赤十字ふれあいまつりをはじめイベント運営に関し参加及び協力した。講堂で開催される年間の各種研修、勉強会、講演会の会場設営等への対応を継続的に行っている。

<平成28年度目標>

1. 業務の改善、効率化

2. あいさつと迅速な対応、処理

3. 報告・連絡・相談による情報共有

4. 人事及び労務管理の推進、強化

5. 人事給与統一システムの円滑な稼働

6. 医師・看護師負担軽減支援体制の強化

7. 職員福利厚生事業の推進

【課長】 松本 修(企画課長)

【新病院建設準備室長】 糸魚川真悟

【係長】 野地 幸次(企画係長)

【主事】 野崎 謙司、相澤真理子、二階堂雄平、山名慎一郎(兼 会計課)

<平成27年度実績>

1. 電子カルテ化(平成30年予定)を見据えたシステム拡張の検討
(フルオーダ化に向けた追加オーダの導入準備、SOAP形式による医師記録のシステム記載開始、内視鏡・エコー等のレポート類の電子化など)
2. 部門システムの更新(介護事業者支援システム)
3. 診療・院内業務における運用の課題抽出・改善活動
(紹介患者画像取込運用、読影運用の効率化、院内業務日誌の開発など)
4. 地域連携システム「キビタン健康ネット」(福島県医療福祉情報ネットワーク協議会)、
地域連携システム「福来たネット」(福島市医師会)導入に向けた運用検討及び調整
5. 院内のシステム用掲示板の機能拡充、診療共有フォルダ整備による院内情報の共有化推進
6. 医療情報システム全般のメンテナンス、障害・QA対応、ウイルス対策や運用改善活動の実施
7. 病院祭「第3回 ふれあいまつり」(平成27年11月14日開催)の企画・調整
8. 病院ホームページの管理・更新、病院広報誌「日赤通り(広報版・院内版)」の発行及び
Facebookを利用した情報発信の運用を開始
9. 各部門へのヒアリングの調整、実施

<平成28年度目標>

1. 地域連携システム「キビタン健康ネット」及び「福来たネット」のスムーズな運用、活用の推進
2. 電子カルテ移行へ向けた態勢の構築及び準備の検討
(外来電子カルテ化の推進、フルオーダ化に向けたオーダ種追加検討(注射、手術、麻酔、処置等)、看護支援業務における電子化の推進等)
3. 部門システム更新・統合の推進
(院内院外紹介状管理のシステム統合による効率化推進、動画像システム更新及びネットワーク統合、文書管理システムの導入等)
4. 新病院におけるシステム・ネットワークインフラの設計・検討
(院内ネットワークの設計・検討、端末配置計画、インフラ機器との連携範囲策定等)
5. 院内のIT資産の適正な管理、ウイルス、マルウェア等の脅威に対するIT情報資産の管理強化
6. 病院ホームページ、病院広報誌「日赤通り(広報版・院内版)」、Facebook等を利用した情報発信
7. 医療情報システムデータの分析による課題抽出と経営改善活動の推進及び医療の質向上に向けたデータの分析

新病院建設準備室

【新病院建設準備室長】 糸魚川真悟

【係長】 野地 幸次(企画係長)

【主事】 相澤真理子

<平成27年度実績>

1. 新病院基本設計・実施設計の検討、実施
・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)について、株式会社日建設計と新病院の基本設計・実施設計について検討、実施。工事費の高騰に伴い、実施設計の変更を実施。

2. 開発行為許可申請等新病院建設に関する手続きの検討、実施
 - ・開発行為許可申請(平成27年12月25日 福島市)、許可(平成28年1月8日)。
 - ・私費工事承認申請(平成27年12月14日 福島市)、承認(平成28年1月27日)。
3. 新病院移転予定地造成・道路拡幅工事の施工業者の選定、工事着工、土地取得等の手続き
 - ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)に係る造成工事・周辺道路等工事について、検討を進め、一般競争入札(平成27年10月30日)により、佐藤工業株式会社と工事請負契約を締結(平成27年11月2日)。
 - ・開発行為承認(平成28年1月8日 福島市)後、工事を着工(平成28年1月12日)。
 - ・周辺道路等工事に隣接する土地について、不動産売買契約(平成27年11月30日)により土地(福島市八島町116番1の一部他)を取得。
 - ・同じく土地交換契約(平成28年1月22日)により土地(福島市八島町118番2)を取得し、土地(福島市八島町106番3他)を処分。
4. 新病院建築施工業者の選定
 - ・福島赤十字病院施設整備事業(移転新築工事)の施工業者(空調設備工事は別途)の選定について、日本赤十字社本社により、一般競争入札の公告(平成28年3月1日、4月28日入札)を実施。
 - ・空調設備エネルギーサービス事業(空調設備工事及び保守・管理業務等)について、検討。
5. 新病院建設ワーキンググループでの検討、建設準備委員会・建設委員会の開催
 - ・新病院の基本設計・実施設計の検討のため、新病院建設ワーキンググループ(全17部門)を開催。
 - ・各部門代表者を中心とした建設準備委員会を開催(開催11回)。
 - ・外部委員を含めた建設委員会(委員9名)を開催(開催1回：平成27年12月1日(火))。
6. 新病院建設に関する説明会の開催
 - ・新病院建設について、住民説明会(第2回)を開催(平成27年7月4日(土)、参加者70名)。
 - ・新病院建設・経営改善について、職員説明会を開催(開催3回)。
7. 地盤調査の実施
 - ・新病院移転予定地の追加地盤調査(ボーリング調査：2箇所)を実施(平成27年6月10日～6月18日)。
8. 医業経営コンサルタントとの打合せ、定例会の実施
 - ・新病院建設、経営改善についての検討のため、医業経営コンサルタント(シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社)との打合せ、定例会を実施(定例会開催13回)。
9. 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
10. 新病院建設に関する広報の推進
 - ・新病院建設の院内向け進捗状況報告のため、新病院建設準備室だより「ShinKenだより」の発行(4号発行)、病院広報誌「日赤通り」への記事掲載。
11. その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

<平成28年度目標>

1. 新病院実施設計の検討、実施
2. 新病院移転予定地造成・道路拡幅工事の実施、関連調査の実施、土地取得等の手続き
3. 新病院建築施工業者の選定、移転新築工事の着工
4. 新病院運用計画の検討
5. 新病院建設に関する手続きの検討、実施
6. 医療機器整備計画の検討
7. 福島県、福島市、本社、支部等関係機関との協議
8. 新病院建設に関する広報の推進
(新病院建設準備室だより「ShinKenだより」の発行、病院ホームページへの掲載等)
9. その他新病院建設に関する対応(報道、業者対応等)

会計課

【課長】 遠藤 新一(会計課長)

【係長】 佐藤 恵子(経理係長)

[主事] 大内 裕子、阿部 宣子、野地 美佳、山名慎一郎(兼企画課)

[事務員] 古川 由美

<平成27年度実績>

1. 平成27年度医療施設特別会計決算報告書作成
2. 平成28年度医療施設特別会計歳入歳出予算概要書作成
3. 平成27年度収益事業決算報告書作成
4. 平成27年度消費税収支決算報告書作成
5. 平成27年度中の運転資金極度借入手続き及び本社交付書類行使報告
6. 平成27年度中の運転資金短期借入金本社承認手続き及び交付書類行使報告
7. 平成27年度各運営費補助金事業関係事務処理
 - ・福島県感染症指定医療機関運営費補助金
 - ・福島県新人看護職員研修事業費補助金
 - ・福島県産科医等確保支援事業補助金
8. 平成27年度事業委託契約に基づく事務処理
 - ・福島県看護職再就業支援研修業務
 - ・免疫アレルギー疾患等実用化研究事業
9. 平成27年度財政調整事業資金借入手続き
10. 病院建物建設資金(新病院)借入手続き
11. 新病院建設資金支部借入手続き
12. 赤十字グループにおける内部資金活用による借入手続き
(市中銀行長期借入金繰入償還のため)
13. 平成27年度法律事務所委託分未収金回収額 3,221,380円
平成23年11月委託開始～平成28年3月31日までの回収額 19,918,227円(回収率50.2%)

<平成28年度目標>

- ・平成28年度決算の黒字決算
- ・資金繰りの好転

医事課

【課長】 齋藤 智浩(医事課長)

【係長】 阿部 育子(診療情報管理係長)

池田 久光(医事係長 兼 外来係長)

竹田 強(病歴管理係長)

金原 昭世(入院係長)

[主事] 道口 健翔、金子 瑛

[事務員] 貴島 竹代、芳賀 瑞樹

[委託職員] 入院6名、外来19名、中央カルテ16名

<平成27年度実績>

1. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出できた。
2. 新規施設基準取得を推進した。
3. 平成28年度診療報酬改定に関わる情報収集に努めた。
4. 平成28年3月中に診療報酬改訂の職員向け説明会を医事課主導で行った。

5. 指導料管理料の算定件数増加を図った。

<平成28年度目標>

1. 適正な保険請求を実施し、査定額・返戻額の削減に努める。
2. 「DPC導入の影響評価にかかる調査」のデータをより正確に遅滞なく提出する。
3. 診療報酬請求額の増収に努める。

用度施設課

【課長】 東 一豊(用度施設課長)

【係長】 菅野 正幸(用度係長)、高橋 敏夫(電気係長)

[主事] 佐藤恵美子

[技術員] 濱名 正美(施設)、加藤 仁義(電気)

[派遣職員(電話交換)] 門馬 幸代、紺野 朋子

[委託職員(ボイラー)] 仲野 明夫、田辺 勇、寺島 勲、佐藤 謙太、安西 正雄

<平成27年度実績>

1. 長時間使用照明のLED化等、省エネルギー推進によるエネルギー使用量前年度比約3%削減(熱量換算)、水道使用量前年比約6%削減
2. 電気設備安全維持のため電気設備定期点検(全館停電による)、非常用発電機整備、手術全室非常用コンセント・照明更新、放射線科用分電盤・3号館1階非常用分電盤更新工事等実施
3. 感染対策室と連携し感染性廃棄物処理関係費用を前年度比約150万円削減
4. 感染性廃棄物運搬契約業者を一部変更し来年度約500万円削減見込み
5. 院内不必要物を有価物として処分整理し、感染症病棟内へ廃棄物機密書類保管庫室を移設
6. 電子マニフェストの一部導入
7. 診療材料購入価格交渉により前年度比約3,000万円の削減
(WOCナースと連携し創傷被覆剤集約含む)
8. 新病院建設準備室と連携を図り新病院の施設設備安全維持・低コスト建設推進

<平成28年度目標>

1. 長時間使用照明のLED化等、省エネルギー推進しエネルギー使用量(熱量換算)、水道使用量の前年度比1%削減
2. 感染性廃棄物排出量前年度比1%削減
3. 新病院建設準備室と連携を図り新病院の施設設備安全保持・低コスト建設推進
4. エネルギー施設設備の無事故運転維持管理推進及び建物設備の適宜修理と迅速対応
5. 電気設備安全維持のため、電気設備定期点検(全館停電)、本館用直流電源装置整備、受変電設備器機更新工事実施
6. 診療材料費のさらなる削減推進

27. 医療安全推進室

【室長】 今野 修(副院長)

【専任リスクマネージャー】 阿部 美幸(看護師長)

【専任室員】 山城 裕子(看護師長・感染管理認定看護師)※平成27年12月31日まで
三浦 愛(看護係長・感染制御実践看護師)

医療安全関係

<平成27年度実績>

1. 研修会 ※研修会2回以上の参加者 80%(前年度72%)

実施月日	対象者	テーマ	参加人数
4月3日	新採用職員	医療安全について	30名
5月26日	全職員	①赤十字医療施設で取り組む医療安全 ②平成26年度のヒヤリハット・アクシデント報告のまとめと安全対策	283名
6月2日 6月3日	看護補助者	看護補助者の業務範囲 医療安全の基礎知識 当院の医療安全体制と事故防止対策	28名
6月11日	新採用看護師	医療安全フォローアップ研修① ・転倒・転落防止対策 ・KYT ・与薬に関する医療安全 ・SBAR	18名
6月18日	新採用看護師	医療安全フォローアップ研修② ・放射線関係の検査に関する医療安全 ・輸血に関する医療安全 ・医薬品に関する医療安全 ・医療機器に関する医療安全	18名
7月6日	事務職員 派遣・委託職員	医療安全の基礎知識 当院の医療安全体制と事故防止対策	93名
8月6日	全職員	ダブルチェックはこうしよう	183名
9月11日	医療職	医薬品と医療安全①「麻薬と危険薬」 医療機器と医療安全①「輸液ポンプとシリンジポンプ」	108名
10月8日	全職員	医療安全とコミュニケーション「SBAR」	134名
10月21日	医療職	医薬品と医療安全②「ヒヤリハット事例から学ぶ」 医療機器と医療安全②「人工呼吸器」	92名
11月13日	全職員	医療事故調査制度について	124名
12月7日	全職員	①医療安全推進担当者の役割 ②要因分析	56名
1月14日 1月15日	栄養課職員	医療安全研修①	22名
1月21日 1月22日	栄養課職員	医療安全研修②	24名

2. QCサークル活動

実施月日	項目
6月2日	QCサークル活動キックオフ
8月14日	活動計画書提出(20サークル)
10月31日	中間報告書提出(20サークル)
1月11日	発表USB提出(発表会参加18サークル)
1月20日	QCサークル活動発表会①
1月21日	QCサークル活動発表会②

3. 医療安全対策および医療安全推進室の活動

実施月	項目	対策等の活動内容
通年	医療安全推進室メンバーによる安全ラウンド	医療安全ラウンド、医薬品安全ラウンド、医療機器安全ラウンドの年間計画書を作成し、ラウンドを実施する。
通年	医療安全研修について	参加率向上のため、4月に1年間の研修計画を配布、また職種別研修を行い、全職員年2回以上の研修参加を促す。
4月	青色カラーシリンジ1mL導入	眼科外来検査用コンタクトレンズ消毒薬計量余蘊として導入
7月	注射指示箋サイン記載方法統一	注射指示箋のミキシングサイント実施サインの記載方法を統一し看護部マニュアルに追記
8月	ウィンドロック設置	窓からの転落防止対策として病室及び渡り廊下にウィンドロック(窓用補助錠)設置
10月	MRI検査チェックリスト作成	MRI検査時に記載するチェックリストを作成(入院患者用・外来患者用)し使用開始(放射線技師の最終確認サイン欄を設ける)
10月	全死亡患者カルテ確認	医療事故調査制度開始に伴い、医療安全推進室長が全死亡患者のカルテ記録確認開始
11月	看護部転倒転落報告書修正	看護部転倒転落報告書を修正し看護計画記載欄を設ける
1月	ダブルチェック方法統一提案	ダブルチェック方法の種類を説明し統一を提案
1月	救急カート内薬品見直し	医師にアンケート調査を実施し、救急カート内の薬品および定数を見直し、表示修正
1月	3号館4病棟浴室改修	浴室が広く床が滑りやすいため転倒が多いことから改修工事を実施

<平成28年度目標>

1. 医療安全推進委員会の委員でワーキンググループを結成し、多職種合同で医療安全活動を実践できるよう推進する。
2. 医療安全ラウンドを実施し各部門の安全対策の状況を点検・評価する。
 - 1) 年間ラウンド計画を作成し、多職種による安全ラウンドを実施する。
 - 2) ラウンド結果をフィードバックし、改善策を検討する。
3. 医療安全研修会の内容を検討し、魅力ある研修会とする。
 - 1) 外部講師を招き研修参加率の向上を図る。
 - 2) 研修参加率85%以上、欠席者レポート提出率100%
4. ダブルチェック方法の統一を図る。

各部署単位で、「2人連続型ダブルチェック」を行う項目と「1人双方向型ダブルチェック」または「1人連続型ダブルチェック」を行う項目を決定する。

感染関係

<平成27年度実績>

1. 研修会開催

実施月日	対象者		テーマ	参加人数
4月24日(水)	新人入職者(医師 看護師、薬剤師、 事務等)	第1回	感染管理の基本 ～標準予防策～	27名
5月20日(水)	全職員	第2回	リンクスタッフ研修 病院で取り組む手指衛生・環境チェック	193名
6月24日(水)	新規採用看護師 研修医	第3回	尿道留置カテーテル管理	20名
7月8日(水)	看護師	第4回	ベストプラクティス研修 防護具の装着	161名
7月9日(木)				
8月21日(金)	全職員	第5回	血管内カテーテル感染対策	院内 163名 院外 9名 計 172名
9月28日(月)	看護補助者 (コムネット含む)	第6回	環境清掃と感染管理	32名
9月29日(火)				
10月1日(木)	全職員	臨時	クロストリジウム・ディフィシル感 染対策	院内 75名 院外 13名 計 88名
10月13日(月)	委託職員 清掃・リネン関係	第7回	委託業者向け研修 環境整備と感染管理	32名
10月14日(火)				
10月16日(金)	看護師	第8回	“ベストプラクティス研修 真空管採血”	148名
10月19日(月)				
11月25日(水)	全職員	第9回	手術部位感染対策	102名
12月4日(金)	全職員	第10回	インフルエンザ・ノロ対策	院内 131名 院外 18名 計 149名
12月14・15日	栄養課職員	臨時	ノロウイルスを中心とした感染性胃 腸炎	22名
12月21・22日	栄養課職員	臨時	インフルエンザ対策	24名
1月29日(金)	全職員	第11回	インフルエンザ対策	86名

2. 感染対策(医療安全推進室およびICTの活動)

実施月	項目	対策などの活動内容
通年	耐性菌サーベイランス	JANIS(全入院患者部門、検査部門)
通年	感染対策ニュースの発行	感染対策ニュース12回発行 お知らせ8件
通年	ICTラウンド	64回
通年	感染研修の実施	感染研修一覧参照
通年	職業感染防止(ワクチン接種)	HBワクチン、麻疹・風疹・水痘・ムンプス、 インフルエンザ
通年	合同カンファレンス	4回開催(わたり病院、第一病院)
通年	相互評価	2回開催(藤田病院)

通年	結核接触者調査	結核届出数2件 職員の接触者調査対象者13名、患者の対象者なし
通年	保健所へ感染届提出	発生届2件(結核以外)
通年	院内感染対策事例対応	18件
6月	感染対策物品の見直し、導入	ペン型インスリン針抜去時のリムーバー導入
1月		シューズカバーの変更
3月		コネクタタイプ吸引カテーテルの導入
10月	感染対策の見直し	感染性廃棄物の分別方法の見直し、感染対策マニュアルの改訂
		次亜塩素酸ナトリウムの浸漬消毒濃度の変更 感染対策マニュアルの改訂

<平成28年度目標>

1. 感染対策加算に係る合同カンファレンス、相互ラウンドの実施
2. ICT活動を通じて感染対策の充実を図る。
 - 1) ICT会議を週1回開催する。
 - (1) 耐性菌サーベイランスのフィードバック方法の見直し
 - (2) 広域抗菌薬投与患者一覧を活用した抗菌薬ラウンドを実施する。
 - 2) ICTラウンド、ICNラウンドを週1回程度実施する。
3. 感染研修を実施、評価する
 - 1) 参加率80%以上を目標とし、職種別研修や看護部ではラダーのレベル別研修を行うことで参加者の知識や認知度に沿った内容の研修を企画する。

28. 付帯施設

訪問看護ステーション

【所長】 佐藤 利恵(訪問看護ステーション所長 兼 看護係長)

【看護師】 高橋美千代、中村 広子、岸 美弥子

【保健師】 安田みどり

<平成27年度実績>

平成27年度は、事業収入が平成26年度より2.7%減少した。

新規利用者は平成26年度に比べ増えているが、訪問件数が伸び悩んでいる。利用者層と訪問看護の利用方法が変化していることが原因ではないかと分析する。

医療保険で訪問する利用者は、がん末期の利用者が年々減少している。病院退院時がん末期の患者は在宅がん医療総合診療をしている医院へ紹介するケースが多くなっているのではないかとされる。また、がん末期の利用者へ訪問していたとしても、最期自宅で看取りを希望される場合は在宅がん医療総合診療をしている医院へ紹介しているのが現状である(在宅がん医療総合診療を受ける場合、訪問看護も変更になる)。しかし、医療保険訪問利用者の中でも神経難病等の利用者は、母体病院に神経内科があるため徐々に依頼が増え始めている。

介護保険で訪問する利用者は、超高齢化に加え独居の方が増えている。さらに、高齢でも要介護度が低い利用者が増え、訪問時間が短い訪問や訪問回数が月1～2回という訪問が増えている。これは、高齢や独居であるため、緊急時対応を期待し利用しているのである。訪問時間が短い訪問は、訪問件数は増えても訪問単価が低く、収益は上がらないのである(30分の訪問は、1時間訪問の半分の単価)。

しかし、これらの背景、地域の特性は、変えることの出来ない事実である。その時代の流れを上手くとらえ、今後求められる訪看の役割を探していかなければならないと感じている。

(訪問実績)

	平成26年度	平成27年度	対前年度増減
年間利用者月平均	56.0名	63.4名	+7.4名
ひと月あたりの平均訪問件数	350件	339件	-11件
年間新規利用者数	40名	47名	+7名
年間在宅看取り人数	13名	16名	+3名
訪問1件当たり平均単価	9,548円	9,564円	+16円
年間事業収入	40,074,140円	38,937,000円	-1,137,140円

*新規利用者の中で院内からの紹介が約7割である。

<平成28年度目標>

- ・連携する医院・病院の開拓を行う。
- ・訪問看護の活動を、院内・外でアピールし、利用者確保につなげる。
- ・訪問看護の質の標準化のために、院内外研修参加、所内勉強会やケースカンファレンス開催など積極的に行う。

指定居宅介護支援事業所

【所長】 高野シク子(指定居宅介護支援事業所長 兼 看護係長)

【介護支援専門員】 土崎 元子(臨時) 丸山奈緒美(臨時)

<平成27年度実績>

	総数	一ヶ月平均	目標総数
ケアプラン	940件	79.0件	1,080件(90件/月)
新規ケアプラン	28件	2.3件	40件(3.3件/月)
認定調査	178件	14.8件	
介護相談のみ	10件		

介護保険法に従い、特定事業所として、「震災で避難されている利用者様」「医療依存度の高い利用者様」をはじめ、個別的介護の悩みに応じた情報や解決策を提供し、安心とゆとりをもった療養生活や介護ができるように支援してきた。また、当事業所のスタッフの異動もなく3人体制で利用者様への支援が継続できた。

前年度に比べてケアプラン件数は20人増、新規利用件数については1人増となった。認定調査件数については、126人減であった。

*医療依存度の高い利用者様が多く入退院を繰り返す。その後、自宅での看取り、病院にて死亡(8人)。また、独居の方で「認知症」のある方が多く、高齢隣在宅生活に限界が出てきて施設入所された(7人)、子供さんの近くに転居された(2人)など。

*居宅介護支援事業所が年々増加しており、施設には、専属のケアマネージャーが滞在しているため、入所時に担当のケアマネージャーが変更となる。

以上のことからケアプラン件数が減少し、長期支援継続が難しい。今後、新規ケアプランの獲得が課題である。また、福島市より依頼される認定調査も減少している。

<平成28年度目標>

1. 医療報酬改正を理解して、「医療連携調整事業」「ITによる福島地域医療福祉情報ネットワーク整備事業：福来たネット」の研修等に積極的に参加して他職種連携を図る。特に、当院と訪問介護、居宅介護支援事業所がスムーズに連携が図れるように「システム化」を構築して包括的支援をしていく。

2. 新規利用者受け入れのために積極的に働きかける。
地域包括支援センター、院内併設の医療社会事業部、訪問看護ステーション、医療社相談室などへの関係づくり、情報交換のために定期的な訪問をする。
3. スタッフの教育、健康管理をして健全な人間関係、環境づくりをする。
院内外の研修、事業所内での勉強会、地域ケア会議などへ積極的に参加する。

〈事業経営目標件数〉 ケアプラン件数：90件／年 新規ケアプラン件数：3件／月

V

会議・委員会活動

1. 幹部会議	97	21. 院内感染対策委員会	117
2. 管理会議	98	22. 医師・看護師負担軽減対策委員会	120
3. 業務連絡会議	99	23. クリニカルパス委員会	121
4. 倫理委員会	101	24. 輸血療法委員会	121
5. 治験審査委員会	101	25. 臨床検査適正化委員会	121
6. 医療機械整備委員会	102	26. 診療情報管理委員会	122
7. 栄養管理委員会	102	27. DPC委員会	123
8. 診療材料購入等審議委員会	103	28. 手術室運営委員会	124
9. 災害対策委員会	103	29. 救急センター運営委員会	124
10. 医療情報システム検討委員会	104	30. ハイケアユニット運営委員会	124
11. 地域医療連携運営委員会	105	31. NST委員会	125
12. 病床管理委員会	106	32. 化学療法検討委員会	125
13. 診療報酬適正化委員会	106	33. 緩和ケア委員会	126
14. 薬事委員会	107	34. 褥瘡対策委員会	127
15. 顧客サービス・広報委員会	111	35. 医師臨床研修管理委員会	128
16. 個人情報保護委員会	112	36. 医師臨床研修プログラム委員会	128
17. 省エネルギー推進委員会	112	37. 図書委員会	128
18. 医療安全管理委員会	114	38. 安全衛生委員会	129
19. 医療安全調査委員会	115	39. 医療ガス安全管理委員会	130
20. 医療安全推進委員会	116		



1. 会議

1. 幹部会議	
目 的	本院における経営方針及び業務の運営・管理に関する重要事項を審議する。
第 1 回	平成27年 4月28日(火) (拡大幹部会議)
	1. 幹部会議の運営について 2. 平成26年度医療施設特別会計報告 3. 移転新築にかかる経費概算及び資金計画について
第 2 回	5月26日(火)
	1. 管理会議の運営について 2. 平成27年 4月分収支状況、主要計数 3. 平成26年度経営目標、主要施策達成状況 4. 平成27年度運営方針、経営目標、主要施策について 5. 職員の採用について 6. 新病院建設進捗状況
第 3 回	6月30日(火) (拡大幹部会議)
	1. 平成27年 5月分収支状況、主要計数 2. 救急センター体制について 3. 新病院建設進捗状況 4. 副院長・院長補佐より各委員会等報告 5. 患者獲得に向けた方策について 6. 個人情報保護委員会からのお知らせについて
第 4 回	7月28日(火)
	1. 認定看護師研修派遣について 2. 平成27年 6月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設進捗状況 4. 第3回ふれあいまつりの開催について 5. 各診療科医師とのヒアリングについて
第 5 回	8月25日(火) (拡大幹部会議)
	1. 平成27年 7月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 副院長・院長補佐より各委員会等報告 4. 健診部門稼働状況 5. 患者接遇改善(医療コンシェルジュ)について 6. 医師看護師負担軽減人員配置
第 6 回	9月28日(月)
	1. 平成27年 8月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 平成27年度病床機能報告について 4. 医療事故調査制度について 5. 新しい専門医制度(外科領域)について
第 7 回	10月27日(火) (拡大幹部会議)
	1. 平成27年 9月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 院長より(院長連盟総会、地域医療構想、新専門医制度について) 4. 副院長・院長補佐より各委員会等報告
第 8 回	11月24日(火)
	1. 平成27年10月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 院長より(地域医療構想、医大寄附講座について) 4. 冬期末手当・勤勉手当について 5. 治験業者の選定について
第 9 回	12月22日(火) (拡大幹部会議)
	1. 新病院病床構成検討案について 2. 平成27年11月分収支状況、主要計数 3. 新病院建設進捗状況 4. 福島医大寄附講座について

第10回	平成28年1月26日(火)
1. 平成27年12月分収支状況、主要計数 2. 新病院建設進捗状況 3. 平成28年度職員採用内定状況	
第11回	2月23日(火) (拡大幹部会議)
1. 診療報酬改定につて 2. 精神科病床数変更及び診療科変更について 3. 病院機能評価更新について 4. 平成28年1月分収支状況、主要計数 5. 新病院建設進捗状況 6. RST(呼吸器サポートケアチーム)の活動について	
第12回	3月29日(火)
1. 組織変更について 2. 医師の昇任要件について 3. 平成28年2月分収支状況、主要計数 4. 新病院建設進捗状況 5. 平成28年4月1日人事異動 6. 平成28年度幹部会議予定について	

2. 管理会議	
目 的	本院の管理及び運営に関する事項を審議する。
第1回	平成27年4月6日(月)
1. 月次報告(平成27年2月分) 2. 経営改善・移転新築進捗状況 3. 病院体制等について 4. 経営改善の必要性について	
第2回	5月8日(金)
1. 平成26年度決算概況 2. 平成27年度施策について 3. 各種委員会体制について 4. 病院名称の変更について 5. 移転新築進捗状況について 6. 病院管理会議の役割、位置付けについて	
第3回	6月1日(月)
1. 月次報告(平成27年4月分) 2. 病院管理会議運営について 3. DPC係数報告について 4. 病院移転新築計画進捗状況	
第4回	7月1日(水)
1. 月次報告(平成27年5月分) 2. 救急センター体制について 3. 臨床研修管理委員会より 4. 診療材料購入等審議委員会より 5. 安全衛生委員会より 6. 地域医療連携運営委員会より 7. 個人情報保護委員会より 8. 放射線科部勤務体制について 9. 移転新築計画進捗状況	
第5回	8月3日(月)
1. 月次報告(平成27年6月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 循環器センターホットライン運用開始のお知らせ 4. ふれあいまつりの開催について	
第6回	9月1日(火)
1. 月次報告(平成27年7月分) 2. 新病院移転新築計画進捗状況 3. 福島赤十字病院公式フェイスブックの運用開始について 4. 診療材料費の削減に向けた取り組みについて	
第7回	10月2日(金)
1. 新病院移転計画変更について 2. 月次報告(平成27年8月分)	
第8回	11月2日(月)
1. 月次報告(平成27年9月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況	

第9回	12月1日(火)
1. 月次報告(平成27年10月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況	
第10回	平成28年1月6日(水)
1. 月次報告(平成27年11月分) 2. 新病院病床構成検討案について 3. 総合入院体制加算について	
第11回	2月1日(月)
1. 月次報告(平成27年12月分) 2. 平成28年度予算概算について 3. キビタン健康ネットの導入について 4. 病院移転新築計画進捗状況	
第12回	3月1日(火)
1. 月次報告(平成28年1月分) 2. 病院移転新築計画進捗状況 3. 精神科病床数変更ならびに標榜科変更について 4. 病院機能評価更新について	

3. 業務連絡会議	
目 的	本院の業務の適正及び円滑な運営を図る。
第1回	平成27年4月14日(火)
1. 病院幹部体制について 2. ご意見箱について 3. 八島町駐車場について 4. 教育研修推進室より 5. 総合評価加算研修会について	
第2回	5月12日(火)
1. 病院名称の変更について 2. 各種委員会体制について 3. 赤十字運動月間・看護の日イベントについて 4. クールビズについて	
第3回	6月9日(火)
1. 挨拶の励行について 2. 盗難防止啓発について 3. 病院への苦情報告と対応について(お願い) 4. 赤十字運動月間における社費への協力について(報告と御礼) 5. 後発医薬品への切り替えについて	
第4回	7月14日(火)
1. 職員の安全衛生及び健康管理体制整備について 2. 職員駐車場における防犯対策について 3. 天皇皇后両陛下下行幸啓(御来県)に伴う警備への協力について 4. 救急センターの運用について	
第5回	8月11日(火)
1. 循環器センターホットライン運用開始について 2. 日赤厚生年金基金の代行返上に係る同意取得について	
第6回	9月8日(火)
1. ネームプレートの日赤仕様への変更について 2. 職員用駐車場の適正使用について 3. 国勢調査について 4. 福島医大医学部3年生「地域実習」事業受入れについて 5. Facebookの開設について	

第7回	10月13日(火)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報等を含む重要情報の適正管理について 2. マイナンバー制度への対応について 3. 地域医療連携懇話会について 4. 福島県議会議員一般選挙にかかる院内不在者投票について 5. 健康保険被保険者証の差し替え交付について 6. 「看護外来」開設のお知らせ 	
第8回	11月10日(火)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度保健所立入検査について 2. マイナンバー(個人番号通知カード)提供のお願い 3. 「地域包括ケア 市民1000人のつどい」参加者募集 4. 「NHK海外たすけあい」募金の協力について 5. 年末調整申告について 6. 経費削減、安全管理等のお願い 	
第9回	12月9日(水)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度冬期期末勤勉手当のお知らせ 2. 平成27年度給与改正に伴う差額支給のお知らせ 3. 八島町駐車場利用について 4. 消防学校救急科学生の病院実習について 5. 新年の病院長あいさつについて 6. 東日本震災復興支援シンポジウムのご案内 	
第10回	平成28年1月12日(火)
<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつの励行(接遇)に関するお願い 2. 院内消防訓練開催のお知らせ 3. 「NHK海外たすけあい」募金の御礼 	
第11回	2月9日(火)
<ol style="list-style-type: none"> 1. マイナンバーの提供依頼について 2. 平成28年度会議室等使用簿運用開始のお知らせ 3. 福島県消防学校救急科学生の病院実習について 4. 研修医宛の外線電話対応について 5. A1プリンターの購入要望について 6. キビタン健康ネットに関する講演会のお知らせ 	
第12回	3月8日(火)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科(2号館2病棟)病床数変更について 2. 標榜科の変更について 3. 日本赤十字社健康保険組合設立について 4. 東日本大震災後5年目における黙祷の実施について 5. 病院機能評価の更新について 	



2. 病院運営に関する委員会

4. 倫理委員会	
目的	本院及びその職員が人間を直接対象とした医学の研究(ヒトゲノム、遺伝子解析研究を含む。)及び医療行為を行う場合において、医の倫理に関するヘルシンキ宣言(1964年)の趣旨に添った倫理的配慮を図る。
委員長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 今野 修(副院長)
第1回	平成27年8月17日(月)
1. 審査事項①「N-butyl-2-cyanoacrylate(NBCA)を用いた血管塞栓術」 2. 審査事項②「川崎病におけるIL-1RA関連因子および遺伝子多型の検討と、治療薬としての可能性」 3. 審査事項③「レーザー照明手術用顕微鏡の臨床使用」 4. 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について	

5. 治験審査委員会	
目的	厚生省令第28号(平成9年3月27日)、薬事法第430号(平成9年3月27日)並びにGCPに関連する通知等に基づき定められた本院治験審査委員会標準業務手順書に則り、治験審査を行う。
委員長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 今野 修(副院長)
第1回	平成27年5月20日(水)
1. DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 ーアジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期投与試験ー 2. 安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究 3. 生物学的製剤治療の経済学的評価や社会的生産性を検証するプロスペクティブ研究	
第2回	6月24日(水)
1. DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 ーアジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期投与試験ー 2. 糖尿病網膜症合併高コレステロール血症患者を対象としたスタチンによるLDL-C低下療法(通常治療/強化治療)の比較研究	
第3回	7月29日(水)
1. DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 ーアジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期投与試験ー	

第4回	8月31日(月)
1. DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 —アジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期投与試験— 2. 日本人高齢者を対象としたアピキサバンの有効性・安全性に関する検討：医師主導型多施設共同前向きコホート研究 J-ELD AF (CVI ARO 5) Study 3. 冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 REAL-CAD試験	
第5回	9月15日(火)
1. DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 —アジアにおける帯状疱疹後神経痛を有する患者を対象にした14週間のプラセボ対照無作為化二重盲検試験及び52週間の非盲検長期投与試験— 2. 日本人高齢者を対象としたアピキサバンの有効性・安全性に関する検討：医師主導型多施設共同前向きコホート研究 J-ELD AF (CVI ARO 5) Study 3. 安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	
第6回	平成28年2月17日(水)
1. 全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究 2. 糖尿病網膜症合併高コレステロール血症患者を対象としたスタチンによるLDL-C低下療法(通常治療/強化治療)の比較研究	

6. 医療機械整備委員会	
目的	本院の適正な医療機械整備に関し、院長の諮問に答えるものとし、病院財政を充分考慮し整備する。
委員長	渡部 洋一(院長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)

7. 栄養管理委員会	
目的	本院の給食計画及び給食全般の改善実施について、検討並びに院長の諮問に応える。
委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)
副委員長	今野 修(副院長)
第1回	平成27年4月15日(水)
1. 栄養管理委員会委員変更並びに規定改定について 2. 栄養指導実施件数 3. 厚生局監査指摘事項 4. 平成26年度個人対応実施報告	
第2回	6月16日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 外来指導件数upに向けて 3. イソニアジド内服患者のアレルギー対応について	
第3回	8月18日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 外来指導実施状況 3. 学生実習について 4. 嗜好調査について	
第4回	10月20日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 嗜好調査結果報告 3. 補助食品変更について	

第5回	12月15日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 保健所監査報告	
第6回	平成28年2月16日(火)
1. 栄養指導実施件数 2. 2015食事摂取基準に基づいた栄養量設定変更について 3. 食品成分表改定に伴う対応について 4. 診療報酬改定に関する情報	

8. 診療材料購入等審議委員会	
目的	健全な業務運営に資することを目的とし、本院において使用する診療材料の購入、使用及び管理等の適正化を図る。
委員長 副委員長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長) 寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)
第1回	平成27年5月15日(金)
1. 製品切替提案「未滅菌ロール状フィルムドレッシング」について 2. 製品切替提案「内視鏡用局注針」について 3. 平成26年度医療材料価格改定品購入金額比較表による今年度の対応(ABC分析上位100項目、整形外科インプラント) 4. SPD管理料実績一覧について	
第2回	6月12日(金)
1. 2-2病棟マットセンサー増設について 2. 製品切替提案「替刃メス」について 3. 「テープ・ドレッシング材、縫合糸・針等」の類似品の整理統合について 4. 診療材料価格交渉について	
第3回	9月11日(金)
1. 現行使用中の医療材料の変更について 2. 価格交渉の進捗状況について 3. 感染対策担当より「挿管チューブ等の感染・非感染の分別実施による廃棄物削減」の依頼	
第4回	11月27日(金)
1. 診療材料「シューカバー」の変更について 2. 吸引チューブの多機能チューブから単機能チューブへの変更について 3. 子宮マニピレータトータルの申請について 4. 医療用フットケアスターター6点セットについて 5. 現行採用品の価格変更値下げ報告(カーボンローデ、フラッシュバックカーミCAバッグ)	

9. 災害対策委員会	
目的	災害発生時における医療救護及び被害の拡大防止・災害復旧並びに災害・火災から職員、患者の生命、身体及び施設等を守るため、災害・防火対策に関する必要な事項を定める。
委員長 副委員長 副委員長	遠藤 豪一(第1外科部長) 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長) 市川 剛(第2脳神経外科部長)
第1回	平成27年5月13日(水)
1. メンバー変更について 2. 院内災害訓練の振り返り 3. 年間計画 4. 第1ブロック訓練実行委員選出	

第2回	12月2日(水)
1. 今年度救護訓練・研修派遣報告 2. DMAT活動実績 3. 災害対策マニュアル変更について 4. 救護資材の追加について 5. 災害医療コーディネーターについて 6. 今後の予定	
第3回	平成28年1月13日(水)
1. 院内災害訓練打ち合わせ	
第4回	2月24日(水)
1. 院内災害訓練打ち合わせ	

10. 医療情報システム検討委員会	
目 的	病院の医療情報の一元化を図り、総合的な医療情報システムの確立、段階的に診療システム導入としてオーダリングシステム、電子カルテシステム、診療支援システムの構築など将来的なシステムに関する事項を調査検討して、導入の可能性の有無及び導入時期・システム規模等について審議する。
委員長 副委員長	宮田 昌之(副院長) 松本 修(企画課長)
第1回	平成27年4月8日(水)
1. 人事異動に伴う委員の変更 2. 運用上の問題点について 3. システム全般の課題等について 4. 平成21年に導入した介護事業者支援システムについて 5. 紙カルテの取り込みについて 6. 紹介患者の持込み画像の運用について 7. 福島県医療福祉情報連携ネットワークについて	
第2回	5月13日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 停電に伴うオーダリングシステムの停止について 3. 紹介患者が持込む画像データの取り込み運用について 4. 今後のスケジュール 5. 福島県医療福祉情報連携ネットワークについて	
第3回	6月3日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 福島市地域連携パスシステムのベンダ選定について 3. 新病院における統合ネットワークの検討	
第4回	7月1日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 福島市地域連携パスシステムのベンダ決定について 3. 新病院における無線ネットワークの計画について	
第5回	8月5日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 落雷による停電に対する対応 3. SOAPの運用について 4. がん登録(2016年1月義務化)に伴うシステム連携(7/28 キックオフ) 5. Facebookの開始について	
第6回	9月2日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 指導管理料算定時に必要となる文書整理について 3. SOAPの運用について 4. 会議室予約システムについて(運用開始時期は検討中)	

第7回	10月7日(水)
1. 運用上の問題点について 2. SOAPの運用について 3. 読影の運用について 4. 新病院レイアウト変更について 5. オーダ種追加の検討について(注射オーダ(入院)、レジメンオーダ、処置オーダ、手術オーダ、麻酔オーダ) 6. キビタン健康ネット・福島市連携パスについて 7. 10/24(土)電気設備点検に伴う停電作業	
第8回	11月4日(水)
1. 運用上の問題点について 2. オーダリング詳細検索機能について 3. キビタン健康ネットについて	
第9回	12月2日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 医事サーバハード障害の発生について 3. 和歌山医療センター：厚生労働省監査事例の紹介 4. 臨床研修医によるSOAP記録の指導医について 5. キビタン健康ネットの概要説明動画	
第10回	平成28年1月6日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 医療情報システム拡充検討(案)について 3. キビタン健康ネットの全体説明会の開催予定	
第11回	2月3日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 診療科共有ワークフォルダについて 3. EXCELの仕様による印字ずれに対する施策について 4. キビタン健康ネットの全体説明会開催のお知らせ	
第12回	3月2日(水)
1. 運用上の問題点について 2. 平成28年度のシステム更新部分(予定) 3. 福島市医師会「福来たネット」(地域連携パス)について 4. 富士通フォローアップ研修の実施予定 5. キビタン健康ネットの全体説明会開催のお知らせ 6. レベルアップ・診療報酬改定に伴うシステム停止	

11. 地域医療連携運営委員会	
目 的	本院と地域の医療機関が診療に関して緊密な連携を図ることにより、地域医療により良い環境を整える。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	田畑 友子(医療社会事業課長)
第1回	平成27年5月18日(月)
1. 平成26年度実績報告について 2. 4月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 3. 福島県医療福祉情報連携ネットワークについて 4. 委員会規定の変更について 5. 平均在院日数短縮化について	
第2回	6月15日(月)
1. 5月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 病床回転率について 3. 平均在院日数短縮化について	

第3回	8月24日(月)
1. 6・7月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 病床回転率について 3. DPC委員会での検討事項について 4. 平成27年度福島赤十字病院地域連携懇話会について	
第4回	10月20日(火)
1. 8・9月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 平成27年度福島赤十字病院地域連携懇話会について	
第5回	11月16日(月)
1. 10月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 平成27年度福島赤十字病院地域連携懇話会について	
第6回	12月17日(木)
1. 11月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 平成27年度福島赤十字病院地域連携懇話会について	
第7回	平成28年2月15日(月)
1. 1月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 新規契約登録医について 3. 地域ネットワーク化の進捗状況について 4. 紹介患者の受け入れについて 5. MRI共同利用について 6. 診療報酬改定について	
第8回	3月17日(木)
1. 2月の紹介率・逆紹介率・不応需状況について 2. 地域ネットワーク化の進捗状況について 3. 平成28年度福島赤十字病院地域連携懇話会の日程について	

12. 病床管理委員会	
目 的	各病棟間との連絡調整を行いながら、運営上の諸問題について協議するとともに、病床管理の円滑な運営により、病床全体の効率的運用を図る。
委 員 長	大和田尊之(第1循環器科部長)
副委員長	渡邊 知子(看護副部長)
第1回	平成27年5月19日(火)
1. 委員会新体制移行について 2. 病床管理規定の見直しについて 3. 診療科別病床割振り見直しについて	

13. 診療報酬適正化委員会	
目 的	本院における適正算定及び査定防止を図る。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)
副委員長	大河内幸男(耳鼻咽喉科部長)
第1回	平成27年4月24日(金)
1. 平成26年12月、平成27年1月診療分保険査定について 2. その他	
第2回	6月24日(水)
1. 平成27年2月、3月診療分保険査定について 2. その他	
第3回	8月26日(水)
1. 平成27年4月、5月診療分保険査定について 2. その他	

第4回	10月28日(水)
1. 平成27年6月、7月診療分保険査定について 2. その他	
第5回	12月24日(木)
1. 平成27年8月、9月診療分保険査定について 2. その他	
第6回	平成28年2月24日(水)
1. 平成27年10月、11月診療分保険査定について 2. その他	

14. 薬事委員会	
目的	院長の諮問に応じ、本院にて使用される医薬品の選定について調査し、かつ、医薬品の効率的、合理的な運用調整を図り、病院の健全な業務運営に資する。
委員長 副委員長	我妻 禎(薬剤部長) 黒田 聖仁(第1内科・消化器内科部長)
第1回	平成27年4月7日(火)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 販売中止 ○エルカルチン錠100mg / 300mg</p> <p>2) 臨時採用 ○硫酸マグネシウム補正液 1 mEq / mL—高度電解質異常においてマグネシウムの補正</p> <p>3) 前回採用薬の取り消し ○ジプレキサザイデイス錠 5 mg / 10mgを採用取り消し ジプレキサ錠へ変更</p> <p>4) 社名変更 ○アボットジャパンがマイランへ事業売却 社名は未定</p> <p>5) 血液製剤 ○H27年4月血液製剤を日赤血液センターよりJBへ移行</p> <p>6) その他 ○2 / 25よりラクテック注をハルトマン輸液「NP」へ変更 ○バラクルード錠の遮光保存により、製品の交換</p> <p>2. 新規申請 ○ラベファインパック ○ツムラ葛根湯加川芎辛夷 ○ザクラスHD錠</p> <p>3. 削除品 ○コロオパンCap ○エンピナーズP</p> <p>4. その他 ○ジェネリック品への変更促進</p>	
第2回	5月11日(月)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 製品名変更 ○ノボ・ヘパリン注 5千単位 → ヘパリンNa注 5千単位 ○リマルモン錠 → リマプロストアルファデスク錠 5 μg「サワイ」</p> <p>2) 販売変更 ○フロセミド注「タイヨー」 → フロセミド「テバ」</p> <p>3) 臨時採用 ○レグテクト錠333mg ○ベルソムラ錠15mg / 20mg</p> <p>2. 協議事項</p> <p>1) 新規申請 ○タケキャブ錠20mg</p> <p>2) 削除品 ○アルタットCap ○アリナミン注射液10mg</p> <p>3. その他 ○ジェネリック品への変更促進</p>	

第3回	6月2日(火)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時採用 ○アーガメイトゼリー ○セボフルラン吸入麻酔薬</p> <p>2. 新規採用</p> <p>○リクシアナ60mg ○ソバルディ錠400mg ○ルセフィ錠2.5mg ○ジーラスタ皮下注3.6mg ○アリセプトD10mg錠 ○インヴェガ錠3mg ○ジアゼパム錠5mg ○ヒルナミン錠5mg ○ロラゼパム錠0.5mg ○モーラステープ</p> <p>3. 削除品</p> <p>○アミサリン錠 ○ファスティック30mg錠 ○マイトマイシンC注 ○インプロメン細粒1% ○グラндаキシシ錠50mg ○ベンザリン細粒1% ○ジェイゾロフト25mg・50mg ○レキソタン細粒1%、レキソタン錠2mg ○タッチロンテープ</p> <p>4. 新規医薬品申請について一別紙</p> <p>5. ジェネリック品への変更予定薬品</p>	
第4回	8月7日(金)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時採用(患者限定) ○トラマールOD25mg ○イムセラ錠 2) バンコマイシン塩酸塩とテイコプラニン点滴静注200mgの溶解変更 3) 自主回収 イーケプラにおいて一部の製品に合成ゴムの微細片の混入が認められたが、当院においては自主回収の対象となった製品は無かった</p> <p>2. 新規採用</p> <p>○クレナフィン爪外用液10% ○ステラーラ皮下注45mgシリンジ ○サイラムザ注</p> <p>3. 削除品</p> <p>○メンタックス外用液 ○ドボネックス軟膏 ○デュロテップMTパッチ(2.1mg、4.2mg、8.4mg)</p> <p>4. 後発品変更への啓蒙のお願い</p>	
第5回	9月7日(月)
<p>1. 臨時採用 ○ナイキサン錠100mg ○ゼプリオン水懸筋注150mgシリンジ</p> <p>2. 欠品、製品回収、製造・出荷停止</p> <p>○ドレニゾンテープは粘着剤の微量成分変更に伴う品質確認に時間を要している為製造中止 ○ダントリウム注は長期安定性試験を実施し特定ロットにおいて含有量の低下が見られたので自主回収 ○テノゼット錠は8月12日に起きた中国天津倉庫爆発事故により製造・出荷を停止(代替品：ヘブセラ錠) ○スペロン注、製造中止によりスルピリン注「日医工」に変更</p> <p>3. 新規採用</p> <p>○アネメトロ注 ○ツルバダ配合錠 ○アイセントレス錠400mg ○アセリオ注 ○トレリーフOD錠25mg</p> <p>4. 削除品</p> <p>○スオード錠100mg ○アンベック坐薬20mg ○パーロデル錠2.5mg ○エピビル錠150 ○ビラセプト錠250mg ○レトロビルカプセル100mg</p> <p>5. 注射剤のジェネリック薬への変更一別表</p> <p>◎オーダーリング画面に掲載予定・リマインダー配布。変更は在庫の関係上随時変更</p>	

第6回	10月6日(火)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 一般名へ変更 ○プロスモン注→ジノプロスト注 ○カピステン注→メジェイド注→ケトプロフェン注 ○ダイアート錠→ダイタリック錠→アゾセミド錠</p> <p>2) 自主回収 ○セロクラール錠20mgは長期安定試験で溶出試験を実施し承認に満たない結果が出たロットを自主回収 →当院の600錠余が該当にて回収</p> <p>3) 効能・効果追加、適正使用の確認 ○レミケード注は腸管型パーチエット病、神経型パーチエット病、血管型パーチエット病に関する効能・効果および用法・用量が承認 ○サイトテック錠は妊娠する可能性のある婦人、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には禁忌 ○イグザレルト錠は深部静脈血栓及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制の効能効果が追加。(初期3週間は15mgを1日2回以後1日1回投与)</p> <p>4) 出荷停止 ○アンスロビンP注射用は6月5日付で出荷差し止めの指導を受け、いまだに出荷停止は継続。(代替品：ノイアート静注だが検討中)</p> <p>2. 新規採用 ○エックスフォージ配合OD錠 ○バロス消泡内用液 ○ハーボニー配合錠 ○レミッチカプセル ○パクリタキセル注100mg</p> <p>3. 削除品 ○エックスフォージ ○ガスコンドロップ ○ペグイントロン(50μg/100μg/150μg)</p>	
第7回	11月2日(月)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時購入一患者限定 ○オールドレブ点滴静注用150mg(ポリペプチド系抗生物質) ○ナファモスタット注10mg</p> <p>2) 出荷停止による薬剤の変更 ○アンスロビンP500mgの代替品としてノイアート静注1500mgを採用</p> <p>3) アムロジピン錠2.5mg・5mgを日医工から沢井製薬に変更</p> <p>4) 酸化マグネシウム製剤による高マグネシウム血症の防止</p> <p>5) インフルエンザワクチン、クアトロバック皮下注出荷停止 毎年化血研(アステラス)のインフルエンザワクチンを使用していたが、今年度はビケン(田辺三菱)のワクチンを使用。 クアトロバック皮下注の代替品を検討中。</p> <p>2. 新規申請 ○マグセント注100ml ○ルナベル配合錠ULD ○ボルベン輸液6% ○ポプスカイン0.25%注 ○ヒベルナ錠25mg ○イクセロンパッチ9mg</p> <p>3. 削除品 ○マグネゾール注 ○ルナベル配合錠LD ○0.2%アナペイン100mlバッグ ○ヘスパンダー輸液 ○ヒベルナ細粒</p> <p>4. アミノフィリン注とファモチジン注をプラボトルへ変更</p>	

第8回	平成28年1月5日(火)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時購入一患者限定 ○セルセプトカプセル250mg ○オルガラン静注1250単位</p> <p>2) 出荷停止による薬剤の変更 ○クアトロバック皮下注→テトラビック皮下注シリンジ(田辺三菱) ○ビームゲン0.25mL・0.5mL→ヘプタボックス0.5mL(MSD)</p> <p>3) カナマイシンドライシロップ販売中止→平成29年3月31日まで経過措置期間</p> <p>4) 製品回収 ○セロクラール錠—溶出試験で承認規格外の結果のため ○ネオシネジンコーワ1mg注—アンプル内に紙製ラベル片混入のため</p> <p>5) サビーン点滴静注用500mg(キッセイ)45,593/瓶について</p> <p>6) レミケード点滴静注用100が既存治療で「効果不十分な川崎病の急性期」に適応追加</p> <p>2. 新規申請 ○グラナテック点眼液0.4% ○オルメテックOD錠20mg・40mg ○ジャディアンス錠10mg ○生食20mLを会社変更</p> <p>3. 削除品 ○レスキュラ点眼液 ○オルメテック錠20mg・40mg ○ピソルボン細粒</p> <p>4. 後発品変更</p> <p>5. その他 ・SMO(治験施設支援機関)増による治験協力をお願い ・麻薬注射の施用伝票には医師のフルネームが必要(保健所から指摘) 一次回懸案事項</p>	
第9回	2月2日(火)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時購入一患者限定 ○リュープリン注1.88mg ○キュビシン静注用350mg</p> <p>2) 化血研の業務停止処分による変更品 アンソロピンP500mg→ノイアート静注1500mg クアトロバック皮下注→テトラビッグ皮下注</p> <p>3) ジヒデルゴット錠1mgは2016年5月以降在庫無くなり次第販売中止</p> <p>4) パラベールローション1%販売中止—出荷停止時期2016年9月予定</p> <p>2. 新規採用 ○ラベキュアパック400</p> <p>3. 削除品 ○ランサップ400</p> <p>4. 再採用品 ○マグネゾール注20mL</p> <p>5. 後発品変更—別紙 後発品係数90%、変更品の購入金額が51%減(薬価ベース)になる見込み</p>	

第10回	3月7日(月)
<p>1. 報告事項</p> <p>1) 臨時購入一患者限定 ○ムルプレタ錠 3mg</p> <p>2) アラントSF錠製造販売中止</p> <p>3) レミケードのバイオシミラー(バイオ後続品)インフリキシマブ注(日本化薬)使用予定</p> <p>2. 新規採用</p> <p>○モビプレップ ○プラケニル錠200mg ○レルベア200</p> <p>○アノーロ吸入 ○パリエット錠5mg ○ユリーフOD錠4mg</p> <p>○カムシア配合錠HD ○オザグレルNa点滴注80mg/100mLバッグ</p> <p>○マグミット錠500mg、細粒</p> <p>3. 削除品</p> <p>○ビジクリア配合錠 ○フルタイド100ロタディスク</p> <p>○セレベント50ディスクス ○ユリーフ錠4mg</p> <p>○ユニシア配合錠HD ○オザベンバッグ注80mg/200mLバッグ</p> <p>○マグラックス錠500mg・細粒</p> <p>4. 向精神薬の倍量投与禁止について</p> <p>○向精神薬に分類されない薬剤</p> <p>エチゾラム(デパス)、ゾピクロン(アモバン)、ルネスタ、リルマザホン(リスミー)</p> <p>ロゼレム、ベルソムラ</p> <p>○90日分処方可能な薬剤</p> <p>ジアゼパム、ニトラゼパム、フェノバルビタール、マイスタン、リボトリール</p> <p>5. 診療報酬改定における薬価改定について</p>	

15. 顧客サービス・広報委員会	
目的	療養環境・職場環境・接遇の改善等により、顧客(患者)の満足度を向上させ、顧客(患者)を意識した正確な情報発信を検討する。
委員長 副委員長	今野 修(副院長) 五十嵐 崇(心臓外科部副部長)
第1回	平成27年4月24日(金)
1. 委員会の目的について 2. 委員会の位置づけと今後の方向性について 3. 病院の選定について 4. 委員会での審議事項について	
第2回	5月29日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. 患者アンケートについて 5. 委員会規程について	
第3回	6月26日(金)
1. 今月の動き 2. 広報基礎セミナー報告 3. ご意見箱回収状況、改善策の検討	
第4回	7月31日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookの導入について 4. ふれあいまつり開催について	
第5回	8月28日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. 患者アンケートについて 5. ふれあいまつりに関して 6. Facebookの導入について 7. 「身だしなみチェック」および「品位ある対応・顧客満身に配慮した対応の評価」の実施について	

第6回	9月25日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について 4. ふれあいまつりについて 5. Facebookについて 6. 「身だしなみチェック」および「品位ある対応・顧客満足に配慮した対応の評価」の実施について	
第7回	10月23日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. ふれあいまつりについて 4. 「身だしなみチェック」および「品位ある対応・顧客満足に配慮した対応の評価」の実施報告	
第8回	11月27日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. ふれあいまつり開催報告 4. Facebookについて	
第9回	12月25日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 赤十字新聞の部数検討	
第10回	平成28年1月22日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 院内巡視について	
第11回	2月26日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. 患者アンケートについて 4. ホームページへの新病院コンテンツについて	
第12回	3月25日(金)
1. 今月の動き 2. ご意見箱回収状況、改善策の検討 3. Facebookについて 4. 来年度の委員について	

16. 個人情報保護委員会	
目 的	本院及びその附帯施設における個人情報保護法への適切な対応について「個人情報管理規程」に沿って審議する。
委 員 長	緑川 茂樹(事務部長)
副委員長	今野 修(副院長)
第1回	平成27年6月24日(水)
1. 当院の個人情報管理体制 2. 個人情報保護に対する脅威 3. 個人情報を取り巻くニュース 4. 当院のセキュリティ対策 5. 「標的型メール」の特徴 6. メール訓練の実施 7. 被害を最小限に留めるために	

17. 省エネルギー推進委員会	
目 的	本院の省エネルギー活動を効果的に促進することを目的として、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に適合したエネルギー管理方針を定め運用する。
委 員 長	宮田 昌之(副院長)
副委員長	緑川 茂樹(事務部長)
第1回	平成27年5月19日(火)
1. 昨年度のエネルギー使用量について 2. 2月～3月のエネルギー使用量について 3. 今年度の目標について 4. 各エネルギーの外気温度と入院患者数の関係について	

第2回	7月30日(木)
1. 4月～6月のエネルギー使用量について 2. 空調管理規定及びコンセント・照明・他管理規定について 3. 省エネルギー等経費削減のお願い	
第3回	11月27日(金)
1. 7月～10月のエネルギー使用量について 2. 冬季空調管理規定について 3. ウォームビズについて	
第4回	平成28年2月4日(木)
1. 昨年度のエネルギー使用量について 2. 省エネパトロールについて確認 3. 電気料金の詳細、今後の推移について	



3. 医療安全管理に関する委員会

18. 医療安全管理委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	今野 修(副院長)
第1回	平成27年4月27日(月)
1. アクシデント事例検討 2. 非常勤医師の診療時間について 3. QCサークル活動の参加方法について 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告	
第2回	5月27日(水)
1. QCサークル活動の参加方法について 2. 転落防止ウィンドロックの設置について 3. MRの待機について 4. 医療安全推進委員会報告 5. 患者相談室カンファレンス報告	
第3回	6月24日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 転落防止ウィンドロック購入について承認 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告	
第4回	7月29日(水)
1. アクシデント事例検討 2. MRI検査時のチェック方法について検討 3. 入院患者の喫煙に関する対応 4. レントゲン室における腰椎麻酔の実施事例について 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告	
第5回	8月24日(月)
1. アクシデント(NESコール)事例検討 2. ESD施行時におけるプロポフォールの使用(保険適応外使用) 3. 医療安全推進委員会報告 4. 患者相談室カンファレンス報告	
第6回	9月25日(金)
1. アクシデント事例検討 2. 3号館4病棟の浴室改修工事提案(転倒防止対策) 3. 医療事故調査制度における当院の体制について 4. 医療事故調査費用保険の加入について 5. 造影検査同意書について(放射線科部からの問題提起) 6. 医療安全推進委員会報告 7. 患者相談室カンファレンス報告	
第7回	10月28日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 3号館4病棟の浴室改修について 3. 「医薬品の安全使用のための業務手順書」修正について 4. 医療安全管理マニュアル修正について(承認) 5. 医療事故調査制度における当院の体制及びフローチャート検討 6. 医療安全推進委員会報告 7. 患者相談室カンファレンス報告	

第8回	11月25日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 医療事故調査制度における当院の体制及びフローチャート検討 3. 医療安全管理マニュアル修正について 4. 「注射用抗生物質問診票」及び「上部・下部内視鏡検査同意書」の有効期限について 5. 3号館4病棟の浴室改修工事費用について 6. 10月分死亡患者カルテ確認報告 7. 医療安全推進委員会報告 8. 患者相談室カンファレンス報告	
第9回	12月25日(金)
1. アクシデント事例検討 2. 「医薬品の安全使用のための業務手順書」修正について(承認) 3. 「上部・下部内視鏡検査同意書」の有効期限について 4. 11月分死亡患者カルテ確認報告 5. 医療安全推進委員会報告 6. 患者相談室カンファレンス報告	
第10回	平成28年1月27日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 「嚥下造影検査についての説明及び同意書(胃瘻造設時嚥下機能評価)新規申請(承認保留) 3. ディスポ手術器械のリユースについて 4. QCサークル活動評価結果報告(優秀部署決定) 5. 12月分死亡患者カルテ確認報告 6. 3号館4病棟浴室改修工事終了報告 7. 医療安全推進委員会報告 8. 患者相談室カンファレンス報告	
第11回	2月24日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 医療安全全国共同行動参加登録継続(継続しないことに決定) 3. 「ゼルヤンツによる免疫療法の説明及び同意書」新規申請(承認) 4. 医療事故調査・支援センター提出報告書作成終了報告及び医療事故調査委員会開催について 5. 1月分死亡患者カルテ確認報告 6. 医療安全推進委員会報告 7. 患者相談室カンファレンス報告	
第12回	3月23日(水)
1. 医療安全管理指針の修正について(承認) 2. 医療安全関係委員会規程修正について(承認) 3. 「もの忘れ診療の検査についての説明及び同意書」新規申請(承認) 4. 「化学療法の説明及び同意書」修正(承認) 5. 2月分死亡患者カルテ確認報告 6. 医療安全推進委員会報告 7. 患者相談室カンファレンス報告	

19. 医療安全調査委員会	
目的	本院に医療事故やクレーム等が発生した場合、速やかに事故原因の究明と今後の対策等について検討する。
委員長 副委員長	渡部 洋一(院長) 今野 修(副院長)
第1回	平成27年12月9日(水)
1. アクシデント事例検討 2. 医療事故調査制度の報告対象事例であるか検討 3. 外部委員の選任	

第2回	12月17日(木)
1. アクシデント事例検討 2. 外部委員2名参加	

20. 医療安全推進委員会	
目 的	医療事故防止対策の検討及び推進を図る。
委 員 長	安藤 精一(血管外科部長)
副委員長	阿部 美幸(看護師長、専任リスクマネージャー)
第1回	平成27年4月17日(金)
1. 3月の医療安全管理委員会報告 2. 平成26年度ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討	
第2回	5月15日(金)
1. 4月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：1号館4病棟) 3. 医療安全研修会Ⅰについて	
第3回	6月19日(金)
1. 5月の医療安全管理委員会報告 2. 4・5月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：薬剤部) 4. 医療安全研修Ⅲ(事務職、委託・派遣職員対象)について	
第4回	7月17日(金)
1. 6月の医療安全管理委員会報告 2. 6月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：2号館3病棟) 4. QCサークル活動計画書提出依頼	
第5回	8月14日(金)
1. 7月の医療安全管理委員会報告 2. 7月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：放射線科部) 4. 転落防止用ウィンドロックの配布について	
第6回	9月18日(金)
1. 8月の医療安全管理委員会報告 2. 8月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：本館4病棟)	
第7回	10月16日(金)
1. 9月の医療安全管理委員会報告 2. 9月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：栄養課) 4. 医療安全研修会Ⅷの内容変更について 5. KYT→医療事故調査制度について	
第8回	11月12日(木)
1. 10月の医療安全管理委員会報告 2. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：手術室)	

第9回	12月18日(金)
1. 11月の医療安全管理委員会報告 2. 10・11月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：検査部)	
第10回	平成28年1月15日(金)
1. 12月の医療安全管理委員会報告 2. 12月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：外来) 4. 次年度の医療安全推進委員会の持ち方について	
第11回	2月19日(金)
1. 1月の医療安全管理委員会報告 2. 1月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. ヒヤリハット事例検討(事例提出部署：リハビリテーション科部) 4. 医療安全推進委員会のワーキンググループ活動について	
第12回	3月18日(金)
1. 2月の医療安全管理委員会報告 2. 2月分ヒヤリハット・アクシデント報告書集計結果報告 3. 医療安全推進委員会のワーキンググループ活動について 4. 医療安全推進委員会の開催予定及びメンバー変更について	

21. 院内感染対策委員会	
目 的	院内における微生物の感染を積極的に防止し、院内衛生管理の万全を期す。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)
第1回	平成27年4月14日(火)
1. 平成27年度 院内感染対策委員会メンバーについて 2. 3月分検査データ報告 3. 3月分結核発生届報告 4. ICT報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 平成26年度 職員・患者のインフルエンザ罹患状況 4) 平成26年度 耐性菌検出報告書まとめ 5. 平成26年度 看護部手指衛生・咳エチケット、環境チェック結果報告 6. 平成26年度 新型インフルエンザ医療体制整備事業実施報告 7. 平成27年度 感染研修について 8. 感染対策マニュアル改訂について 9. 平成27年度 手指衛生・環境チェック実施について 10. 平成27年度 職員ワクチン接種について	
第2回	5月12日(火)
1. 4月分検査データ報告について 2. 4月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について渡邊副部長より報告 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 職員・患者のインフルエンザ罹患状況 4) 平成26年度 針刺し・切創報告 5) 感染対策研修実施報告 4. 福島県新型インフルエンザ医療体制整備事業補助金について	

第3回	6月9日(火)
1. 5月分検査データ報告について 2. 5月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 平成27年度 第一回感染防止対策加算合同カンファレンス開催 4) 韓国における中東呼吸器症候群(MERS)への対応について 5) 感染対策研修実施報告 4. 感染対策マニュアルの改訂および追加について	
第4回	7月14日(火)
1. 6月分検査データ報告について 2. 6月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 平成27年度 第1回感染防止対策加算合同カンファレンス開催を実施報告 4) 感染制御実践看護学講座 協同ラウンド実施 5) 感染対策研修実施報告 4. 感染対策マニュアル「4. 針刺し事故フローチャート」の改訂について 5. 紙オムツの取り扱いについて	
第5回	8月11日(火)
1. 7月分検査データ報告について 2. 7月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項についてJANIS耐性菌報告・・MRSA 1件 1) 針刺し・血液体液曝露報告 2) 平成27年度 第2回感染防止対策加算合同カンファレンス開催予定 3) 感染対策研修会予定 4) 感染対策研修実施報告 4. 「HIV血液・体液曝露後対応マニュアル」について	
第6回	9月15日(火)
1. 8月分検査データ報告について 2. 8月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 平成27年度 第2回感染防止対策加算合同カンファレンス開催を実施 4) 第6回感染対策研修 9月開催予定 5) 感染対策研修会実施報告 4. インフルエンザワクチン接種実施について 5. 感染対策マニュアル【13】感染性廃棄物の管理 改訂(案)について 6. 感染対策マニュアル【10】器材の洗浄・消毒・滅菌 改訂(案)について	
第7回	10月13日(火)
1. 9月分検査データ報告について 2. 9月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 感染対策研修会第7回、第8回開催予定 4) 感染対策研修会実施報告(第6回、臨時) 5) 新型インフルエンザ医療体制整備事業完了報告について 4. 平成27年度 レジオネラ属菌検査結果ならびに対策について 5. 真空採血による採血の変更について	

第8回	11月10日(水)
1. 10月分検査データ報告について 2. 10月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 感染対策研修予定 4) 感染対策研修実施報告 5) ICTラウンドの実施状況の報告 6) 耐性菌サーベランス上半期の報告 7) カテーテル関連尿路感染サーベランス結果の報告 4. 感染対策マニュアル【10】洗浄・消毒・滅菌 改訂案について 5. 感染対策マニュアル 汚物処理室での汚物処理作成案について 6. 感染対策マニュアル HIV血液・体液曝露後対応作成案について 7. 12月の院内感染対策委員会の実施日について	
第9回	12月9日(水)
1. 11月分検査データ報告について 2. 11月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 感染研修報告 4) 感染防止対策地域連携加算相互評価 開催報告 5) 第3回 感染防止対策合同カンファレンス 開催報告 6) ICTラウンド実施結果報告	
第10回	平成28年1月12日(火)
1. 12月分検査データ報告について 2. 12月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 感染対策研修会 第11回開催予定 4) インフルエンザ対策について 5) ICTラウンド実施結果報告 4. 感染対策マニュアル【16】感染症発生動向調査 改訂案について 5. 委員会名簿改訂について	
第11回	2月9日(火)
1. 1月分検査データ報告について 2. 1月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 第4回 感染防止対策 合同カンファレンスの開催報告 4) 感染対策研修報告 5) インフルエンザなど感染状況の報告 6) ICTラウンド結果報告 7) 吸引カテーテル(調節口なし)の導入について 4. 感染対策マニュアル【6】病原体別感染対策 結核 改訂案について	
第12回	3月8日(火)
1. 2月分検査データ報告について 2. 2月分結核発生届報告について 3. ICT報告事項について 1) JANIS耐性菌報告 2) 針刺し・血液体液曝露報告 3) 2月の職員、患者のインフルエンザ罹患状況 4) ICTラウンド結果報告 5) 平成27年度 感染対策研修結果報告ならびに平成28年度 感染研修計画(案)について	

22. 医師・看護師負担軽減対策委員会	
目 的	医師・看護師の負担軽減及び処遇改善に係る計画の策定と実行・評価。
委 員 長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長)
第1回	平成27年10月5日(月)
1. 医師・看護師負担軽減対策委員会について 2. 平成27年度 上半期医師事務作業補助業務報告と今後の計画について	
第2回	平成28年3月28日(月)
1. 平成27年度 下半期医師事務作業補助業務報告について 2. 平成28年度 上半期業務計画について	



4. 診療に関する委員会

23. クリニカルパス委員会	
目 的	本院に良質な医療を提供するため各部門参画によるチーム医療の推進を図る。
委 員 長 副委員長	阪本 貴之(第3循環器内科部長) 高木 朝子(看護副部長)
第1回	平成28年2月18日(木)
1. 仮登録中「肺葉切除VATS」の承認 2. 糖尿病パス(20泊21日)の承認 3. 胃粘膜下層剥離術(ESD)パスの承認 4. 仮登録中の患者用パスを入院診療計画書として使用することの承認 5. 原稿の看護必要度を組み込んだパス 6. 「入院契機病名」の持参薬があるパスについての検討	

24. 輸血療法委員会	
目 的	輸血療法の適応、血液製剤の保管管理・使用状況・適正使用の徹底及び輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策について検討し、適正な輸血療法を推進する。
委 員 長 副委員長	遠藤 豪一(第1外科部長) 渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長)
第1回	平成27年5月27日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(3、4月分)	
第2回	7月29日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(5、6月分) 2. 自己血貯血の採血バッグについて	
第3回	9月30日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(7、8月分) 2. 自己血貯血の採血バッグ続報について 3. 11月の輸血講演会について	
第4回	11月25日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(9、10月分) 2. 輸血講演会報告	
第5回	平成28年1月27日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(11、12月分) 2. 心臓血管外科の術後の輸血保管について	
第6回	3月30日(水)
1. 血液製剤の使用状況について(1、2月分) 2. 輸血副作用について 3. 幹事の変更について	

25. 臨床検査適正化委員会	
目 的	本院の臨床検査の管理、運営上の適正化を図るとともに重要事項を審議し、管理運営に万全を期すため、院内各部署と連携を密にし当院の発展に寄与する。
委 員 長 副委員長	渡部 研一(第2循環器内科部長 兼 検査部長 兼 医療技術部長) 宮田 昌之(副院長)

第1回	平成27年4月16日(木)
1. 第48回日本医師会精度管理調査結果報告 2. アルブミン・リウマチ因子検査内容の変更について 3. プレセブシン院内実施について 4. 院内実施検査項目の優先測定について	
第2回	10月22日(木)
1. 平成27年度 臨床検査精度管理報告 2. PIVKA II 院内実施について 3. オーダリングによる外注検査項目の優先について	

26. 診療情報管理委員会	
目的	本院における診療情報の適正な保管・管理を図るとともに、診療・調査研究等に対し有効に活用できることを定める。
委員長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成27年4月16日(木)
1. 立入検査結果(平成26年11月25日実施) -指導事項 診療録- 2. 東北厚生局適時調査結果(平成27年1月26日実施) -診療録管理体制加算2について- 3. その他 -診療録管理体制加算1-	
第2回	5月14日(木)
1. 医師記録監査シート -目指す記録は- 2. その他 -改善計画の立案-	
第3回	6月18日(木)
1. 医師記録監査 -その課題- 1)傷病名録 2)入院総括 3)症状経過記録 4)指導内容記載 2. その他	
第4回	8月20日(木)
1. 診療録等の電子媒体保存・記載方法について 真正性・見読性・保存性 対応方法 → 具体策を提案 2. 精神科文書オーダリング登録 3. その他	
第5回	9月17日(木)
1. 診療録等の電子媒体保存・記載方法について 診療情報管理規定改正(案) 診療記録の取り扱いについて(電子記録について)追加する 2. がん患者指導管理料1 オーダリング登録 3. その他 リハビリ記録の保管について	
第6回	11月18日(水)
1. 診療録等の電子媒体保存・記載方法について 診療記録の取り扱いについて(電子記録について)追加する 2. 内部監査(内科入院診療録 平成27年7月退院患者)	
第7回	12月10日(木)
1. 内部監査結果報告(平成27年11月18日実施) 2. 診療録記載方法について 3. サマリ作成率報告 4. その他	

第8回	平成28年2月12日(金)
1. サマリ作成率報告 平成27年10月 －前回委員会審議を受けて各部署の入院総括への関わりを考える－ 平成27年12月 2. 入院総括様式変更(案) 傷病名 → 副3行 → 副5行に変更 3. 内部監査 外科入院診療録 平成27年5月退院患者	
第9回	3月10日(木)
1. サマリ作成率報告 －平成28年2月分 速報－ 2. 内部監査結果報告 －外科入院診療録 平成27年5月退院患者－ 3. その他 －当委員会の在り方→電子媒体への移行を見据える－	

27. DPC委員会	
目 的	入院医療包括評価の効率的な運用促進を目的とする。
委 員 長	渡部 洋一(院長)
副委員長	宮田 昌之(副院長)
第1回	平成27年5月22日(金)
1. 3月・4月の中医協で議論された厚生労働省の動向 2. 最近のDPCコーディング事例を紹介(1症例) 3. 機能評価係数Ⅱ 県北医療圏比較 4. 効率性係数についての説明と効率性係数アップに向けての具体的な方法の検討	
第2回	6月22日(月)
1. 最近の厚労省の動向～地域包括ケア病棟について 2. DPCコーディング事例紹介～糖尿病～ 3. 救急医療係数についての説明と救急医療係数アップに向けての具体的な方法の検討	
第3回	7月24日(金)
1. DPC分科会の動き(地域包括ケア病棟・総合入院体制加算・7対1) 2. DPCデータを使った集患分析Ⅰ	
第4回	8月17日(月)
1. 厚生労働省の動向 2. DPCデータを使った集患分析Ⅱ	
第5回	9月24日(木)
1. これからの日本と医療の関係 2. DPC委員会での改善後の推移 3. DPCと施設基準について	
第6回	10月26日(月)
1. 厚生労働省の動向 2. 平成28年度診療報酬改訂による機能評価係数Ⅱの動向	
第7回	11月26日(木)
1. 厚生労働省の動向・診療報酬改定と現状把握 2. 効率性係数進行中の議論 3. DPC副病名ありのコーディング増加案	

第8回	12月21日(月)
1. 厚生労働省の動向 2. 退院時処方について 3. 厚労省公開データを用いた分析	
第9回	平成28年1月26日(火)
1. 総合入院体制加算の逆紹介 2. 7対1入院基本料(重症度・平均在院日数・在宅復帰率) 3. DPCコーディング事例 4. 臨床指標の公開について	
第10回	2月25日(木)
1. 総合入院体制加算の逆紹介率報告 2. 7対1入院基本料(重症度・平均在院日数・在宅復帰率) 3. 様式1の記載担当 4. DPC算定ルールの見直し 5. 診療報酬改定によるDPCへの影響 I	
第11回	3月22日(火)
1. 総合入院体制加算について 2. 機能評価係数 I について 3. 診療報酬改定によるDPCへの影響 II 4. 平成28年度診療報酬改定における対応(各部署から)	

28. 手術室運営委員会	
目 的	手術室の円滑な運営を図る。
委 員 長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	安達 守(第1麻酔科部長)
第1回	平成27年4月27日(月)
1. 手術室運営委員会委員と手術室運営委員会規程について 2. 週間手術予定 3. 麻酔科からのお知らせ 4. 手術室稼動状況について	
第2回	平成28年3月15日(火)
1. ディスポ製品使用について 2. 標本の保管、取り扱いについての検討 3. 呼吸器洗浄機について	

29. 救急センター運営委員会	
目 的	急患室を利用する救急患者への対応に関する事項を審議し、急患室における業務の適正かつ円滑な運営を図る。
委 員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)
副委員長	菅野ひとみ(看護師長)
第1回	平成27年12月17日(木)
1. 救急センターの運営(現状)について 2. 年末年始の救急センターの運営体制について	

30. ハイケアユニット運営委員会	
目 的	ハイケアユニットの適正な運営を図る。
委 員 長	安達 守(第1麻酔科部長)
副委員長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成27年6月12日(金)
1. 平成27年度 HCU運営委員会メンバーについて 2. HCU使用状況 3. 鎮静スケール(RASS)の導入について 4. HCU定期点検について	

第2回	平成28年1月15日(金)
1. VAP(人工呼吸器関連肺炎)減少へ向けての取り組みについて 2. 鎮静スケール(RASS)の活用について	

31. NST委員会	
目 的	入院患者に適切かつ効果的な栄養管理を行い、治療効果の向上を図る。
委 員 長	遠藤 豪一(第1外科部長)
副委員長	元木 良和(皮膚科部長)
第1回	平成27年4月7日(火)
1. ラウンド報告 2. 平成27年度勉強会 3. その他	
第2回	5月15日(金)
1. 平成27年度 NSTメンバー紹介 2. その他	
第3回	6月17日(水)
1. ラウンド報告 2. 院内NST勉強会について	
第4回	8月19日(水)
1. ラウンド報告 2. 院内NST勉強会の報告 3. その他	
第5回	9月16日(水)
1. ラウンド報告 2. 院内NST勉強会について 3. その他	
第6回	11月18日(水)
1. ラウンド報告 2. 院内NST勉強会の報告 3. その他	
第7回	12月9日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	
第8回	平成28年1月20日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	
第9回	2月17日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	
第10回	3月16日(水)
1. ラウンド報告 2. その他	

32. 化学療法検討委員会	
目 的	がん化学療法を実施するにあたって、施設・設備などのハードウェア面、医師・看護師・薬剤師などのスタッフ面、セーフティーマネジメントなどの運用面など、充足すべき課題を検討し、化学療法を安全に、安心して実施するための基本的な考え方、具体的な方法を審議する。また、外来化学療法を実施するための運用についても審議し、実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し承認する委員会を兼ねる。
委 員 長	今野 修(副院長)
副委員長	伊藤 史浩(第1産婦人科部副部長)
第1回	平成27年5月19日(火)
1. 化学療法検討委員会内容変更承認 2. レジメン新規申請承認	

第2回	6月16日(火)
1. バイオシミラー採用検討 2. レジメン新規申請承認	
第3回	7月21日(火)
1. 抗がん剤内服薬の診療報酬算定について 2. レジメン登録条件について	
第4回	8月18日(火)
1. 抗悪性腫瘍剤処方管理加算算定時の同意書について 2. レジメン審査基準 3. レジメンの削除・新規申請承認	
第5回	9月15日(火)
1. 抗悪性腫瘍剤処方管理加算について 2. レジメン登録条件について 3. 抗がん剤の後発品採用について	
第6回	10月20日(火)
1. 抗悪性腫瘍剤処方管理加算について 2. タキソールの適応追加について	
第7回	11月17日(火)
1. トレフューザールルートクランプヒヤリハット報告 2. 看護外来について 3. 皮膚障害対策処方セットメニュー登録	
第8回	12月15日(火)
1. CVポートについて 2. サビーンの採用検討	
第9回	平成28年1月19日(火)
1. ジーラスタ皮下注射使用上のヒヤリハット報告 2. 外来栄養食事指導料について 3. レジメン訂正・新規申請承認	
第10回	2月16日(火)
1. レジメン新規申請承認 2. 平成28年度 診療報酬改定について	
第11回	3月15日(火)
1. 抗がん剤暴露対策について 2. レジメンの変更・新規申請承認	

33. 緩和ケア委員会	
目 的	生命を脅かす疾患に直面した全ての患者とその家族に、早期より全人的苦痛に対する適切な緩和ケア提供を推進する。
委 員 長	出羽 明子(第2麻酔科部長)
副委員長	齋藤 明子(看護師長)
第1回	平成27年5月12日(火)
1. 平成27年度 緩和ケア委員会紹介 2. 緩和ケアチーム登録について 3. リンクナースチームの活動 4. 「緩和ケア研修会in福島医大」他 案内について 5. その他	
第2回	7月28日(火)
1. 「緩和ケア研修会in福島医大」について 2. 第2回院内研修会「当病院の在宅(終末期など)」について 3. Webセミナーの報告について 4. 緩和ケアリンクナースの活動について 5. その他	

第3回	10月27日(火)
1. 第2回院内研修会「当院の在宅(終末期など)」について 2. webセミナーの報告について 3. その他 4. 緩和ケアリンクナースの活動について	
第4回	平成28年1月26日(火)
1. 第3回院内研修会開催について 2. 平成28年4月14日予定webセミナーの開催について 3. 緩和チーム報告について(出羽医師より) 4. 来年度の委員会活動について(研修会) 5. その他	

34. 褥瘡対策委員会	
目的	本院における褥瘡予防対策の確立や褥瘡治癒促進に向けて、褥瘡対策マニュアルの作成、褥瘡に関する情報の収集と共有、褥瘡対策についての教育研修の計画及び実施などを通し、褥瘡対策及び関連する事項について調査・審議する。
委員長 副委員長	元木 良和(皮膚科部長) 佐藤 美絵(看護係長、皮膚・排泄ケア認定看護師)
第1回	平成27年4月28日(火)
1. 前月分褥瘡報告(平成26年度褥瘡データ総括を含む) 2. 院内研修案内&報告 3. 平成27年度計画	
第2回	5月26日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第3回	6月23日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第4回	7月28日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第5回	8月25日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第6回	9月29日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第7回	10月27日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第8回	11月24日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第9回	12月22日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第10回	平成28年1月26日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第11回	2月23日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	
第12回	3月22日(火)
1. 前月分褥瘡報告 2. 院内研修案内 3. 院外研修案内 4. 症例検討、ラウンド	

5. 教育・研究に関する委員会

35. 医師臨床研修管理委員会	
目 的	本院と臨床協力病院及び臨床研修協力施設とが共同で行う医師の臨床研修の実施を統括管理する。
委員 長 副委員 長	渡部 洋一(院長) 宮田 昌之(副院長)
第 1 回	平成27年 6 月18日(木)
1. 平成28年度採用初期臨床医研修医の定員について	
第 2 回	平成28年 3 月15日(火)
1. 平成26年度研修医研修修了の認定について 2. 平成27年度の研修状況について 3. 平成28年度研修について 4. 臨床研修プログラム委員会について 5. 研修医年間活動報告	

36. 医師臨床研修プログラム委員会	
目 的	医師の臨床研修の円滑な運営を図る。
委員 長	鈴木 恭一(第1脳神経外科部長)
第 1 回	平成27年 4 月13日(月)
1. 福島医大卒後臨床研修プログラム 2. 東北厚生局実地調査報告 3. 臨床研修管理委員会報告 4. 平成27年度年間予定報告	
第 2 回	6 月 8 日(月)
1. 初期臨床研修医募集定員に関して 2. 病理解剖症例が不足している問題 3. 病院説明会報告 4. 福島県臨床研修ネットワークガイダンスin東京報告 5. レジナビフェア報告	
第 3 回	10月 5 日(月)
1. 平成28年度初期臨床研修医の採用について報告	
第 4 回	12月14日(月)
1. メンター制度について 2. CPCに関して 3. 今後の予定について 4. 平成28年度採用内定初期臨床研修医について報告 5. ガイダンス参加報告	
第 5 回	平成28年 2 月 8 日(月)
1. 放射線読影研修の見直し 2. メンター制度でのお願い 3. 病理解剖症例が不足している問題 4. 今後の関連行事報告 5. OSCEについて報告	

37. 図書委員会	
目 的	本院全体における診療その他に必要な図書の整備、購入、利用、管理等を検討するとともに、病院図書の有効利用を図る。
委員 長 副委員 長	遠藤 豪一(第1外科部長) 阪本 貴之(第3循環器内科部長)



6. 労務及び安全管理に関する委員会

38. 安全衛生委員会	
目 的	職員の安全衛生及び健康管理に関する事項について調査審議し、快適な職場環境を形成する。
委 員 長 副委員長	寺島久美子(第2内科・消化器内科部長) 藤森 春生(精神科部副部長)
第1回	平成27年4月24日(金)
	1. 安全衛生委員会委員と委員会開催日について 2. 労働者傷病報告について 3. その他 ・長時間労働者に対する面接指導について
第2回	5月29日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について 3. 長時間労働による面接指導について
第3回	6月26日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 委託職員への苦情について 3. 長時間労働者に対する面接指導の実施について
第4回	7月24日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. その他 ・重大な労働災害の報告及び再発防止対策の全社的な実施について ・ストレスチェック制度について
第5回	8月28日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. ストレスチェックについて
第6回	9月25日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について 3. 作業環境測定結果報告について
第7回	10月23日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. ストレスチェック制度について
第8回	11月27日(金)
	1. 労働者傷病報告について
第9回	12月25日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. その他 ・職員への健診、オプション検査について
第10回	平成28年1月22日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について
第11回	2月26日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 作業環境測定結果について 3. その他 ・長時間労働による面接指導について
第12回	3月25日(金)
	1. 労働者傷病報告について 2. 勤務中の暴言・暴力・セクハラ等体験報告について 3. ストレスチェックについて 4. その他 ・H28年度 委員会開催日について

39. 医療ガス安全管理委員会	
目 的	診療の用に供する酸素、笑気ガス、麻酔用エーテル、窒素、炭酸ガス、吸引、医療用圧縮空気等医療用ガスの使用上の安全確保を目的とした保守点検と、医療用ガスに関する設備の部分的な改造修理等にあたって、常に高度の安全管理をする。
委 員 長 副委員長	管野 隆三(第1呼吸器外科部長) 出羽 明子(第2麻酔科部長)
第1回	平成28年3月15日(火)
1. 委員会名簿変更について 2. 医療ガス設備保守点検結果報告について 3. 笑気ガス指定薬物への指定について 4. 医療ガス研修会について 5. その他	

VI

研究発表



1. 学会・研究会等発表

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
平成27年 4月3日 ～4日	鈴木 恭一	大阪市	第24回 脳神経外科手術と 機器学会	簡便な蛍光脳血管撮影のための フィルター作製と臨床使用
4月4日	高住 美香	仙台市	第14回 免疫病診療研究会	顎下腺腫脹と皮下出血で 耳鼻科受診した一例
4月8日	宮田 昌之	福島市	福島関節リウマチ薬物 療法講演会	1st バイオとしてのオレンシアの有用性
4月10日 ～12日	伊藤 裕平	京都市	第112回 日本内科学会	関節リウマチと鑑別が困難であった 多発性骨髄腫の一例
4月15日 ～18日	鈴木 恭一	韓国	14th Asia Australasian Congress of Neurological Surgery	Development of the easy device for intraoperative fluorescence cerebral angiography and evaluation of its usefulness during cerebrovascular surgery
4月15日 ～18日	柳田 拓実	韓国	14th Asia Australasian Congress of Neurological Surgery	Usefulness of intra・arterial fluorescence angiography with injection of fluorescein sodium from the superficial temporal artery during aneurysm surgery
4月16日	渡部 洋一	石巻市	石巻の脳卒中医療を みんなで考える会	心原性脳塞栓症予防の現状と課題 - NOACの有用性 -
4月19日	矢澤 浩之 佐々木真智子 伊藤 史浩	福島市	福島産科婦人科学会 総会・春季学術集会	3D内視鏡を用いた腹腔鏡下子宮全摘 術(LH) - 子宮全摘術の現状とLH普及に向 けて -
4月22日	宮田 昌之	名古屋市	第11回 Japan Rheumatology Conference	関節リウマチでの肝障害：NASHに ついて(第2報)
4月24日	宮田 昌之	名古屋市	第59回 日本リウマチ学会 総会・学術集会	関節リウマチ治療でメトトレキサ ート投与時の肝機能障害について
5月14日 ～16日	井上 卓哉	高松市	第32回 日本呼吸器外科学会総会	気胸を契機に発見された類上皮肉腫 肺転移の一例
5月14日 ～16日	伊藤 裕平	高松市	第32回 日本呼吸器外科学会総会	右上縦隔に発生し、胸腔鏡下に摘出 したmedothelial cystの1例
5月14日 ～16日	横川沙代子	高松市	第32回 日本呼吸器外科学会総会	体表面から触知した胸腺腫の一例
5月14日 ～16日	柳田 拓実	高松市	第32回 日本呼吸器外科学会総会	長期間増悪なく経過したアミロイド 病変を伴う肺原発性MALTリンパ腫 の一症例
5月18日	郡司 直彦	福島市	第115回 福島大腸研究会	平成25年度福島市市民大腸癌検診にて 発見された進行大腸癌の2例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
5月21日 ～24日	佐藤 義憲	下関市	第58回 日本糖尿病学会年次 学術集会	HHS再現モデルとHHS治療モデルに よる血清ナトリウム濃度変化の検討
5月28日 ～30日	佐久間由美子	横浜市	第90回 日本医療機器学会	WDの洗浄力を向上させるプログラ ムの検討
5月29日	渡部 洋一	伊達市	伊達医師会学術講演会	脳卒中再発予防のための薬物療法の 実際
6月2日	渡部 洋一	福島市	プラザキサ学術講演会	心原性脳塞栓症の予防 -抗凝固療法の最新のTopic-
6月5日	中村耕一郎	会津坂下町	平成27年度 会津地区有功会講演会	脳卒中の予防
6月6日 ～7日	齋藤可奈子	山形市	日本病院薬剤師会東北 ブロック第5回学術大会	薬剤師の病棟業務と完全当直との対 価の差の悩み
6月11日	宮田 昌之	いわき市	いわき市 リウマチ学術講演会	生物学的製剤治療におけるメトトレ キサートの有用性とその副作用
6月11日	武井 明美	いわき市	いわき市 リウマチ学術講演会	当院におけるRA相談窓口開設に向 けて
6月12日 ～14日	石川 梓	松江市	第56回 日本臨床細胞学会総会 (春期大会)	穿刺吸引細胞診にて推定しえた乳腺 管状癌の1例
6月15日	郡司 直彦	福島市	第116回 福島大腸研究会	腸炎について ～診断、自身の経験をふまえ～
6月22日	小沼あゆみ	いわき市	第31回 福島県医療機関図書室 協議会定例会(総会)	日赤図書室協議会の活動について
6月27日	柳田 拓実	福島市	第20回 福島脳血管障害治療研 究会	片側型もやもや病に合併した破裂前 交通動脈瘤の1手術例
7月10日	黒田 聖仁 柳田 拓実	福島市	第199回 日本消化器病学会 東北支部例会	大量の出血でショックを来したが、 ヒストアクリルを用いた経カテー テル的動脈閉塞術(TAE)により救命し 得た出血性十二指腸潰瘍の1例
7月10日	力丸 真美	福島市	第189回 日本消化器病学会 東北支部例会	ヘリコバクター・ピロリ感染が鉄欠 乏性貧血の原因と考えられた一例
7月10日 ～11日	鈴木 恭一	東京都	第11回 日本脳神経外科光線力 学学会	レーザー照明手術顕微鏡の使用経験： キセノン照明との比較

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
7月11日	郡司 直彦	仙台市	第155回 日本消化器内視鏡学会 東北支部例会	多発肝転移を契機に発見された粘膜下腫瘍様隆起を呈した原発性虫垂癌の一例
7月15日 ～17日	遠藤 豪一	浜松市	第70回 日本消化器外科学会	小腸壊死で発症、術後多発性静脈血栓症を併発した先天性AT-Ⅲ欠損症の1例
7月18日 ～19日	鈴木 恭一	神戸市	第18回 日本臨床脳神経外科学会	術中蛍光脳血管撮影による血流不全のモニタリング：低価格で施行し得る蛍光撮影器具の作製と臨床応用
7月18日 ～19日	伊藤 裕平	神戸市	第18回 日本臨床脳神経外科学会	術中蛍光血管撮影とMEPモニタリングが有用であった脳動脈瘤の2例
7月18日 ～19日	吉田 憲治	神戸市	第18回 日本臨床脳神経外科学会	経頭蓋電気刺激運動誘発電位モニタリングにおける偽陰性を避けるための至適刺激強度の検討
7月25日	大和田尊之	酒田市	第38回 日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会	右総腸骨動脈の逆行性解離による完全閉塞に対し右肘動脈からのEVTによりBail outしたAMIの一症例
7月25日	力丸 真美	福島市	第4回 福島リバーフォーラム	原発性間平滑筋肉腫の一例
7月30日) 8月1日	大和田尊之 中山 彩	福岡市	第24回 日本心血管インターベンション治療学会	EVT中にバルーンデフレーションできず、バルーン抜去困難となった一例
7月30日) 8月1日	渡部 研一	福岡市	第24回 日本心血管インターベンション治療学会	A case of AMI that could not prevent distal-embolism completely by the lesion-distal thrombus over the bifurcation
8月1日	井上 卓哉	福島市	日本肺癌学会東北支部会	肺癌術後に悪性胸膜中皮腫を合併した一例
8月1日	鈴木 恭一	郡山市	Southern TOHOKU international conference of cerebrovascular disease	Development of the easy device for intraoperative fluorescence cerebral angiography and evaluation of its usefulness during cerebrovascular surgery
8月18日 ～19日	渡部 洋一	東京都	平成27年度 日赤災害医療コーディネーター研修会	東日本大震災の福島県における経験から
8月19日	富田 仁子	盛岡市	盛岡赤十字病院 看護補助者会	福島赤十字病院 医療チームにおける看護補助者との協働

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
8月19日	小手森佐智子	盛岡市	盛岡赤十字病院 看護補助者会	医療チームにおける看護補助者の役割－固定チーム小集団活動、夜勤看護補助者と病棟スタッフの連携－
8月22日	宮田 昌之	青森市	第14回 東北臨床免疫研究会	関節リウマチと鑑別が困難であった一例
9月2日 ～3日	柳田 美穂	郡山市	第46回日本看護学会 －慢性期看護－ 学術集会	うつ病患者の外出外泊訓練を通しての退院支援 ～目標設定の重要性～
9月5日	市川 剛	福島市	第52回 日本脳神経外科学会東北支部会、 第32回日本脳神経血管 内治療学会	コイル塞栓術後に内視鏡下血腫除去術を施行したくも膜下出血の一例
9月8日 ～11日	刑部 有祐	ドイツ	第7回 Mismatch Negativity Conference	The Study of tone-frequency effect on EEG-MMN to duration change
9月9日	後藤 大介	金山町	平成27年度 「赤十字健康講演」	知っておきたい認知症のお話
9月12日	天海 一明	福島市	第35回 福島心疾患治療談話会	Tolvaptanが有効であった肥満心筋症と考えられた1例
9月13日	鈴木 恭一	新宿区	第2回 日本脳脊髄術中モニタ リング研究会学術大会	検査技師さんMEさん達と連携しながら施行する脳神経外科手術 －誘発電位モニタリングと蛍光脳血管撮影に焦点を当てて－
9月16日	後藤 大介	福島市	福島県病院薬剤師会9 月福島支部学術講演会	うつ病診療における症状と精神機能の評価
9月18日 ～19日	渡部 研一	横浜市	第63回 日本心臓病学会 学術集会	急性期のST変化が軽微で類似した所見を示したたこつぼ型心筋症亜型の二例
9月18日 ～19日	横川沙代子	横浜市	第63回 日本心臓病学会 学術集会	器質化肺炎を伴った慢性心不全に対しASV治療が心肺の安定化に有効であったと考えられた一例
9月25日	渡部 洋一	立川市	SMART 第4回研究会	心原性脳塞栓症に対する急性期治療と再発予防 －福島県における取り組みとNOACの有用性－
9月25日	天海 一明	福島市	福島心不全研究会	Tolvaptanが有効であった肥満心筋症と考えられた1例
9月26日	中村耕一郎	福島市	日本神経学会 東北地方会	頭痛、倦怠感で発症したリンパ球性下垂体炎の1例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
9月26日	菅野 徹	仙台市	平成27年度 日本赤十字社診療放射 線技師会東北ブロック 研修会	当院のRIS-PACSシステムで経験し たトラブルについて
9月26日	佐藤 竜馬	仙台市	平成27年度 日本赤十字社診療放射 線技師会東北ブロック 研修会	画像データの管理について
9月27日	佐藤 恵子	盛岡市	第11回 固定チームナーシング 研究会東北地方会	精神科病棟における継続看護の実践 - 退院後の外来訪問看護への取り組 み
9月27日	畠 菜津美	盛岡市	第11回 固定チームナーシング 研究会東北地方会	患者の思いに寄り添った看護-嚥下 障害のある患者との関わりを通して
9月27日	羽田真由美	盛岡市	第11回 固定チームナーシング 研究会東北地方会	看護補助者会チームでの取りくみ 一般消耗品のコスト削減と請求業務 のスリム化
10月3日	峯 徹次	福島市	福島県IL-6講演会	関節リウマチ治療におけるIL-6阻害 療法の意義について
10月8日	渡部 洋一	横手市	秋田県南イグザレルト 発売三周年記念講演会	心原性脳塞栓症に対する急性期治療 と再発予防-福島県における取り組 みとNOACの有用性-
10月8日 ~9日	菅野有紀子	東京都	第23回 日本消化器関連学会 週間・JDDW2015	当科における非代償性肝硬変患者に 対するトルバプタン長期投与例の検 討
10月9日	後藤 大介	福島市	Meiji Seikaファルマ株 式会社 社内勉強会	UBOM(簡易客観的精神指標検査)と 気分障害について
10月15日	鈴木 恭一	札幌市	第74回 日本脳神経外科学会 学術総会	術中蛍光脳血管撮影による血流不全 のモニタリング:低価格で施行し得 る蛍光撮影器具の作製と臨床応用
10月15日	伊藤 裕平	札幌市	第74回 日本脳神経外科学会 学術総会	レーザー照明手術顕微鏡の使用経験: キセノン照明との比較
10月15日 ~16日	森谷 浩子	北見市	第51回 日本赤十字社医学会総会	A 赤十字病院における看護専門外来 開設の取り組み(第1報)
10月15日 ~16日	酒井 亮	北見市	第51回 日本赤十字社医学会総会	インシデント・アクシデントの低減 から考える病棟薬剤業務
10月15日 ~16日	二階堂雄平	北見市	第51回 日本赤十字社医学会総会	震災から4年間の疾患構成分析~福 島市への避難住民の外来患者から~
10月15日 ~16日	峯 徹次	北見市	第51回 日本赤十字社医学会総会	心臓超音波検査時の腹部大動脈瘤評 価の有用性について

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
10月21日 ～23日	力丸 真美	横浜市	第35回 日本臨床麻酔学会	重症肥満患者における緊急腹腔鏡下 子宮外妊娠手術の麻酔経験
10月24日	長井健一郎	南相馬市	第79回 福島脳神経外科談話会	ステントリトリバーによる経皮的血 栓回収術の経験
10月24日	伊藤紗也加	南相馬市	第79回 福島脳神経外科談話会 (看護部門)	寝たきり・高度の硬縮を持つ患者の 自宅退院を望む家族との関わり
10月24日	星 翔子	南相馬市	第79回 福島脳神経外科談話会 (看護部門)	重度片麻痺患者の排泄援助を通して
10月24日 ～25日	鈴木 恭一	宇都宮市	第36回 日本レーザー医学会総会	レーザー照明手術顕微鏡の使用経験： キセノン照明との比較
10月28日	鈴木 恭一	南相馬市	相馬郡医師会講演会	心原性脳塞栓症の急性期治療と 再発予防
10月28日	市川 剛	福島市	福島薬剤師会研修会	脳血管内治療の現状と展望
10月31日	市川 剛	福島市	福島脳血管内治療 カンファランス2015	穿通枝梗塞で発症した血栓化中大脳 動脈瘤に対してコイル塞栓術を行っ た一例
10月31日	清野 薫	郡山市	第19回 東北緩和医療研究会	終末期の卵巣癌患者の在宅支援を通 して学んだこと
10月31日	館内 美波	郡山市	第19回 東北緩和医療研究会	原発不明癌患者に対する身体的苦痛 の軽減 ～さみしさへのケアを通して～
11月1日	緑上 淳一	いわき市	第20回 福島県薬剤師学術大会	抗菌薬のTDM管理について
11月1日	馬場 洵	いわき市	第20回 福島県薬剤師学術大会	A病院における調剤業務手順の見直 しによる業務密度変化の検証
11月5日 ～7日	鈴木 恭一	大阪市	第45回 日本臨床神経生理学会 学術大会	脳動脈瘤手術における誘発電位モニ タリングの役割
11月5日 ～7日	刑部 有祐	大阪市	第45回 日本臨床神経生理学会 学術大会	統合失調症患者における聴性脳幹反 応の検討
11月6日 ～7日	野地 啓子	富山市	第46回 日本看護学会ヘルスプ ロモーション学術集会	放射線内被ばく、甲状腺検査の当院 での取り組み報告
11月6日 ～7日	八巻 愛	富山市	第46回 日本看護学会ヘルスプ ロモーション学術集会	震災からの母子の支援と活動報告

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
11月7日	渡部 洋一	福島市	平成27年度 福島県自治体学会	脳梗塞の急性期治療と二次予防 -福島県における脳梗塞死亡率低減 を目指して-
11月7日	佐藤 義憲	仙台市	第53回 日本糖尿病学会 東北地方会	初診時に縦隔気腫があった急性発症 1型糖尿病の1例
11月7日	一瀬 瑞絵	仙台市	第53回 日本糖尿病学会 東北地方会	認知症様症状があり髄液抗GAD抗体 陽性であった胸腺腫併発緩徐進行1 型糖尿病の1例
11月7日	香曾我部絹子	仙台市	第53回 日本糖尿病学会 東北地方会	劇症1型糖尿病発症後まもなく僧帽 弁閉塞不全症が見つかった1例
11月7日 ~8日	齋藤可奈子	名古屋市	第42回 日赤臨床薬学研修会	医療安全と新規算定獲得に向けた業 務再構築
11月13日	大和田尊之	福島市	ハート勉強会	心電図を読む
11月14日 ~15日	二瓶 瑤子	秋田市	第18回 東北ブロック 薬剤師研修会	後発医療品への対応と問題点
11月14日 ~15日	武藤 壮平	秋田市	第18回 東北ブロック 薬剤師研修会	地域医療における病院薬剤師の貢献
11月20日 ~21日	寶槻 優	札幌市	第29回 日本冠疾患学会	冠動脈myocardial bridgeが狭心症の 原因と考えられた一例
11月21日 ~23日	山脇 聡	横浜市	第25回 日本医療薬学会年会	DPC病院における病棟薬剤師の他職 種との関わり(病院の収益を上げる ために給食の特別職の算定)
11月26日 ~28日	井上 卓哉	横浜市	第56回 日本肺癌学会学術集会	肺癌術後に悪性胸膜中皮腫を合併し た一例
11月27日	渡部 洋一	東京都	Tokyo Cerebrovascular Seminar	心原性脳塞栓症に対する急性期治療 と再発予防-福島県における取り組 みとNOACの有用性-
11月28日	渡部 洋一	高山市	第114回 高山市医師会 学術講演会	福島第一原発事故後の福島県におけ る日赤の救護活動および脳卒中治療 の現状と課題
12月5日	宮田 昌之	名古屋市	Tocilizumab Expert Seminar in Nagoya	トシリズマブ治療でメトトレキサ ートは併用すべきか?
12月5日	横川沙代子	仙台市	第161回 日本循環器学会 東北地方会	左主幹部に stent proximal edge segment restenosis を来した一例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
12月5日	寶槻 優	仙台市	第161回 日本循環器学会 東北地方会	結節性多発動脈炎合併の狭心症患者へのDES留置後の再狭窄にDCBを使用した一例
平成28年 1月23日	長井健一郎	郡山市	第5回 福島NRカンファレンス	術中破裂を来し、術後に不随意運動を呈した内頸動脈瘤の一例
1月27日	後藤 大介	福島市	医薬共同セミナー	高齢者標準の処方方針
2月5日	一瀬 瑞絵	仙台市	第156回 日本消化器内視鏡学会 東北支部例会	短期間で形態変化をきたしESDで切除した胃脂肪腫の1例
2月5日 ～7日	早坂美智子	北九州市	第8回 植込みデバイス関連 冬季大会	電気保安管理職患者におけるペースメーカー植込み前、高圧変電所内環境調査の経験
2月6日	黒田 聖仁	仙台市	日本消化器病学会 東北支部第200回例会	年知性腹水に対する腹水濃縮再注入療法中にSBPを発症し、急速な経過で死亡の転帰をとった一例
2月6日	藤田 将史	仙台市	日本消化器病学会 東北支部第200回例会	抗ミトコンドリアM2抗体陽性を示した中年発症サイトメガロウイルス肝炎の2例
2月6日	梅田 隆志	仙台市	日本消化器病学会 東北支部第200回例会	難治性腹水に対する腹水濃縮再注入療法中にSBPを発症し、急速な経過で死亡の転帰をとった一例
2月6日	力丸 真美	仙台市	日本消化器病学会 東北支部第200回例会	原発性間平滑筋肉腫の一例
2月6日	井上 卓哉	仙台市	東北肺癌研究談話会	辺縁系脳炎を契機に発見された胸腺腫の一例
2月6日	橋内ゆき子	福島市	看護協会 県北支部 看護研究発表	点滴自己抜去防止対策として使用するアームカバーの付け心地の検証
2月13日	草野 敬悟	仙台市	第39回 日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会学術集会	左前下行枝近位部へのステント留置直後に左主幹部に血腫を伴う解離を来した一例
2月26日 ～27日	佐藤 法義	大阪市	第46回 日本人工股関節学会	大腿骨頭消失例に対し人工股関節置換術を行った5例
2月27日	伊藤 裕平	福島市	福島県地域医療症例検討会	drip、ship、and retrieveによる良好な転帰を得た重症脳梗塞の1例
2月28日	後藤 大介	福島市	日医生涯教育協力講座 セミナー	各地域における認知症疾患医療センターの現状と展望
3月4日	宮田 昌之	福島市	インフリキシマブ Expert Seminar 福島	Biologics non-responderでのインフリキシマブswitch症例

期間	氏名	場所	学会名等	演題名
3月5日	寶槻 優	郡山市	第44回 Cardiovascular Intervention Conference	バルーン通過に難渋した病変に、Corsair通過によるlesion modificationが有効であったと考えられた一例
3月6日	後藤 大介	二本松市	心理士がおさえておくべき高齢者支援に必要な知識とスキル	高齢者の認知機能と諸問題
3月12日 ～13日	渡部 寿康	鹿児島市	第5回日本臨床腫瘍薬学会学術大会2016	A病院におけるS-1内服状況下において酸分泌抑制剤併用の有無による下痢の出現
3月18日	後藤 大介	福島市	医薬共同セミナー	高齢者標準の処方方針～認知症を中心に～
3月19日	大和田尊之	福島市	心房細動地域連携勉強会	心房細動患者に対する至適治療法を考える
3月19日	渡部 研一	福島市	平成27年度赤十字救急法等指導員研修会(講師)	循環器科の疾患と治療について
3月25日 ～26日	鈴木 恭一	新潟市	第25回脳神経外科手術と機器学会	周辺構造物と血流を同時に観察し得るフルオレセイン蛍光脳血管撮影の開発
3月25日 ～26日	伊藤 裕平	新潟市	第25回脳神経外科手術と機器学会	レーザー照明手術顕微鏡の使用経験：キセノン照明との比較
3月26日	遠藤 豪一	郡山市	第7回らばろ日新館	直腸の切離と吻合



2. 論文発表・著書

著者	論文名	誌・巻(号)ページ
Yuko Kaneko, Tatsuya Atsumi, Yoshiya Tanaka, Masayuki Inoo, Hitomi Kobayashi- Haraoka, Koichi Amano, Masayuki Miyata, Yohko Murakawa, Hidekata Yasuoka, Shintaro Hirata, Hayato Nagasawa, Eiichi Tanaka, Nobuyuki Miyasaka, Hisashi Yamanaka, Kazuhiko Yamamoto, Tsutomu Takeuchi	Comparison of adding tocilizumab to methotrexate with switching to tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis with inadequate response to methotrexate : 52-week results from a prospective, randomised, controlled study (SURPRISE study)	Ann Rheum Dis 2015 : 10.1136/ annrheumdis-2015-208426
Mika Takasumi, Masayuki Miyata, Kumiko Terashima, Kazumichi Abe, Atsushi Takahashi, Hiroko Kobayashi, Kazuhiro Tazaki, Hiroshi Watanabe, Hiromasa Ohira	Overlap of IgG4-related Disease and Primary Biliary Cirrhosis Complicated with Autoimmune Thrombocytopenia	Intern Med 55 : 1387-1392,2016 DOI : 10.2169/ Internal Medicine.55.6202
Nakazato K,Mizukami H, Ohtake H,Sakamoto N, Yamaki T,Yamaguchi O, Kunii H,Ohwada T, Takeishi Y.	STENTING STRATEGY AND FOLLOW-UP RESULTS OF MULTI-CENTER REGISTRY IN FUKUSHIMA CITY FOR LEFT MAIN CORONARY ARTERY DISEASE : BARE	Fukushima J Med Sci. vol61,No.1,79-85,2015
Suzuki S,Yoshihisa A, Yamaki T,Sugimoto K, Kunii H,Nakazato K, Abe Y,Saito T, Ohwada T,Suzuki H, Saitoh S,Kubota I, Takeishi Y;AVCMA investigators.	Vasopressin V2 receptor antagonist tolvaptan is effective in heart failure patients with reduced left ventricular systolic function and low blood pressure.	Int Heart J vol56,No2,2015,213-218

著 者	論文名	誌・巻(号)ページ
鈴木 恭一、 市川 剛、 渡部 洋一	内頸動脈瘤の術中モニタリング：術中蛍光脳血管撮影	内頸動脈瘤のすべて(編) 井川房夫、宮地茂、 メディカ出版、80-86、2015
柳田 拓実、 市川 剛、 鈴木 恭一、 渡部 洋一	片側型もやもや病に合併した破裂前交通動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した1例	脳卒中の外科、43 (3), 223-227, 2015
鈴木 恭一、 市川 剛、 渡部 洋一	フルオレセインによる蛍光脳血管撮影	脳神経外科速報、25 (6), 630-634, 2015
Ichikawa Tsuyosi, Suzuki Kyouichi, Watanabe Yoichi	Development of and clinical experience with a simple device for performing intraoperative fluorescein fluorescence cerebral angiography : Technical Note	Neurologia medico-chirurgica vol56(3) 141-149,2016
元木 良和	バラシクロビルによる急性腎障害	皮膚病診療 Vol.37 No.7 701-702
矢澤 浩之、 佐々木真智子、 伊藤 史浩	腹腔鏡下子宮全摘術の適応拡大にむけての取り組み - TLH導入の効果と現状からみた今後の課題 -	福島医学雑誌、 65 : 170-1182, 2015
Yazawa H, Soeda S, Hiraiwa T, Takaiwa M, Fujimori K	A case of severer arteriovenous malformation treated with danazol followed by a trasnarterial embolization of unilateral uterine and ovarian artery.	Gynecol Minim Invasiv Therapy, 4 : 149-153, 2015
武井 明美	どうしたらなれる?登録リウマチケアへの道。登録リウマチケア看護師を取得した看護師に求められること	リウマチ看護マガジン RAナーシング No.24 p16-17

VII

院友会



院友会

1. 概要

福島赤十字病院院友会は当院に勤務する職員及び常勤の嘱託・臨時職員を対象に、職員同士の親睦を図ることを目的としている。会長は院長、副会長は副院長、事務部長、看護部長が務め、幹事は会長が任命する。その他役員は各部署から毎年1名ずつ選出され、年間を通して季節に応じたイベントを企画運営している。

イベントの他、院友会員の体育および文化サークルの活動を通して親睦と福利厚生を推進を図ることを目的に“体育・文化サークル活動助成金”を交付している。(助成金交付対象サークル：野球・ソフトボール部、バレーボール部、フットサル部、卓球部)

2. 平成27年度役員

- 会長 渡部 洋一(院長)
- 副会長 宮田 昌之、今野 修(副院長)、緑川 茂樹(事務部長)、會澤 英子(看護部長)
- 幹事 藤森 春生(医局)柴田麻里恵(本3)、山崎 綾華(本4)、齊藤保奈美(1-2)、
齋藤 美咲(1-3)、青田 昌子(1-4)、佐藤 恵子(2-2)、馬場あかね(2-3)、
菅野 千夏(3-4)、佐藤 弘子(外来)、鈴木 直人(手術室)、齋藤加奈子(薬剤部)、
中田 悠希(検査部)、佐藤 竜馬(放射線科部)、鈴木かおり(リハビリテーション科部)、
葛城 美貴(医療技術部)、渡辺真奈美(医療社会事業部)、二階堂 雄平(事務部)

3. 平成27年度活動報告

平成27年4月22日(水)

福島赤十字病院院友会総会・新入会員歓迎会(場所：サンパレス福島 参加者：279名)



平成27年7月31日(金)

福島わらじまつり・ダンシングソーダナイト参加(参加者：99名)



平成27年10月3日(土)、10月7日(水)
 日帰り旅行「山形うまいものツアー」〈参加者：54名〉



平成27年11月25日(水)、11月28日(土)
 日帰り旅行「東京ディズニーリゾート」〈参加者：56名〉



平成27年12月16日(水)
 院友会クリスマスパーティー〈場所：ホテル辰巳屋 参加者：277名〉



平成28年1月23日(土)～24日(日)
 1泊旅行「蔵王スキー・スノーボード温泉ツアー」〈参加者：38名〉



4. 平成27年度決算報告

収入の部	支出の部	翌年度繰越額
10,909,199円	8,213,440円	2,695,759円

福島赤十字病院
平成27年度 病院年報

通算第6号
平成29年2月発行

編集◎福島赤十字病院 事務部企画課
発行◎福島赤十字病院

〒960-8530 福島県福島市入江町11-31
TEL 024-534-6101(代表) FAX 024-531-1721
<http://www.fukushima-med-jrc.jp/>

copyright©JAPANESE RED CROSS FUKUSHIMA HOSPITAL All rights reserved.



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.